夕刊 滿洲日報 六月十一日

軍縮問題の責を引いて加藤軍令部長遂に辭職

昨朝參內恐懼に堪へざる旨言上

財部海相即日執奏

【東京十一日發電】加藤軍令部長は財部海相と折衝を重ねた

一、統帥權問題は最近解決に近づき覺書の署名にまで進展したが
二、軍令部無視問題
三、國防缺陷補充問題

はなほ明かず、加藤部長は十日朝急遽帷幄上奏をなし自己の不敏にして重大事態を惹起させたるは恐懼に堪へざる旨を言上し同時に自己の辭表は財部海相に執奏方申請中なること等を奏上した、依つて財部海相は加藤軍令部長と會見後岡田大將、山梨前次官等と密議後御召に依り午後四時二十五分急遽參內拜謁を仰付られ御下問に奉答後加藤軍令部長の辭職を執奏した、依つて十一日御允許下り次第之を內閣に移牒し軍令部長更迭に伴ふ親補式が數日中に行はれる筈

辭職の理由

【東京十一日發電】加藤軍令部長の辭職理由は

アメリカ案に依る協定兵力量では國防の安固は期し得ぬ、且つその決定に軍令部が政府に無視されたるは軍令部長としてその職責を果し得ぬのみならず既に斯かる事態を發生せしめたるは恐懼に堪へぬ

と協定兵力量への不滿と統帥權干犯を以て理由とし之等の問題は加藤大將が部長の地位を去り軍事參議官となるも飽迄強硬に貫徹に努むべく結局統帥權問題は既に財部海相も加藤軍令部長と同意見なので新軍令部長と海相間に確定せんも軍令部無視問題は結局有耶有耶に終り國防缺陷補充問題は豫算期を控へ相當論議されんも新部長と海相間に然るべく折り合ひつかん

後任には谷口大將

加藤大將は軍事參議官に轉補

けふ午後職記を傳達

【東京十一日發電】加藤軍令部長辭任につき財部海相は十一日午前七時半より一時間私邸に松下人事局長を招致して協議した結果左の如く異動を決定直ちに上奏御裁可を仰ぎ午後一時半より首相官邸において左の如く職記を首相より傳達した

海軍々令部長 海軍大將 加藤寬治
補軍事參議官

吳鎮守府司令長官 海軍大將 谷口尙眞
補海軍々令部長

軍令部出仕 海軍中將 野村吉三郎
補吳鎮守府司令長官

財部海相語る

【東京十日發電】財部海相は官邸で語る

今日參內したが宮廷に關する事は絕對に言へぬ海軍人事については何ともこゝで說明出來ぬ、十三日西下吳へ向ふ、特命檢閱の爲めの歸京後二十日頃とならう、吳には綺麗さつぱりした氣持で行くなどは判らぬ人間は死ぬ迄面倒な蟠りに惱まされる

財部海相は辭意無し

【東京十一日發電】財部海相は十一日朝濱口首相と會見し加藤軍令部長轉補に伴ふ人事異動案を提示して首相の同意を得たる後海軍部內の緊張せる空氣を說明し自分は閣員の椅子を占めて居りロンドン條約調印の當の責任者として今後部內の空氣を緩和し現下の事態收拾を圖る覺悟であると述べて濱口首相の諒解を求めた從つて海相に辭意なきこと明瞭となつた

國防上の意見不變

岡田參議官談

【東京十日發電】岡田大將は財部海相と會見後左の如く語る

加藤軍令部長が現職を去つて他に轉補されるといふやうな事は自分は知らぬ、斯かる人事は總て海相の手で決定されるもので軍事參議官に對して何等相談あるべきものではない、軍令部長の更迭に依つて軍令部の從來主張せし國防上の意見に變更を來すといふが如き事はない即ち國防の大綱は全海軍の意思であるから何人が軍令部長になつても變更を生ずべき筈がない更に兵力量の決定に關する軍部の意見は過般の軍事參議官會議において決定せる通りで財部海相も同意せる處である

對軍部問題一段落

軍縮條約可決は明瞭

政府は前途を樂觀

【東京十一日發電】政府は加藤軍令部長の轉補に依り問題の一段落を見たりとして安堵の色を見せてゐる、即ち加藤部長の更迭については政府より何等策動したものではないが、財部海相が國家的見地より斷乎たる態度に出でたので、又加藤部長が政府への不滿統帥權問題への見解の相違を理由とし現職を去るも直に政局に變化を與へるものとは信ぜぬ、斯くて新軍令部長に依り新に國防計畫が立てられロンドン條約案も若槻主席全權の歸京後直ちに樞府に御諮詢の手續を執るから軍部との間本問題に關する限り最早何等の憂慮もない、樞府にて多少の波瀾はあらんも結局可決となるは明瞭であると樂觀されてゐる

若槻全權頻りに政府と無電交換

船中で重要會議開會

【北野丸無電十日發電】北野丸は本日は平穩なる航行を續けてゐるが日本內地における政府對軍令部關係が機微に推移しつゝある爲め船が日本に接近するに伴ひ若槻全權と政府との打合せ頻繁となり本日は數次に亘り無電の交換あり首腦部は折々三十分乃至一時間位づゝ參集協議した、確聞するに若槻全權の歸國を待ち財部海相と對決的意見交換を爲す必要生ぜるものゝ如くである

海軍次官事務引繼

【東京十一日發電】海軍省では十一日午前十時半小林、山梨新舊次官の事務引繼が行はれたが、軍令部次長に新任の永野修身中將は今日江田島發十二日朝東京着同日末次舊次長と事務引繼をなすことゝなつた

南北戰フォトニュース

【上】津浦線で濟南攻略を指揮してゐる閻錫山氏(支那服…氏、洋服參謀長辛仁發氏) 【下】山西軍續々濟南に迫る

滿鐵の人事問題

けふ午後更に重役會議で協議

傍系會社人事も決定

滿鐵では新職制と共に人事異動をこの一兩日中に發表するので社內は著るしく緊張して來た、殊に本俸百五十圓以上の高級社員七百二名中二割(一割は誤り)を整理する噂が流布されたので一般社員の總裁に對する期待は頗る大なるものがある、而して人事問題は十一日午後一時から總裁室において開く重役會議により最後の決定を見る筈だがこれは勿論傍系會社の人事に觸れるやうである

滿鐵の株主總會

來る廿日鐵道協會で

滿鐵の第廿九回定時株主總會は來る二十日午後二時より東京丸の內帝國鐵道協會において開催されることに決定、既に東京支社では委任狀と共に各株主に招集狀を發したが議案は左の如くである

一、昭和四年度事業報告貸借對照表財產目錄及損益計算書承認の件
二、四年度利益金處分の件
三、退職役員に對する慰勞金贈呈の件
四、監事改選の件

平社員の整理は約七百名の見當

總員に對し二分の率

滿鐵高級社員の整理は既に二割と決定したが本俸百五十圓以下の社員整理も勿論豫想されるがこれは病弱その職にたえざる者、永年勤續者中能率の思はしからぬ者、成績特に不良のもの等何から見ても無理でない方面から七百名見當の整理は免れまいと觀測されてゐる然し高級社員の二割即ち百四五十名に對し平社員の七百名餘は百五十圓以下の職員八千名、准職員三千名、日本人傭員一萬支那人傭員一萬四千合計三萬五千名に對し二分位の整理率で滿鐵整理の歷史から見ると非常に少い今次の整理は平社員には殆ど整理の餘地なく高級社員の整理を根本的に斷行するの意圖から出たものと見らる

南軍濟南放棄か

韓氏に處置を一任

陳調元軍泰安に移動

【濟南特電十一日發】濟南に駐屯中であつた陳調元軍の警備旅團は泰安に移動し城內は公安局の衞隊商埠地は韓軍の孫桐萱軍が警備を擔任することになつた、これに徵せば蔣介石氏は濟南を放棄し一切を韓復榘氏の措置に任すことになつたものと見らる、而して韓氏と山西側の交涉は頻繁になつてゐるので濟南の局面變化は一兩日に迫つた

南軍は隴海線で最後の一戰

敗れば蔣氏は下野

【北平十日發電】蔣介石氏は頽勢挽回この一戰に在りとして隴海線の最後的總攻擊を決意しドイツ顧問を督戰し退却兵を後詰めとし新手の豫備兵を前線に送つて必死の準備にかゝり日ならずして隴海線に一大決戰起るべく期待さる、蔣氏はこの一戰に敗れば即時下野あるのみと言はれてゐる

元老連和平通電

蔣氏の下野を條件に

【北平十一日發電】張繼江、孫殿一岡、胡漢民氏元老連の和平通電は愈々近く發出さるべしとの確報ありその內容は蔣介石の下野を中心とし南北軍事將領に即時停戰を勸告し南北和平會議開催と國民政府の改造を條件とせるもので軍政部長何應欽氏、鐵道部長孫科氏も加はつてゐると

何健氏は遂に免職

【南京十日發電】漢口公安局主任何應欽氏は本日國民政府宛、何健が戰はずして長沙丘州を放棄したるは確かに反蔣軍と妥協してゐる事を裏書するものであるから中央政府は直ちに何健を免職し逮捕命令を發せられ度しと申請して來たので政府は直ちに要人會議を開き何健氏の免職を可決し蔣介石氏に對しその發令方を打電した

走馬燈

荻川

支那(其六)

回顧すれば故張作霖が、今の如く東四省ではない、東三省を根據として、宇內併呑を志し、所謂第一奉直戰を捲き起し、而も之に失敗するや、中央から官位官職を剝奪せられ、裸一貫となつて其根據に逃げ歸つたものゝ、彼の餘敵なる、否寧ろ彼の周圍に良佐あり、こゝに保境安民を唱へ、中央獨立と出で、そうして之が後援を民衆に求めんと、自治を其民衆間に吹き込んだ。

◇

自治は此時を以て最盛となす、東三省の形體だけであつたが、東三省のみならず、革命支那の何處にでも、まだかつてそれほどの自治風潮が瀰りしを覩ないが、之が爲に張作霖の勢威は直に恢復された、それと云ふも、全く自治に歡喜した民衆の後援を得たからで、革命支那の民衆が、此一事でも如何に自治を戀ふるかゞ判る、それで若し支那に天下國家を志すものありとせば、是非とも此自治精神に乘らねばならぬ、然らざれば何も爲し得ない。

◇

蔣介石の將來は判らぬが、其現在の苦難を招きしは、自治精神を無視して、他から揚足を取られしなり、亦張作霖が自己の爲であつたにせよ、自治を叫んで其勢力を恢復し、第二奉直戰で過去の怨恨を拭ふて、中央を我物になし得たるに拘らず、其後再度の失敗は、喉元過ぎて熱さを忘れ、やつぱり此自治精神を忘れたからで、乃ちこゝで云はんとするは、張學良にして眞に故父の遺志を繼ぎ、天下國家を志すとせば、自治を思へである

◇

故父の忘れし自治を、吾れ代つて思ひ起し、形體でも好い、故父の東三省に樹てし自治機關を復活すると共に、東四省から、國民黨の一黨專制政治を排除すべし、斯くて此東四省の自治から、聯省自治の出現を誘ふ、斯くせんには、支那じや財政の豐なるものあらざるべからず、然るに自治は亦之を喚ぶ、殊に東四省では、外國資金の流通は良し、民衆は巧に之を利用するの途を知る、若し爲政者にして、之に干涉せざれば、東四省の財政は自から富むを知らずや。

新職制と部屋割

滿鐵の職制改正發表に伴ふ各部の部屋割につき文書及人事兩課では既にその研究にかゝり十一日大體の決定を見たらしい、即ち

▲總務部、正副總裁室を中心に現總裁室附の各室▲鐵道部、現在のまゝ▲計畫部、現業務課方面▲地方部、現在のまゝ▲工事部、埠頭ビル內▲用度部、現在のまゝ▲經理部、現在のまゝ▲交涉部、現人事課及技術審查委員會室方面▲殖產部、現興業部農務課、商工課方面▲販賣部、現在のまゝ▲炭礦部、現在のまゝ▲製鐵部、現在のまゝ

次長候補の顏觸

三氏には既に內命

滿鐵新職制の次長は鐵道部佐美、工事佐藤、販賣小川(內上內命濟)總務築島、交涉大淵、炭礦竹中、製鐵千秋氏等は最も有力なるものと見られてゐる

佐美寬爾氏の鐵道部次長、佐藤俊久氏の工事部次長は十日午後それ〴〵內命を受け、佐藤工事部次長は十一日午前青木建築課長その他關係課長を自室に招致して種々打合せした、また山崎元幹氏の文書課長居据はり、小川逸郎氏の販賣部次長等も既に前同樣內命を發せられたものゝ如くである

異動內命

既に一部に發す

滿鐵新職制に伴ふ人事配置中、字

關東廳歲入調查

明年度の豫算編成に際し

財界不況による減收考慮

關東廳では去る九日附財務課通牒を以て管內各民政(支)署に對して昭和五年度概算調方に關する件を通達したが、引續く財界の不況に加へて昨秋以來慘落歩調を辿つてゐる銀貨暴落は、一般購買力の減少と物價の下落と相俟つて財界に及ぼす影響深刻を極めつゝある現狀にあり、關東廳の歲入も經濟界の不況に依つて當初の豫定額に比較して減少を免れないものと豫測されて居る爲め、關東廳では今般各民政署に下命して昨年十二月以降の實績並びに現狀に徵して、一般經濟事情及び將來の推移に鑑みて各民政署における昭和五年度最初の豫定額並びに今年度歲入概算額に關する增減を提示せしむることになつたものであると

勞働法案と實業家態度

【東京十一日發電】現內閣が來る通常議會には必らず提出するといふ勞働組合法案に對しては去る五日東京商工會議所が反對意見を表明し九日には關西實業家の間に同法案反對協議會が成立しこれに伴ひ更に東北及び九州方面の實業家連も近々相結んでこの反對意見を支持することゝなつたので與黨內においても同法案に對する反對の議論は漸次有力となり却つて無產黨側が政府を擁護するといふ奇觀を呈してゐる、なほ社會民衆黨では近く反對の經濟團體に對し立會演說を申込むと

奉天遼陽間新鐵道

省政府の計畫

【奉天特電十一日發】東北交通委員會は奉天省城より遼陽に至る新鐵道建設を計畫し工事費は省政府より支出して本年八月から起工すると

葫蘆島起工式

來る十五日擧行

【奉天特電十一日發】再三延期した葫蘆島築港起工式は本月十五日擧行するに決定し張學良氏が親く列席するといふので北寧鐵道路線及び沿線駐屯軍は既に警衞準備に着手してゐるが時局柄張氏の葫蘆島行きは恐らく實現されまいと觀られてゐる

大連時報發刊

齋藤光廣氏は山田武吉氏の社會研究の後を引受け大連時報と改題し豐田志義人氏を主幹として月刊雜誌を發行すると

人事

▲早川勝造氏(航空本部附航空兵少佐)十一日入港はるびん丸にて來連
▲西村英二氏(陸軍運輸部附一等軍醫)同上
▲甲賀三郎氏(探偵小說家)同上
▲佐藤秀郎氏(音樂家)同上
▲黑田進氏(醫藥家)同上
▲關禰子孃(同上)同上
▲君島秀子孃(同上)同上
▲關根西男吉氏(大連鐵道事務所船舶長)同上歸連
▲森川莊吉氏(大連機械常務)同上
▲森口惠徹氏(常安寺住職)同上
▲美濃巖氏(實業家)十一日上り機にて大阪へ
▲山田貫實氏(遞信局航空係員)同上京城へ
▲志岐信太郎氏(請負業)同上

大觀小觀

案ずるより產むが易く、加藤大將と谷口大將、すら〳〵と更任するらしい。

◇

そのうちに若槻全權も歸朝する樞密院だとて、そう無理は申すまい。

◇

雲南が獨立したといふ。大勢には事實上、影響せぬやうで、人氣に障ること夥だしい。

◇

一城落ち、一省削られ、而して遂に沒落か。それとも下野か。

◇

だが支那の抗爭、これで循環の幕を切つて落すことも出來ず、依然として抗爭するは支那の慘み。

天氣豫報

十二日(南の風)晴一時曇
滿潮 午前十一時 午後十一時五分
干潮 午前四時 午後五時四十分

清々しいけふの入船
はるびん丸のお土産話

港灣協會の總會 次は大連で
關東廳と滿鐵で希望 關根船長のはなし

六月五日新潟で開催された第三回港灣協會通常總會に滿鐵を代表して出席中であつた船長關根四男吉氏甲板でキャッチする素晴しい盛會であつた、總會は五日だけで前日の四日には港灣に關する

講演會 が開催され水野錬太郎氏の「港灣協會の使命について」松波仁一郎博士の「最近世界の大勢」丹羽工學博士の「商港に關する注意」それに三菱常務三橋氏の「港灣行政に就いて」等の數々の有益な講演あり、總會は五日午前九時より正午まで開催されたが、この提出議題三十一議案、そのうち滿洲に關係のあるのが(一)港灣法制定促進を政府に依頼する件(二)重要港灣臨港鐵道は鐵道省において建設經營すべしの二案でこの點に關しては

贊意を 表しておいた、その他の議案はすべて地方的の細かいもの許りで専門に亙る事だから憚つておく、關東州からは支部長である内務局長の代りに竹内土木課長、それに私、東京支社から平山啓三氏が出席、内務省から土木局長、鐵道省から工務局長、遞信省から新潟出張所長、その他地方知事連、ザッと七百餘名色々な話題が飛び出して愉快であつた、それと明年の

第四回 總會は關東廳の方も滿鐵の方も大連において開催したい意向を有してゐると申込んだが大體大連で開く事にならうと思ふ

奉軍で招聘の 飛行敎官
早川少佐着連

張學良軍の空軍熱、飛行敎官の招聘、飛機の空中輪送、最近の奉天軍が極力航空軍に意を用ひてゐることは注目に價するところだが、この船で航空本部附航空兵少佐早川猷造氏が來連「色々な荷物をもつて來たのですよ」と使命につきアッアリ受流したが

航空敎官として六名許りの將校が各隊から奉天に集ることになつてゐます、それに飛行機四臺の空中輪送なんて用事もありますので敎官用の飛機に用ふる機械やプロペラーを廻す自動車なぞを運ぶために來たのです、それ以外に何もありませんよ、貨物を積込次第奥地へ出發するつもりです

ハモニカ名手
佐藤秀郞氏來連

ハーモニカの名手佐藤秀郞氏も同船來連したが語る

大連での吹奏のプログラムは極つてゐません、ココにはさきに獨逸のフランクフルトで開催されたハーモニカ發明百年祭に出席のため行つたとき通過しました、最近のハーモニカ界はナンだか義憐の聲高しなんていふ人も居りますが決してそんな事はありません、ドイツなぞでは小學校で正科としてゐるくらゐです、それに大きなハーモニカバンドも幾つも出來てゐますよ、日本においても漸次この機運に向ひつゝあります

淺見六段着任

福岡柔道戰で足の負傷にも屈せず戰ひその勇猛ぶりを讃へられた柔道六段淺見淺一氏は、今回滿鐵本社人事課に轉勤を命ぜられ、六尺豐の巨軀を提げ同船で來連した

比支には當分 負けはとらぬ
小野田一雄氏歸連 日本水泳界を語る

第九回極東大會出場の日本水泳チームのヘッド、コーチとして上京中の南滿瓦斯會社々員小野田一雄氏は無事重任を果して同船で歸連したが語る

私の今度の上京は出發に際してお話した如く、昭和七年ロスアンゼルスに行はれる世界オリムピック大會に出場する日本水泳チームを今から養成するにどんな方法をとるべきやと云ふ樣な聯盟からの相談があつたのでその返答かた〴〵上京した樣な次第だ、だから今度のチームの

編成も 來るべき大會の準備として作られた、極東の方は豫想通りにいつたともいへませう、たゞ我等の豫想をいさゝか裏切つたのは鶴田君の不振だつたが、同君は泳ぎ方を最近かへた樣でそれが因をなして今回の不結果となつたのではないかと思ふ、また高石君の不振から高石既に老ひたりと評判する人々があるが、同君は御承知の通り今春學窓を去り勤人となつたので思ふ通りの練習も出來なかつため、あんた結果になつたのでせう、たゞ高石、佐田の時代から高橋、宮本の時代に移つて行くだらうことはいなめない事實だ比島のインデホンゾ、デキルムの二選手の

活躍は 大したもので、後者のデキルム選手は恐らく來るべきロスアンゼルスの大會に世界強豪の一大脅威となるであらう、支那は史興臣を除いた外見るべきものもない、今の調子で行けば日本はこの數年比支には問題なく勝つだらう、現在の日本の水泳界は以前の如く飛び抜けた選手はいないが所謂一流どころの選手が多くなつたため今回の勝利を獲得することが出來たわけだ、殊に長距離は斷然強く千五百米の横山は來るべき世界オリムピックには世界一流の人々をおびやかすであらうと私達は大なる期待をもつてゐる

高氏夫人ヘテーさん來連

異國の空に育んだ戀、それが為めに一今は全くH本國民になり切つたセロの大家高勇吉氏の夫人ヘテイさん、金髪で小柄の美しい人、渡滿の渡されるのも避しと定期船から「私の勇吉が出迎へに來てゐるかしら」と同船甲板で居ても立つてもゐられないといふ樣子なのがヒラリと乘移り出迎への高氏と腕を組んでいそ〳〵と立ち去つた

全滿リレー大會
出場の大連側選手決る

既報の如く撫順體育協會では來る二十二日午前十時より撫順、永安臺、撫順トラックに於て全滿リレー大會を擧行するが、同大會第一部の優勝チームとして數へられて居る大滿アスレチッククラブでは左記選手を以て同大會に出場することになり、二十一日二十一時半の急行で遠征の途に就くことになつた

▲百米競走 岡健次、大久保勇、中村繁、數根喜之助、小數賀源一郎▲四百米競走 木田正計、松重芳雄、三隅一二三、本田繁喜、濱田常盛▲千五百米競走 永谷壽一、大籔寛一、八重樫榮太郎、中島保、花田一彦▲高障碍 鶴岡鶴吉、星名泰、石垣松吉、中村正夫▲三千米團體競走 永谷壽一、大籔寛一、八重樫榮太郎、中島保、花田一彦▲四百米繼走 岡健次、大久保勇、數根喜之助、中村繁、小數賀源一郎、三隅一二三▲千米繼走(A)濱田常盛(B)小數賀源一郎、中村繁、木田正計、松重邦雄、永谷壽一、本田繁喜▲砲丸投 横井金次、大久保勇、中村正夫、瀬川克巳、三上鶴一、星名泰、小林武夫▲圓盤投 横井金次、星名泰、三上鶴一、鶴岡鶴吉、小林武夫▲槍投 横井金次、星名泰、瀬川克巳、峰尾滿久、小林武夫▲走幅跳 岡健次、星名泰、石垣松吉、大久保勇▲走高跳 鶴岡鶴吉、星名泰、石垣松吉、大久保勇、數根喜之助、木田正計▲棒高跳 石垣松吉、日根野峰次郎▲主將兼監督 小數賀源一郎

慶應野球チーム
七月十二日神戸を出發 大連を振出しに北支へ轉戰

【東京十一日發電】慶應野球部は來る七月十二日神戸發大連を振出しに天津、北平に轉戰する豫定で八月上旬歸國すると

海からのお客さま

(上)向つて右から黑田進、甲賀三郎、關種子、君島愛子さんの一行(下左)奉天にゆく航空本部附の早川少佐(同右)ハーモニカの名手佐藤秀郞氏

犯跡を晦ますため 手段を弄する隙もない
不景氣で人氣荒ぶこの頃の世相
わが探偵小說界の權威 甲賀三郎氏談

鐵ぶちの眼鏡の底にジッと澄んだ二つの瞳、漸く禿あげた柔かい毛髮、それに口をついて出るハッキリしたアクセント、工學士でしかも雜誌新青年で親み深い甲賀三郎氏、恐らく日本全國の探偵小說を口にする程のものでこの甲賀氏を數えあげぬものはなからう、さように

有名な 甲賀三郎氏は友人黑田進氏等の演奏會に「前座をつとめるんですよ」……と冒頭しながらサロンで話込む

御社の主催で探偵漫談とする事になつたんですが、大辻君の樣なものは出來ませんが變つた興味のあるものが出來ると思ひます、東京なぞでも時々氣が向くとやりますが、まあ大連のお客を見た上で、自分の經驗だとか研究してゐる事を

漫談的 にお話しやうと思つてゐるんです、一度上海には歐洲に行つたとき寄つた位で全く支那といふものは知りません殊に南と北と全然樣子が違ふさうですから非常な期待をもつて來てゐますよ、また好い材料が手に入らないともかぎりませんからね、いやどうも近頃の樣に不景氣だと人氣も荒くなり東京あたりでも玄能で頭をグアンと割つたりする樣な

突發的 な事件が續出してゐます、人間がいら〳〵してゐるんですね、犯跡を晦ますために色々手段を弄してゐる隙なぞ全く無いと云つた具合なんです、これなんか考へ樣によつたら面白いですよ、日本の探偵小說界も發達したものです、新進の人達のうちには好い素質の人が澤山居ますからね、今度は一ケ月の豫定で約十數回演らうと思つてゐますが御期待に副へれば好いと思つてますよ

『どうぞよろしく』
美しい歌手と伴奏者 關種子・君島秀子兩孃

紅唇といひ、皓齒といひ、全く彼女達のために作られた樣な美しいふたり、ソプラノの唄ひ手關種子孃、ピアニスト君島秀子孃、二人とも初めての土地に些か上氣しながら交々語る

立派な 街だと聞いてゐましたから樂しみですわ、日本人はどの位居るんですか?支那人の方が多いのですね?支那人は皆勞働者ですか?恐ろしくありませんか?

矢繼ぎ早に色々質問してくるそして話が勞働問題にまで入りさうになつたのでまた話を元へ引返し「こちらにはお友達でもあるんですか?」と尋ねると

遠方に 行つてステージに立つ事になれなければと黑田さんとそれに都合よく甲賀さんにありませんは、私達も少しは

若人揃ひ ウンと演る
ハイバリトンの明手 黑田進氏談

最近メキ〳〵賣出したハイバリトンの唄ひ手黑田進氏、東都における人氣は大したものだが、初めての滿洲の人達にもと關、君島兩孃並に甲賀氏と共に本社の招聘で來滿

甲賀氏に來て頂けたので結構だと思つてゐます、氏には色々御世話になつてゐるんです、知人友人はありませんが鍋島秘書役を頼つて來ました、若いもの許りの集り、しかも初めてのところですしウンとやるつもりでゐます、大連を振出しに奥地を廻まで一緒になつて頂いて來た樣なわけです、よろしく

五十男の 劇藥自殺
家人との不和で

市内白金町十一の二滿鐵用度課倉庫係員富川猪一郎方同居人野中喜久二郎(五〇)が十一日朝突然苦悶し出したので家人は大いに驚き大連醫院に收容したところ、劇藥リゾールを嚥下してゐることが判明したので直ちに應急手當を施したが生命危篤である、原因は目下沙河口署にて取調中なるも喜久二郎は本年三月ごろまで滿鐵用度課に勤務してゐたもので辭職後娘婿たる宮川のもとに引取られておつたが家人との折合が惡くそれを悲觀して厭世自殺を圖つたものらしい

……り歸りは朝鮮經由にする事にしてゐます

上陸後一行は本社及び滿鐵を訪問し午後一時より黑田、關、君島三氏は桃源臺山岡電氣課長宅に於ける「合唱を樂む會」の歡迎午餐會に臨んだ

問題の武器
國民政府で引き取る 海關看視船けふ入港

さきに大連海關が沒收、寺兒溝危險倉庫に保管中の武器百四十噸(小銃二百三十九挺、彈丸千二百八十二挺)に關しては劉珍年に引渡す渡さないで種々紛糾をつゞけてゐるが、十一日午前上海より總稅務司の命令で、海關看視船艦金號(三百七十噸船長グラムゼンセン氏)が來港、國民政府に引渡すべくそれを船積上海に持ち歸る事となり、關東廳方面の諒解も得たので直ちに荷役に着手したが今明日中に出帆の筈である、これは一面國民政府側が武器の缺乏により焦燥を感じてゐる事を裏書してゐるもので、既報劉珍年の命令で芝罘から乘込んでゐた軍營處長王金書はあぶ蜂取らずとなつた形である

集金橫領の 外交員捕ふ
カフエで遊興中

市内西公園町公園館内賣藥商宮本藥房外交員竹島良(二)は大連および旅順方面にて賣藥行商に從事中昨年九月ごろより僞造の領收書を使用して集金帳簿を胡魔化し約三百餘圓を橫領のうへ市内各カフエーに遊興し、去る三十日突然行方不明となつたので、宮本はかねて大連署に告訴を提出中であつたところ、十日夜市内若狹町越後カフエーにおいて遊興中を沙河口署の岡和田刑事に逮捕された

神田署長等答禮

十一日午前十時三十分神田民政署長、永井市長代理は大連入港中のフランス軍艦アルゴール號を訪問しルブラン艦長に答禮した

台所メモ
公設市場物價

品目			
鯛	(生) 百匁	二五〇	一二〇
ほうぼう	同	一〇五〇	〇二五
いか	同	一〇〇	—
ぐち	同	〇八〇	—
かながしら	同	〇五〇	—
えび	同	二〇〇	一五
ひらめ	同	一〇〇	—
すゞき	同	二〇〇	一〇〇
さはら	同	一〇〇	一〇八
めばる	同	一五〇	一二〇
あぶらめ	同	一五〇	一二〇
ぼら	同	一二〇	一〇〇

問題

日活映畫『この母を見よ』は大連に何月何日から上映されるか?『この母を見よ』と時代劇作品は何を組合はしたらよいか、その題名?

締切期日 六月廿五日限り

賞品 一等賞金側懷中時計(一名)二等賞金側腕時計(一名)三等賞クローム側腕時計(一名)等外大日活入場券(百名)

主催 滿洲日報社演藝部

艶色生膽祕譚（139）

伊藤松雄作　河原緑亀太郎畫

似顏繪（五）

相樂總三先生はじめ、薩摩邸にたてこもる人々が、それとなく望見してゐるときかされて三藏、ぐつと身がひきしまつた。

スタスタと足音忍ばせて五重塔下へ辿りつくや、いきなり右肩を前こごみにして太夫をヒヨイと地上へおりたゝせ、

「これよ、そうらたのんだぞ！」

火藥一包、まづ摑ませて、上へ登れと指圖する。

と、合點した猿、一散に驅けだして、鐙へパツととびのるや、スルスルと上りはじめた。

導火閥はお庫裡打の折と違つて長い。

「うん、さすがは重五郎親方とお染の仕込みだなア」

お染の白い手が暖かいのでその愛猿をあやつつてでもゐる様に三藏、塔を仰いでいまさら乍ら感じいつてゐる。

鐙へパツと猿はおりたつた。

「よいしよ！御苦勞だがいま一度それよ」

またしても猿は火藥包抱へて……これをくりかへすこと三度。

「しめたッ！」

導火線を三本一つにからげて、懷の火打石、早速とりだしてカチカチと叩く。

「三藏、おちついてやれ、慌てるなよ」

左近はすぐ背後に立つて三藏をかばつてゐる。

「へい！」

とたんにつけ木の火がつくと、導火線へうつされた。

ポツリと赤い一點の火がスルスル上へ上へ這ひあがつてゆく。

「よしッ！」

左近は三藏の腕をギユツと握つた。

「逃げやう」

「そらよ！」

三藏の肩へパツと猿がとびのるや、二人は一散にもと來た碑へとつてかへす。

やがて眼には見えなかつたが一縷の火は導火線をつたつて三重目の軒下へ登りつめたか。

轟然たる音響と共にパツと吹いたつよいて咲いたは燦々たる火花た白煙。

五重塔は一面の火炎に包まれた

「うむ、見事、出來した！」

「しめたつ！」

左近は三藏ともども雀躍りしたが、ヒヨイと氣づけばその炎々たる火に照されて、いままで暗かつた碑蔭は眞晝の如く明るい。

「さ、逃げろ！」

「心得たり！」

二人は再び森の奧へと走る。

恰度この時だつた。

「あッ！姐御！」

五三郎は轟然たる音にギヨツとした。

と、五重塔は一面の火……。

「五三郎！」

さすがのお仙は双足ピタリと大地へそくひづけになつた形。

二人は五重塔下へ約一町の森蔭に約束の刻限待つてゐたのだつた。

「何てえことだ」

「五三郎、そ、それよりも左近様は？」

「あツ、いけねえ、さうだつけ、約束の刻限よりやアちいつと早いが、も、もしや、塔の中へ上りこんでもゐなさつたら」

「は、早く行つて見ておくれ！」

「合點で」

五三郎は炎々と燃える五重塔めざして驅だした。

と、左近が身代りにならうと云ふ右近、山下に夜明しの店を張る鍛茶屋で、つい好い氣持に盃を重ねてゐたが、怪しい物音と共にドドツと地上をふるはす震動、やがて、

「火、火事だあッ！」

の叫び聲。

ヒヨイと眼をあげると森のかなたが眞赤に燃えたち、金砂子のやうな空に火の粉が渦をまいてゐる

「亭主、どこだ、火事は？」

「へい、どうやら五重塔あたりで」

右近もギヨツとした。

「な、何んと申す？」

「ああ五三郎め、してまたお仙とやら、それがしを待ち設けての粗忽火でも出したではあるまいか」

さう考へるとおちつとしては居られない。

キネマと演藝

篠田實一行 顏觸れ 十四日乘り打

浪曲界の花形として人氣の絶頂に立ち「紺屋高尾」のレコードによつて全國的にその名聲を謳はれてゐる篠田實は既報の如く來る十四日入港のうらる丸で乘込み同夜より歌舞伎座に於て開演することゝなり素晴らしい前人氣であるが、一行の顏觸れは壽々木亭馬生、篠田家柳枝をはじめ木村小重浦、篠田若實、三桝家一丸、篠田實好、篠田實丸らの若手新進揃ひで期待されてゐる

野球熱に浮された帝國館の連中、おもてにキャッチボールをしてゐて▲豆腐ニーヤの頭にぶつけてニーヤから「ニイデ盲か」と馬鹿にされ▲憤慨して言ふとがい▲「向ふ先が見えるやうだつたら野球なんかに初めから手を出さぬ」▲ヤマトホテルのルーフが多分來る廿八日から例年通りに解放されるが、映畫は露人アラケロフ氏が配給する▲ところで亭主の好きな赤烏帽子で連續探偵活劇のやうたものが多いとの事▲大日活の桃色映畫週間は中止されて「日本髷」が「貝殼一平」と組んで二度の左褄

實滿戰と音樂（下）

新井光藏

映畫から音樂の伴奏を除けば何が殘りませう喜怒哀樂の情緒が半減されると申しても敢て過言ではありませぬ。近來伴奏の良否の問題は如上の理由に依る事は明白な事實であります。

茲に映畫を引用したのは單なる例であつて野球とシネマを同一視した譯ではありませぬから大方の御諒解を願つて置きます。

球場に於けるブラスバンド（管樂隊）の勇壯な演奏は試合効果を一層よりよくするものと確信します。球界水原義雄氏の聲は外野に立つてた私の耳にまで氣持よく響いて來る位ですから管樂團の演奏は必ず成功するものと思ひます。

音樂は單なる道具であるかの如く一部の人は解釋されますが勿論樂器の種別にも依りますけれども事實は全く反對で吹樂隊がそれを證據だてるに充分だと思ひます。

球場における管樂隊（ブラスバンド）の演奏によつて大衆ファンの感覺をクライマックスに到達させて置いて定刻に野球戰が開始されると云つた順序が理想的だと思ふ。そうすれば待つてる二時間にアクビする暇もなく却つて緊張の度を加へ耳と目を樂しませる。聽覺から視覺への轉換として管樂團の設備が是非なければならぬと思ひます。私は音樂と運動に共通性のあることを痛感する者でありますが百米突の決勝に十秒を爭ふ涙ぐましき精進に可憐を表します但し音樂にしても運動にしてもジレッタントの攫りよかりのものは精進の意義を失ひます。

運動と音樂は陽性と陰性、外向的と內向的の差はありますが究極の目的に於て、努力に於ては相等しきものと思ひます。

どうぞ如斯意味に於て音樂とスポーツが相互に理解してもう少し接近させたいと思ふ。コオラスの團體歡欲なども隨分目先が變つてると思ひます。

先づ差當り帝都に於ても未だ試みざるスポーツと音樂の提携を我が大連に於て實現させたいと考へましたが敢て當事者の御贊同を得ば望外の幸福であります（終）

大連 JQAK

六月十二日午後七時卅分

▲支那語講座（第四十五課）滿鐵學務課秩父固太郎

▲講演 探偵小說、甲賀三郎

▲テノール獨唱（イ）アイ、アイ、アイ、オスマンテレス曲（ロ）出船の港（中山晉平曲）（ハ）土投歌（藤井清水曲）黑田進

▲ソプラノ獨唱 夜鶯（露西亞民謠）（アラビエフ曲、オルゲニ編）關種子、ピアノ君島寰子

▲筑前琵琶「經正」法信山服部旭萌

▲料理獻立 須古旭薬

▲天氣速報

▲ラヂオ體操

第十四回 滿日勝繼碁戰（井上氏二回勝 二四目）先二子先番 瀧田俊介氏 井上太市氏

【14】

○二〇四は二百一の處劫とる　●二二三は（二二五の處）劫とる　●二六一は（五〇の處粘ぐ　○二六四ニ九　●二六五ワ七　○二六八ハ九　●二六九ト九　○二七二リ四　●二七三はカの十一（一六四の處粘ぐ）

○二三〇は（一六四の處）劫とる　○二四二は（二三九の處）粘ぐ　○二六二ホ十五　●二六三ヲ六　○二六六カ五　●二六七ホ九　○二七〇リ五　●二七一リ七

二百七十三手終局（井上氏三目勝）

▲清水二段講評　本局は井上氏の强敵に對し瀧出氏先番を以て最初より善戰優勢を持續せられしも黑一九一手に至りて過てり即ち此手を以て一九七に突込み白一九九に粘ぎ黑一九八白一九一黑二六五と打つべし黑一九七の場合に於ては黑尙優勢の局面なるを以て大に一考自重すべきなり尙黑二〇九は見逃ひなりしならんも直に二一〇に約へて差支へなくさへすれば尙幾分黑に殘らん最後に黑二二一は大に輕卒にして或は敗着ならん當然二二二に綽ねざるべからず然る時は此一圖の白は活きざる可らざるを以て黑若くは黑に殘りしやも知る可らず惜ひ哉

關種子孃の天女

けふ來連した關種子孃は關鑑子夫人の義妹に當り坪內逍遙博士作山田耕筰作曲演出の歌劇「墮天女」の主役天女に扮し無名歌手から一躍してその存在を知られた新進のコロラチユラ・ソプラノの歌手である【寫眞は墮天女の一場面】

滿洲日報

井上英語講義錄

先づ英語を!

井上十吉先生御執筆
門下拾五教授御指導

ABCの讀方より開講

英語を知らぬ許りに、あたら有爲の青年が機會も得ずに老いて行く。英語を知る事は既に常識であり、實力時代での有力な武器だ!刻下の緊縮が飛躍への絕好準備期である事を知る人は先づ英語を學べ!講師は第一流添削回答は親切迅速必ず英語が物になる一日二時間小學卒業の學力で充分。先づ見本を請求して英語獨學の容易なるを知り給へ。

七月新學期 學生募集

講義別冊附錄
(1)英和小辭典 全六册
(2)英文復習帖 全六册
(3)英習字手本 全一册
(4)特許英習字帖 全一册
(5)雜誌イングリシュ 月一回

校則見本進呈

東京麴町富士見町四丁目
井上通信英語學校
振替東京三〇二八八番

萬年筆 ウオーターマン
アメリカントランプ
直輸入

Waterman's Ideal Fountain Pen

大連市大山通り浪速町角
滿書堂文具店
電話四・三〇六一番

看板はホーローで…

色彩ホーロー看板
金屬製高級看板
七宝入メタル
ホーロー製門標
鉄道沿線看板
各種宣傳用品

支店 東京市芝區愛宕町三ノ三八
電話芝一七三五番
出張所 名古屋・久留米・京城

大阪住吉区阿倍野筋四へ
木山標記本店

支那語速成講座

主幹 飯河道雄先生 全卷責任執筆
北平 馬冠標先生 校閲
第六回會員募集
內容見本贈呈

新學期開始

(講座科目)
△學習法 △發音法 △官話彙說篇 △單語記憶法 △家庭會話 △交際會話 △商業會話 △日語華譯法 △初等日本語 △時文入門 △民國時文選 △民國普通尺牘 △民國商業尺牘

支那語速成講座合本
總クロース金文字入・實費金六圓・送料(大連市內拾貳錢・關東州及滿鐵附屬地內參拾錢)・其他金六拾七錢

會費一ケ月金一圓(送料四錢)
會費三ケ月金二圓八十錢(送料十二錢)
會費六ケ月金五圓五十錢(送料廿四錢)
(六ケ月完了)

申込及配本處
大連市春日町六一(振替大連四三六一番) 東方文化會
大連市浪速町(振替大連五五) 大阪屋號書店
大連市連鎖商店街(振替大連二二七) 大阪屋號分店
其他滿洲各地書店

ハーレーダビッドソン

モーダリスト熱望の總てを完備せる

一九三〇年式

大型は各車輪着脫式共通に中型、小型は堅牢無比に數多き其の新改良は驚異的のスピードと共にハーレーダビッドソンの眞價をより高める事と存じます。

一九三〇年式
一二〇〇c.c. ツキン VS型
七五〇c.c. ツキン D型
五〇〇c.c. シングル C型
三五〇c.c. シングル B型
一人乘サイドカー LT及LS型
二人乘サイドカー QT型
貨物用中型シャーシー MC型
貨物用大型シャーシー MWC型

豐富なる部分品
親切なるサービス

御申込次第實物供覽の上御說明申上ます
御要求の節は各位の御來店お待ち申上ます

東洋總代理店
ハーレーダビッドソンモーターサイクル販賣所
東京・赤坂區溜池町十二
大阪・北區上福島町南一丁目
大連・紀伊町四十二
福岡・福岡市下小山町

良き品を安く賣る店
確實なる正札附
シシユウ表丁寧に仕立ます

三福屋履物店
イワキ町 電4917

梅雨一來る

季節の變り目は胃腸を最も害い易い時であります本品は特に胃腸を整調し而かも元氣撥剌、血色の良くなるはカルシウムの應用配劑に依る……故に此時十分滋養に富み而かもおいしい……カルケットをお與へ下さいお母様やお父様もお用ひ下さいヨリ健康を增進する爲めに……

本品は特に(愛兒のおみやげに 姙婦の方のお見舞に 虛弱の方は身体强健に)

國產乳菓 カルケット

おいしい・じようのお菓子

一粒一粒にカルケットさ入れてあります

東京 大阪 中央製菓株式會社

大理石の御用は 內田石材店大理石部へ
南滿大理石工場
工場電九九三〇・自宅電七七四〇番

登錄 商標
亞鉛引平板
亞鉛引浪板
地球獅子牌

營業課目
鐵材、鋼板、管、棒、コ・T・L・Π異型鋼、眞鍮、板、棒、管、線、燐銅、亞鉛引針金、平浪板、釘、鉽力板、建築材料及耐火煉瓦、錫、鉛、亞鉛、ニッケル、アンチモニー、ハビットメタル、電信、電話用機械及各種材料

本店 大連市監部通四十九番地
株式會社 大信洋行

支店出張所
奉天 大西邊門外路南
哈爾賓 道裡新城大街
長春 城內東三道街
錦縣 城內東街
天津 日本租界桃山町
大阪市 南區安堂寺橋通三丁目

品質本位の地球獅子牌亞鉛引平浪板

建築—設計—監督
構造—計算—鑑定
宗像建築事務所
工學士 宗像主一
大連市連鎖商店街廣小路
電話三四九五番

瑞西製
ジユラツシア
各種蓄音器
十ケ月々賦販賣

實演其儀と器械の完全なる
ジユラツシア蓄音器

一、形狀外觀最優最美麗に室內裝飾品としても美術的價値充分なり
一、ホーン裝置は學理的研究の粹を集めたるものなれば完全に明快なる肉聲を發音し聽者をして快き恍惚境に遊ばしむることは從來の「所謂高級蓄音器」の比に非ず
一、「サウンドボックス」には本社の最も苦心の工夫を凝したる所なれば如何なる高低音にも雜音の混入し來る恨れ絕對になし
一、「モーター」は最も精巧にして堅牢、「ウオームギヤー」の裝置を施しあれば同轉滑、停音、雜音等一切なし
一、學理と實際との研究の極致は今日迄改良し得て從來の蓄音器の有せる缺點の全部を除き得て製作するに至れる如きは世界無比の逸品なりと稱すべく之れ當社の斯界の革命的進步と稱する所なり

連鎖中込所
連鎖商店街 榮商會
沙河口 高浩洋行
旅順 スター樂器店
瓦房店 金光堂支店
鞍山 金光堂本店
遼陽 弘文堂支店
本溪湖 石原時計店
撫順 高久商會
同 能文堂書店
同 ツルタ蓄音器
奉天 中道樂器店
奉天 信昌洋行
鐵嶺 ミクニヤ樂器店
同 山崎商會
開原 上枝時計店
四平街 甲原成美堂
同 東澤商行
公主嶺 中川洋行
長春 小久保商行
同 金泰洋行
同 阿倉時計店
安東 平本洋行
同 長谷伊安店

榮商會本店
大連市浪速町伊勢町角 電話八三九〇番

オリザニン

ヴィタミンBの世界的始祖

脚氣に對するオリザニンの效果は既に決定的事實なり

オリザニンは脚氣の外 (1) 重病經過中に來る榮養障碍及其浮腫の治療と豫防に (2) 人工榮養兒、特に煉乳、穀粉榮養兒榮養障碍の治療と豫防に (3) 姙婦の榮養を助け惡阻を輕減若くは防止し便秘を去るに極めて適切なるを知らる

粉末、錠劑、液劑、越幾斯劑、注射劑の各種あり
類似品多數ありオリザニンと指定を要す
(實驗報告集進呈)

東京室町 三共株式會社
大連市山縣通一九三 三共製品販賣所 三共株式會社

最新刊

道元禪師全集 大久保道舟著 實價五圓廿五錢送料廿七錢
關稅と物價 小林行昌著 實價二圓六十二錢送料廿七錢
日本道德史 清原貞雄著 實價五圓七十七錢送料廿七錢
圖畫の鑑賞教育 小塚宇市著 實價二圓四十一錢送料十四錢
鵰杯 吉井勇著
支那國民革命と馮玉祥 布施勝治著 實價二圓十錢送料十錢
新選大町桂月集 大町芳月著 實價一圓五十錢送料六錢
滿蒙遊記 與謝野晶子著 實價二圓十錢送料十錢
野球通 橫戸信著 實價七十三錢送料六錢
新しい野球の實際と見方 飯田素之助著 實價一圓卅六錢送料六錢
野球通になるまで 橫井春野著 實價七十三錢送料四錢
代數學問題解方と基本化 三省堂編輯所編 實價一圓四十七錢送料六錢
良寬さま 相馬御風著 實價一圓五十七錢送料八錢
旅の茶話 荻原井泉水著 實價一圓卅六錢送料六錢
古今怪異百物語 岡文館編 實價一圓五十七錢送料十錢
人體解剖圖 三省堂編 實價三十五錢送料二錢
英語問題詳解 英通信社著 昭和五年度高校專校英語 實價一圓五錢送料六錢

大連市浪速町
大阪屋號書店

最新刊

貨幣錯覺 フイッシャー著山本米治譯 實價一圓五十七錢送料八錢
マルクス主義 青野秀吉以下十五名著 十八講 實價一圓五錢送料六錢
政治の基礎知識 コミンテルン編田畑三四郎譯 實價一圓五錢送料六錢
生活最小限住宅 拓殖芳男譯 實價二圓十錢送料十錢
無機化學工業 小栗捨藏著 實價三圓三十六錢送料十四錢
經濟國難打開の途 中外商業新報社著 實價一圓五十七錢送料八錢
大衆經 岡田播陽著 實價一圓三十六錢送料八錢
ダニエル、アレヴィ著生田長江譯 ニイチェ傳 實價二圓九十四錢送料十八錢
主權妻權 佐々木邦著 實價二圓三十一錢送料十二錢
ドストイエフスキイ書簡集 菅間果維著 實價一圓五十七錢送料八錢
安全確實限の實際 竹田律六二著 實價一圓二十六錢送料八錢
軀以上 倉田百三著 實價二圓十錢送料十錢
軍縮の不安と太平洋戰爭 平田晉策著 實價九十四錢送料六錢
次の戰爭と我海軍 村上熊慶著 實價一圓五錢送料六錢
唯物論 無神論 (佐野學集第二) 佐野學著 實價一圓三十七錢送料八錢
評論集十年間 前田河廣一郎著 實價一圓八十九錢送料十錢
國際廣告選集 朝日新聞社編 實價二圓十錢送料十錢

大連市大山通
滿書堂書籍部

社説

保境息民に徹底せよ

關内の形勢、南方軍に不利、この勢ひを以て進まんか、よし天下閻、馮らの反蔣聯軍に歸するに至らぬまでも、北方側の勢力、増大することは明白である。勿論兩雄ならび立たず、天下は閻、馮の手中に歸するも、彼らは再び抗爭の地位に留かるゝことは、支那の情勢に徴して既定の事實といひ得るであらう。その結果、この關内の動亂が、關外の東北四省に如何に影響すべきか。奉天側としては相當、警戒を怠つてはならぬことであるが、併し、關外は特殊の地域であり、關内に對する野望さへなくば、山海關を界線として保境息民を實現するに、最も適當の領域といふべきであらう。

◇

東北四省は先代張作霖氏の時代から保境息民を鐵則として嚴守してさへ居れば、安樂の境地として治安の保持と産業の開發とを可能ならしめ得たのである。かの財政家としての王永江氏などが、苦心惨憺、財政の樹直しに努力したのも、全く東北四省の特殊性を發揮せんとするに外ならなかつたのである。然るに勢ひの赴くところかとにかく關内に野心を持ち、一時は南京、上海までも奉天側の勢力範圍となつたことさへあつたのである。いま一ト押しで天下を統一し、全國を武力的、統制することかと思はれぬでもないが、支那の現實を、歴史的、地理的に、考察するならば、それは全く無理の野望といふの外ないのである。

◇

先代の時代から、この東北四省は保境息民を以て嚴乎たる鐵則とせねばならぬ。關内に野心を持ち支那の南北統一、全國統制が、よし武力によつてでも可能ならば格別、然らざる限りは、鐵則を嚴守するより外に良策は存在せぬのである。今日の奉票崩落の如きも、これが源流を辿らんか、遠く關内野望時代に發生したものといはねばならぬ。勢ひとあらば、それもして仕方ないかも知れぬが、奉天側としては關内への野心を全く拋擲し一意專心、關内治安を維持することに努力し、以て一般民衆の生活を保障し、産業の開發を指導すべきであらう。

◇

かくいへばとて吾人は、奉天側當局に對し、關内の形勢に全く無關心なれといふのではない。ただ消極的たれ、受身たれといふまでゝある。積極的なる野望を捨て、禍亂の關外に波及せんとを極力防止すべきである。蔣軍、反蔣軍に對し絶對中立し、保境息民の精神を確立徹底すべきである。關内民衆の疲弊は言語に絶するものあり、いかに奉天票の崩落ありとも東北四省の民衆は、禍亂の波及せざること、地力の豐沃なるとによりいまだ恢復の餘地なきにしもあらずである。ただ今日にして民力を休養するところなくんば、その結果は恐るべきものがあるのである。而して奉天を中心とする東北四省の金融狀態は特殊事情のもとにあるのであるから、殊に保境息民の鐵則が要求される。

◇

要するに關内の形勢は、北方に八分の勝味ありといふものゝ、結局するところ、當分は動亂また動亂を繰り返すものと思はねばならぬ。この今日を以て明日を期することの出來ぬ情勢に對し、徒らに野望を逞くするより危險なることはない。顧みて東北四省の民情を察せんか、決して泰平を樂みつゝあるものとも觀えぬ。否、政府財政の疲弊に加ふるに、世界的の銀安に煽られ、民衆の苦痛とするところ思ひ半ばに過ぐるものが存するのである。かくの如き關外の事實を顧み、年中行事ともいふべき關内の動亂に察せんか、東北四省の治安を保持し、産業を開發して民力を休養することは、奉天側の重大なる責任であらねばならぬ。ゆゑに吾人は、奉天側當局が、ひたすら保境息民に徹底せんことを勸告するものである。

明渡し交渉決裂し再び戰端を開く

韓氏が青島までの地盤を強請　濟南の危機去らず

【北平十一日發電】韓復榘氏對山西側の濟南明渡し交渉不調に歸し兩軍再び戰端を開くに至つたが、右は韓氏が明渡しの代償として周村より青島迄を自己の地盤として承認されたいと迫つたゝめで濟南の危機はなほ去らない

韓軍撤退の條件　濟南各機關ガラあき

【濟南特電十一日發】韓復榘氏は山西軍と或種の諒解を遂げたものか軍の主力を膠濟線へ集中せしめてゐる、而して韓氏は萬已むを得ざる場合は津浦線によりて南退せず膠濟線にて東に退き博山より萊蕪に出で泰安に據らむと語つたが恐らく隴海線上の蔣軍の不利が事實となつて退却を開始した場合これを理由にして蔣氏に對する面子を立て一方山西軍の攻圍が更に進みその主力の渡河を完了した時を以て、居留外國人に危害を及ぼすに忍びずとの理由を聲明して濟南を明渡すと共に山東東部の一半を地盤とすること、相當の立退料を支給せしめることの二條件を閻錫山氏に實行せしめるであらうと見られてゐる、因みに陳調元氏の參謀長を始め黨政兩界の各要人は續々青島に赴き濟南の各機關はガラ空となつた

濟南の居留民　避難準備成る

【濟南十一日發電】濟南居留民の避難準備は全く成り何時事件が突發するも差支ぬ程度となつてゐる

銀の思惑は大連錢鈔市場へ

變態的な上海の相場

【上海特電十一日發】當地爲替相場は依然として大波瀾を繰返してゐるが當地の投機筋は極度の疲弊の結果取引の主力が大連筋に移つた形となり大連は遂にこれが騰落をリードする地位に立つと共に大連の騰落如何が上海相場を左右するやうになつて來た、從來大連筋の賣買は特産の出廻り期に限つて上海市場でも圓を買つてゐたものであるが最近は特産におかまひなく自由に活躍してをり一方上海唯一の思惑機關たる標金市場は金の輸出禁止によつて變態的となり更に標金取引の暫時停止を傳へて愈々寂れかくて銀に對する思惑は上海標金から大連錢鈔市場へと移つて行く傾向にある銀價對策として當局が標金取引を禁止するやうなことにでもなれば愈々思惑は上海を離れて大連に向ふものとみられてゐる

嚴正中立を續ける奉天派

蔣派の策謀は失敗し　得意の閻馮兩氏代表

【奉天特電十一日發】津浦線方面の戰況進展に伴ひ東北の態度は愈々各方面より重視さるゝに至つたが、所謂和平會議や停戰通電等の説は目下滯奉中の李石曾氏等南京派政客の希望的宣傳に止まり問題とされてゐない、蔣介石氏は張學良氏と親密な方本仁氏と吳鐵城氏とを數ケ月前から奉天に居坐らして頻りに東北軍の參加を慫慂せしめてゐるが、結局徒勞に終り最近に至つては反蔣軍の優勢に依り一時蔣氏側へ六分の好意を持つた張氏の中立は却つて五分々々の文字通りの嚴正中立に退歸したかの觀さへある、蔣氏の有力代表派遣に對抗して閻錫山氏も張繼、清、楊廷溥、孔繁蔚諸氏を代表として半永久的に滯奉せしめ馮玉祥氏も同樣門致中氏を派遣してゐるが代表戰の結果は實戰と同樣反蔣側の勝利に歸したやうである、即ち閻馮軍側は當初東北の中立に非常なる疑惑を抱き東北軍が或は南京軍に呼應して平津方面に出動することも無いかを極度に虞れ有力なる各代表を派して之を防止すると共に平津地方に有力部隊を駐めて萬一に備へてゐたのであるが、東北動かずと見て始めて是等の後にも備ふる豫備隊を全部津浦線に依つて南下せしめ之が爲め現在の優勢を得るに至つたのであつて今日に至つては東北軍の平津進出の疑念は完全に一掃されたのである、現に閻氏の代表楊廷溥氏は記者に對して

東北の態度はすつかり明白になつてゐる、私共は初めから張學良氏が出兵して援助して呉れることを期待してはゐなかつた、兵數は南軍より我々の方が多いのだから東北は單に中立さへ守つて呉れゝば好かつたのであつた、東北の中立は既に確定して變化は無い

と言外に使命を果し終せた得意さと安心を表示した、要約するに種々の臆測や宣傳はあつても東北の方針は完全なる嚴正中立と閉關自守の二原則を確守して消極的態度で徐ろに形勢の推移を觀望せんとするのである

雲南省の獨立宣言

【南京十日發電】支那側の確報に依れば雲南省主席龍雲氏は九日附雲南省の獨立を宣言した、右が事實とすれば廣西、貴州、雲南三省は完全に中央から離反し中央政府の命令が行はれるのは江西、廣東、湖北、安徽、江蘇、浙江の六省だけとなつた

支那軍艦の彈藥庫爆發　長沙市内に謠言

【長沙十一日發電】昨夜七時假泊中の支那軍艦彈藥庫に爆發起り火焔天に冲して物凄い光景を呈したが十時半に至り漸く火勢衰へた原因は不明で長沙市内には忽ち謠言が盛んに行はれ時々銃聲が聞えてゐる、兵變が起つた模樣である

陸相辭任か

後任として南大將に內交渉　病氣が捗々しからぬ

【東京十一日發電】宇垣陸相は先月十七日軍醫學校に再入院して以來經過順調であるが、何分病氣が病氣なので恢復捗々しからず傷口も鷄の玉子位の大きさと深さを維持して居る有樣なので決裁を要する書類の如きも自身で閲覽せず秘書官の概要説明で決裁し勿論面會も絶對謝絶で萬止むを得ない場合に限り阿部、濱口兩次官等と少時間會談するに過ぎないが會談後の疲勞甚だしく今の狀態から推せば通常通り執務し得る迄には尚最少二月を要すると診斷されて居る、然るに目下陸軍には

一、軍制改革
一、豫算問題
一、定期大異動

等の問題が山積し居り陸相が尚二ケ月も平常通り執務し得ないとすれば陸軍業務上由々敷支障を來たす譯であるが、文官事務管掌に絶對反對である以上勢ひ問題は陸相の進退問題に及ぶ外なき問題であり陸相もこれに鑑みる處あり遂に辭職の決意をなしたもの々ごとく濱口政務次官が六日朝鮮に赴き十一日南朝鮮軍司令官を訪問したのも宇垣陸相の意思により南大將を陸相後任に推薦する內交渉をなしたものと觀らる

本年度豫算減收約六千萬圓

大藏省大節約を遂行

【東京十一日發電】本年度歳入豫算減收に關し大藏省では約六千萬圓に達するものと見、この歳入缺陷を補ひ追加豫算の財源を捻出するためには是非大藏省案たる八千百萬圓の節約を遂行する要ありと強硬な態度を持してゐる、この歳入減內譯は左の如くである(單位千圓)

項目	金額
一、租税	四三、〇〇〇
内 所得税	一六、〇〇〇
營業收益税	五、〇〇〇
酒税	二、〇〇〇
織物消費税	四、〇〇〇
取引所税	一、〇〇〇
關税	二五、〇〇〇
一、印紙收入	七、〇〇〇
一、森林收入	八、〇〇〇
其他	二、〇〇〇
計	六〇、〇〇〇

なほ目下税務監督局長會議の實際的見込みを纏めてゐるのでその終了次第正確な見込み額の判明を待ち節約額と照し合せ明年度豫算編成に對する方針を決定するはず

海相を支持し政府を督勵

民政黨側の方針決る

【東京十一日發電】加藤軍令部長の辭職問題に絡まり財部海相の進退が注目され遂いて政府は窮地に陥るが如く見る向もあるが、これに對し民政黨側では軍令部長の辭職は豫想された處であつて一部にはこれを以て海相も責を負ふて進退を決すべしとの説を爲すものもあるが、海相は全權として調印せる責任者であり而かも條約の締結に當り政府の採れる措置が何等違法に非ざる以上この際飽く迄隱忍自重して軍縮實議の善後策を講ずる要がある、從つて軍令部長が辭めねばならぬ謂れはない、又海相自身も斯かる事では斷じて辭職する決心を有して居ると思はれぬから與黨としては極力海相を支持し既定方針の下に堂々と樞府に臨むのみである、又統帥權問題についても議會で聲明せる通り政府の態度は正當でありこの間如何に反對派の策動や陰謀が行はれるとも其のため内閣の基礎は微動だもするものではないと爲し強硬な態度で政府を督勵し樞府の難關を突破する決心を固めてゐる

部長更迭と政府方針

【東京十一日發電】今回加藤軍令部長の更迭を見ることゝなつたにつき濱口首相は十一日朝財部海相より報告を受くると共に江木鐵相を招致して今後の對策につき重要協議を爲したがその結果

一、軍令部の問題は一段落となつたから今後は一意條約案の樞府諮詢の準備に向つて邁進すべく此の間軍令部長の更迭を材料とする反政府系の策動には充分戒心し條約成立の目的を達すべきこと

一、加藤軍令部長の轉補斷行から海相も亦進退を決すべしとの論が擡頭してゐるが海相の處置に何等手落ちなく更に今後條約兵力量に依る新國防計畫樹立の重大任務を有してゐるから單なる女々しき理由に依つて職を去るは不可である殊にこの際の進退は政局に關係を有することであり海相の自重を望むと共に政府は一致して海相を支援すること

一、軍令部長の更迭は海相の軍部大臣としての專管事項であるから政府は何等關係なき事を樞府方面に明瞭ならしむること

と云ふに意見一致した

三相鼎座協議

【東京十一日發電】財部海相は十一日午前十時五分官邸に濱口首相を訪問前日參內上奏せる內容を報告し尚現下海軍部內の重大事態につき懇談したが途中江木鐵相も首相の招致に依り來邸同席して意見の交換をなす處があつた

加藤大將別離挨拶

【東京十一日發電】加藤大將は十一日午前八時四谷三光町の自邸に軍令部の加藤隆義、吉田善吾、河野董吾の三少將を招致し軍縮會議中における努力を謝すると共に十日の帷幄上奏につき詳細説明し諒解を求め暗默の中に各幕僚に自己の心境を傳へ別離の辭を述べる處があつた

今後參議官として最善の努力覺悟

加藤新參議官御沙汰に感激

【東京十一日發電】軍令部長の榮職を辭つた加藤寛治大將は左の如く語る

新聞にも書いてある通り軍令部長として昨日參內して時局につき御説明申上げた上回訓決定當時輔弼の重責を全うし得なかつた事を恐懼し骸骨を乞ひ奉つた次第である、然るに今日海軍大臣を通じて尚ほ軍事參議官の現職に留るやうにとの有難い御沙汰を拜して只管恐懼に堪へない尚ほ時局も錯綜して居る事であるから今後共軍人としてその職責を盡すことに最善の努力を爲す覺悟である

海相十三日西下

【東京十一日發電】財部海相は十三日東京發伊勢大廟に參拜、軍縮條約締結の結果を報告後吳に「愛宕」の進水式に臨み十六日神戸で若槻全權一行を迎へるはず

今は一切何も言へぬ　財部海相談

【東京十一日發電】軍令部長の更迭を決行した財部海相は十一日午後左のごとく語る

今度の樣な國際的大會議の協定と言ふ樣な場合には今迄突き進んで來た惰力と同じ樣なものがあつて急に之を阻止し得ない結果問題となるべき事件が必ず起るがそれは遺憾であり且つ悲しむべき事である今回の問題は時の經過が自ら問題を解決するがそれ迄は私の口から一切言へないなほ私の辭職問題が傳へられてゐるとの事であるが今は

新築社屋落成記念

一、社會奉仕部設置
　イ、在滿陸海軍諸部隊及在滿警察團へ慰安娯樂器具寄贈
　ロ、在滿邦人七十七歳以上の高齢者に對し敬老の意味を以て『喜字祝』に因み記念品を贈り表彰す

二、愛讀者優待大福引
　イ、景品總額壹萬圓
　ロ、當籤總數五千本
　ハ、籤外讀者に漏れなく記念品贈呈

三、記念祝賀
　イ、本紙後援支持者招待大園遊會
　ロ、廣告展、廣告假裝行列

四、本社事業大擴張
　イ、十三段制實施
　ロ、滿日型超高速度輪轉機増設
　ハ、紙面刷新大飛躍
　ニ、印刷所機械更新増設

本紙創刊廿五周年

滿洲日報社

植民地司法制度一部の法令改正

内地同樣檢察官に身分保證　司法省移管は困難

(一切何事も言へぬ)

【東京十一日發電】各植民地の司法制度は樺太を除き各植民地總督若しくは長官に直屬し其の指揮監督を受けしかも司法檢察官の身分上の保證が與へられて居ない關係上司法權の獨立を期し難しとし司法省の管轄の下に統一すべきであるとの意見が有力に唱道されつゝある折柄十日夜の松田拓相主催の各植民地司法官招待會席上においても司法官側から異口同音に現行司法制度改革の必要を力説する處あり拓相も何分の努力をなす旨言明したが、司法省側では檢察事務統一と人事行政上の見地から同省に統轄する事を希望して居る、併し植民地當局は統治上依然司法事務につき指揮監督權を有するの要ありとなして居り、且つ司法省に移管することとなれば豫算の關係も伴ひこれが解決は相當困難なので或は結局植民地に於ける司法制度に關する法令の改正により內地同樣身分上の保證を與へると言ふ程度にとどまるのではないかと觀られて居る

滿鐵職制改正問題

後任理事は總會後に申請か　重役部長制から急ぐ

滿鐵新職制は重役部長制であるため現在缺員の二理事後任決定までは大平副總裁及び大藏、藤根、神鞭の三理事によつて兼任することにならう、而して新陣容を整へて明るくなつた滿鐵は近く總裁の命令一下のもとに各自その責任に向つて突進し國家のため滿鐵のため協力一致社業發展に努力することゝなるが、斯く新陣容を整へた上は總裁理事の決定を急ぐ必要もあるので總裁は十六日出帆のうらる丸にて上京二十日の總會を終へると直ちに理事の認可を主務省に申請するものと觀測されてゐる、尚後任理事は十河信二、山西恒郎兩氏が殆ど決定しゐるも、病氣靜養中である齋藤理事は總裁の上京を待つて辭任するものと見られてゐるからその後任理事も同時に決定の模樣である

各部の分課規程　きのふ午後滿鐵發表

既報仙石總裁は十一日午後二時四十分山崎文書課長をして記者團に對し左の如き滿鐵各部の分課規程並に各部の所管箇所を發表せしめた

各部分課規程

△總務部(庶務課、文書課、人事課、勞務課、調査課、檢査課、考査課)
△計畫部(業務課、技術課能率課)
△交渉部(涉外課、資料課)
△經理部(主計課、會計課)
△鐵道部(庶務課、旅客課、貨物課、運運課、運轉課、工務課、保安課、經理課)
△炭礦部(庶務課、採炭課、電氣課、機械課、化學課、經理課)
△製鐵部(庶務課、採鑛課、製造課、工作課)
△販賣部(庶務課、石炭課、鐵鑛課)
△殖産部(庶務課、商工課、農工課)
△地方部(庶務課、地方課、學務課、衞生課)
△工事部(庶務課、土木課、建築課、築港課)
△用度部(庶務課、購買課、倉庫課)

各部所管箇所

△總務部(東京支社、哈爾賓事務所)
△計畫部(理學試驗所)
△交渉部(上海、經育兩事務所、各公所)
△殖産部(中央試驗所、農事試驗場、地質調査所、獸疫研究所、滿蒙資源館)
△地方部(滿洲醫科大學)
△鐵道部(各鐵道事務所を廢して大連、奉天、長春の三地に運輸事務所、車輛、保線の各事務所を置き尚埠頭事務所を管理す)
△炭礦部(各採炭所、發電所、機械工場、製油工場、火藥製造所、研究所)
△地方部(工事區並に工務事務所を廢して工事區事務所を大連に二箇所、奉天、長春、安東に各一箇所置く)
△工事部(臨時甘井子工事々務所)

其他の事務所及び類似のもの(例へば地方事務所、學校、病院)等はすべて從來通りの所管であり尚監察役、技術委員會、臨時經濟調査委員會は何れも今回廢止となつた尚東京支社及び哈爾賓事務所の分課は右の如くであつて支社は運輸課を廢止され二課となつた

各部次長　地方、殖産兩部のみ設けず

滿鐵新職制による次長は地方、殖産兩部を除く他の各部に置くことになつてゐる

各部次長拔擢者　總務部は木村氏が有力

滿鐵新職制の次長は十二部中十部に次長を設置することに決定してゐるが、次長を置く十部は大體左の如くなつてゐる

總務部、計畫部、交涉部、經理部、鐵道部、炭礦部、製鐵部、販賣部、工事部、用度部

で殖産、地方の兩部は次長を設置されてゐない模樣である、而して新職制の重要次長は勿論總務部次長であるがこの重職には現人事課長木村通氏が庶務課長兼任で拔擢される噂である、鐵道部次長の宇佐美寛爾氏、工事部次長の佐藤俊久氏、販賣部次長の小川逸郎氏は既報の通りであるが、交渉部次長島信司、用度部白濱多次郎、經理部市川健吉氏等の次長、大淵三樹氏の東京支社長拔擢等は最も有力視されてゐる

人事問題審議未了　發表も遲れる

滿鐵職制改正に伴ふ人事問題の最後的重役會議は十一日午後一時より總裁室に於て仙石總裁、大平副總裁、神鞭理事、伍堂理事、藤根理事、齋藤理事の六氏出席の上開催され相當議論も鬪はされた模樣であるが、遂に決定を見ずして午後六時三十分終了した、このため十二日午後發表の豫定であつた人事異動の發令も延期の餘儀なきに至つた模樣である、而して十二日も續き人事問題の協議をすることゝなるが、十三日か遲くとも十四日までには發表される筈である

アミダ會賑ふ

百餘十名の會員を有する滿鐵食堂アミダ會では、十一日午後六時より星ノ家に於て人事異動發表前における留送別會を開催したが出席者は九十五名で同九時和氣藹々裡に散會した

若槻全權　十八日朝東京着

【東京十一日發電】若槻全權は十七日早朝北野丸にて神戸入港十八日朝東京に着く豫定である

沒收獨逸船の賠償金を要求

【ワシントン十日發電】アメリカのドイツ船賠償調停委員會委員長ゼームス・レミツク氏は歐洲大戰でアメリカがドイツに宣戰布告した際アメリカ政府は米領海內に在つたドイツ汽船九十四隻を沒收したが、これに對しアメリカ政府はこれ等ドイツ汽船の會社に總額七千四百二十四萬三千弗の賠償金を支拂ふべきであると要求した、右沒收船の中には現在太平洋航路に使用されてゐるジヨージワシントン、アメリカ及びレヴイアザン號等がある

國債現在高

【東京十一日發電】五月末に於ける國債現在高左の如し(單位千圓)

項目	金額
內國債	四、五二二、九六三
外國債	一、四四六、八四八
合計	五、九六九、八一一
外に大藏證券	八〇、〇〇〇

で四月末より千五百萬圓を増した

水先案內人缺員補充試驗

大連港水先人七名中二名は來る七月一日を以て停年に達するので、關東廳では八月一日より八日まで海務局に於て右缺員補充の水先人試驗を行ふ由である、而して今回の試驗は關東州水先規則に依る初めてのもので、性格及び學術の兩試驗を行ふ筈であるが、受驗者は七月十七日まで海務局經由長官宛願書を提出すべしと

人事

▲高瀨哲治氏(大連署衞生主任)十一日新任挨拶をなす

安眠子

各省の內、未だ新世帶の氣分の失せぬ拓務省ではその省內の備品の如きも大部分は內閣の舊拓殖局乃至大藏省の營繕管財局からの借物である▲ただ大臣室の椅子、卓子、大臣官邸の諸備品計りは流石に借物もひどいとあつて新調したが次官室以下各事務室、應接室の備品は今尚その借物のお粗末な奴で間に合せて居るものが多い▲そこで本年度こそは是非共それらの備品を新調し他廳からの借物は皆返さうと計畫し實行豫算でもこれを見込んで居た▲ところへもつて來て所謂政府の行政整理化案實現といふので實行豫算のまた實行豫算作成と來たので折角の新調計畫も到頭フイ▲「備なやまた當分借物で我慢せねばならぬかアア貧乏者の新世帶は辛い……」と省內零すこと〱(東京特信)

特産

定期後場(銀建)

▲大豆(哈騰)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
六月末	七六〇〇	七六〇〇	七五四〇	七五六〇
七月末	七六三〇	七六五〇	七六二〇	七六四〇
八月末	七七一〇	七七二〇	七六九〇	七七〇〇
九月末	七七〇〇	七七〇〇	七六八〇	七六八〇
出來高	百四十八車			

▲普通大豆(出來不申)

▲豆粕(單位厘)

限月	寄付	高値	安値	大引
六月限	二四四〇	二四四〇	二四三五	二四三五
七月限	二四三〇	二四三〇	二四三〇	二四三〇
出來高	三萬二千枚			

▲豆油(哈騰)單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
六月限	二三二五	二三二五	二三二五	二三二五
七月限	二三三〇	二三三〇	二三三〇	二三三〇
八月限	二三三〇	二三三〇	二三三〇	二三三〇
出來高	二千五百箱			

▲高粱(續騰)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
六月末	五〇六〇	五〇八〇	五〇五〇	五〇六〇
七月末	四九八〇	五〇一〇	四九八〇	五〇〇〇
八月末	五〇〇〇	五〇三〇	四九九〇	五〇〇〇
出來高	七十二車			

▲包米(出來不申)

現物後場(銀建)

品名	寄付	大引
混保(袋込)	七五七〇	七五六〇
大豆(裸物)	―	―
出來高	三十車	
普通(袋物)	七五〇〇	七五〇〇
大豆(裸物)	―	―
出來高	五車	
豆粕	二四四〇	二四四〇
出來高	三萬枚	
豆油	二二一五	二二一五
出來高	二千箱	
高粱(出來不申)		
包米(出來不申)		

錢鈔

定期後場(單位錢)

期	寄付	高値	安値	大引
近期	五六三〇	五六六〇	五六三〇	五六四〇
遠期	五六〇〇	[illegible]	五六〇〇	五六〇〇

出來高(近期 七十一萬圓 遠期 六百八十五萬圓)

現物後場(單位錢)

時刻	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	五六三〇	一一八〇	二一三〇
二時半	五六二〇	一一八五	二一五〇
三時半	五六二〇	一一八五	二一五〇

出來高(銀對金 廿四萬七千圓 銀對洋 五千圓)

商品

後場

綿絲(醫保合)

銘柄	約定期	値段	梱數
鷄助	九月限	一三五五	二〇

出來高 二十梱

麻袋(出來不申)

神戸特産(十一日)

品名	値段
大豆現物	五九〇
大豆先物	四九〇
豆粕現物	一六五
豆粕先物	三二八
滿洲小麥	五〇〇
豆油現物	一九〇〇

東京株式(長期)

銘柄	後場寄	後場引
東株	一〇三二〇	一〇三一〇
東新	八九六〇	八九七〇

東京株式(短期)

五品 當、中、先(不申)
豆信 當、中、先(不申)
豆新 當・中、先(不申)

銘柄	寄値	引値	高値	安値
五品	不申	不申	七二〇	七二〇
東新	八九七〇	八九三〇	九〇二〇	八九三〇

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
大株	五八〇〇	五七七〇
大新	四一七〇	四一六〇
鐘紡	一三六二〇	一三五六〇
鐘新	五七一〇	五六九〇
日船	四二七〇	四二五〇
郵船	三八二〇	三八〇〇
東新	八九六〇	八九二〇

大阪綿糸

限月	後場寄	後場引
六月	一三一〇〇	一三〇六〇
七月	一三二二〇	一三一六〇
八月	一三四二〇	一三三三〇
九月	一三五八〇	一三五〇〇
十月	一三六一〇	一三五九〇
十一月	一三五九〇	一三六〇〇
十二月	一三五六〇	一三五七〇

大阪期米

限月	後場寄	後場引
六月	二七六五	二七六[illegible]
七月	二七五四	二七五三
八月	二七二四	二七二四

滿日地方版

奉天

死傷者の費用 負擔方法を變更 簡捷方を鐵道事務所で新たに制定した

従來奉天鐵道事務所では管内における死傷事故突發に際しその都度現狀において詮議の上費用負擔額を決定してゐた鐵道事務所其他に多大の不便があるので特別の場合を除く外直接關係において大體左の規定により處理する事となった

▲死傷事故處置[illegible]は停車場構内は驛長、機關[illegible]構内は機關區長檢車區構内は檢車區長、停車場構外線路における事故は保線區長、運轉中の列車内に發生したる事故は車掌の依頼を受けたる驛長、その他の場合は直接關係ある驛區長とす、但し急速處理を要する場合は之に拘泥せず臨機應變の處理を採ること

▲事故發生の場合 は應急處理を講ずると共に遲滯なく司令者に通報し、別に定むる報告書を提出すること(詳細省略)

▲前記に依る應急處置料 は會社にて負擔するも爾後の治療費その他費用は本人又は遺族に負擔せしむるものとす、但し本人及び遺族に於て負擔資力なく又死體の引取人なきものは左記規定により取扱ふこと

(一)負傷の場合 (イ)入院治療を要するものにて本人及び家族に治療費の支拂資力なく事情已むを得ざるものと認むるものは退院までの諸費用を會社に於て負擔す(ロ)通院程度のものは應急處置料以外は本人に於て負擔せしめること

(二)死亡の場合 (イ)引取人なく又は引取人あるも引渡迄に相當日時を要するため一時假埋葬を要する場合は現場が共同墓地を有せざる中間驛所なる時その管轄地方事務所管内に於て共同墓地を有する最寄驛まで運搬し之が費用は鐵道部負擔としその後の假埋葬迄の費用は地方部負擔とす

奉天滿倶大勝す 長春軍との野球試合

奉天滿倶對長春の野球戰は十日午後四時から當地新公園グラウンドにおいて武居(球)室井(壘)兩審判の下に奉天先攻で開始された、この日野球日和に惠まれ且つ大に期待されてゐた試合の事とて觀衆スタンドを埋めた

先づ奉天は第一回に二點二回に三點得たるに對し長春は四回に二點取り返したが、奉天は更に二點を入れ長春は最後の五分間まで力戰したが及ばず遂に七對二で奉天滿倶が大勝した、閉戰午後六時十分尚當日のメムバーとスコアーは左の如し

奉天 松香水近沖吉柳油原 木川原秦 木原谷田 J 7 3 2 6 9 1 8 5

長春 幡田上野田川櫻戸香 小杉川小久中高藤淺(保) 6 9 3 4 7 2 1 5 8

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
奉天	2	3	0	0	1	1	0	0	0	7
長春	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2

選擧問題解決 披露晩餐會 盛大に催さる

紛糾を續けてゐた奉天附屬地中華商務會の役員選擧問題は日支各方面の調停奔走に依り圓滿に原選擧通り會長以下の就任を見るに至ったので、その披露の意味で會長王維周氏以下副會長、議員一同は十日午後四時から平安通り同會館上に日支兩方面の有力者、關係約百名を招待し盛大なる晩餐會を催し王會長の挨拶に對し支那側城内商務會長金哲忱氏、日本側は三谷商工會議所副會頭夫々日支商界の提携を力說する意味の激勵的答辭があって、盛況裡に六時頃散會した

傳染病豫防 活動寫眞大會

奉天警察署並に地方事務所では左の如く傳染病豫防宣傳活動寫眞會を公開、多數來觀を歡迎すると、入場無料

一、日時及び場所 六月十四日午後七時半から春日小學校講堂にて、同十五日午後七時半から彌生小學校講堂に於て

二、プログラム 人類の敵(四卷)最後の勝利者(三卷)己を衞れ(一卷)餘興として喜劇(數卷)

町の便り

奉天居留民會では前副會長佐藤善雄氏の補缺選擧を七月十日頃施行する由

◇

滿洲醫大夏季乘馬部では夏季休暇を利用し七月一日から十日間公主嶺聯隊に於て合宿を行ふと

◇

鎭安の影響は各方面に及ぼしてゐるが魚菜市場も來客が從來の三分の一に減じ最近の魚菜類は多季に比し約半値となり且つ品物が豐富にあると

人事

▲大阪府參事會員一行十一名十六日來奉十八日撫順往復同夜赴連

▲遼陽商業實習所北滿旅行團第一班十四名 十日過奉北寧線にて大虎山へ

▲同上第二班十二名 十二日過奉北行廿一日瀋海線にて過奉歸校

長春

寢た間も止まらぬ「時」の歩みに心せよ

長春に於ける時の記念日は大々的に擧行されたが最も呼物であったのは敎化聯盟の懸賞時刻投票であった、午後四時からは敎化聯盟役員、懸賞敎員新聞記者は地事前に勢揃し自動車をつらねて市中を行進し宣傳ビラを撒布した

四平街

四平街小學校では十日「時」の記念日に際し向ふ一週間を「時の週間」として左の行事、(一)以下を行ふことに決定した尚十日は左の如き催し物があった

一、講演會 賓田、進士兩訓導

イ、學校を中心として主要各地までのタイムと距離實測を兒童になさしむ(南北鐵橋、守備隊、四洮局、水源地、驛等)

ロ、市中通行の日本人の時計調べは專ら高等科兒童が正午より午後一時までこれに當る

二、各家庭から學校までに要する時間測量

三、各學級にて時計を正すこと

四、兒童の登校時(八時)下校時(四時)を嚴守させること

五、時計の發達圖表製作掲示

六、世界の時差に關する調査

七、なほ此の外各學級にて計畫實行のこと、因に學校では父兄がこの意味を含んで充分援助されんことを希望してゐる

開原

開原小學校にては十日時の記念日に際し各學級兒童の「時」に關する繪行ポスターを講堂に掲げ又午前八時より「時」に關する談話會を催し 尋二北村「一分でも大切にしませう」尋三山崎「三郎の話」同土井「花子の話」同草刈「寸秒をおしめ」同井上「大道のかへり」尋四奈良「時計の出來るまで」同松尾「失敗談」同重光「時の記念日」尋五奧津「ドンキチサンの失敗」尋六津田「時計の話」高一高橋「時計の歴史」同山絲「時計の使ひ方」高二高橋「日時計の使ひ方の注意」高二金「時計の發達」と題して各自の研究の發表をなした

鐵嶺

鐵嶺における「時の記念日」は鐵嶺聯合委員會が主催となり市中各所を約六十名で宣傳ポスターを配付し宣傳小旗多數を作製し小學兒童に依頼して各戸に配付、一方各時計商は各々趣好を凝らして宣傳に努め地方事務所はサイレンを機關區や兵器部では汽笛を正十二時を期して一齊に鳴らして正確な時を知らせ、夜九時には電燈局で一時消燈で報時するなどかなり徹底した宣傳方法であった、尚小學校では兒童の力作に成るポスターを陳列して一般に公開し講堂では「時」に關する講演あり登校の際は玄關正面に大時計を備へて兒童が家を出てから學校に到るまでの所要時間を測定せしむるなど記念日にふさはしい試みであった

奉天

十日「時の記念日」當日の奉天は午後一時市內巡行自動車隊を組織し三臺の自動車に時の宣傳裝飾をなし樂隊、宣傳隊等乘組オートバイを先頭に奉天驛前を出發富士町を始め附屬地、十間房、小西邊門外の各町を巡行し三時頃引返し附屬地要所要所には襷をかけた少年團隊員を附せる女學生等が一々通行人の時計を正し宣傳ビラを配布し午前六時、九時、正午、午後三時、六時の五回に亘りモーターサイレンを鳴らし正確なる時を報じ殊に正午は寺院の鐘機關區各工場の汽笛まで鳴らして正しい時の宣傳を行ひその他各學校では時に關する講演會を開き且つ各兒童に宣傳ビラを家庭に持ち歸らしめ市內營業の馬車洋車にも車毎に宣傳旗を樹てしめて宣傳につとめ大いに當日を意識あらしめた

撫順

職制改革の嵐を前に おちく仕事も手に付かぬ 炭礦の課長さんや所長さん 頭株は協議!協議!

今明日中に發表されるであらう職制改革の大嵐を前に炭礦では異常な緊張裡に連日協議が續けられてゐる、まづ八日歸任した山西炭礦長は月曜の九日早朝各課所長を中央事務所に集め極秘裡に退社時三時のサイレンが鳴るのも餘所に大頭株礦長、次長その他は會議室で午後六時まで鳩首協議を續け、十日午前も協議が續行したがその間極秘と銘打った書類が續々と列車便で發送される、誰がどうなるかその程度調節も未知數だが、ある程度の異動があるだけは確實である今や撫順炭礦課所長連も職制改革とそれに伴ふ人事異動を前にして何事も手が附かない狀態である、雨?、風?その嵐は今日か、明日か、無氣味な靜けさが今や全炭礦を包んでゐる

四平街

兒童專用の分も設け プール開き廿二日 ▽…今年は水泳に力を入れる

四平街に於ける夏季唯一の娯樂たる水泳プールは本年は現在プールの南側に新たに兒童專用のプールを設備するので現在のプールは泳床が取除かれ大河童連も縱横に游泳が出來ることゝなった、尚兒童專用のプールは十米突平方深さ二尺位で今月下旬までには全部竣成を見るべしと、而して體育協會水泳部委員は此の機會に優秀なる選手を練り上げ本年奉天に開催の州外競泳大會に參加せしむる意氣込であると、水泳場本年の行事は

六月二十二日 プール開き

七月下旬 州外大會派遣選手の豫選

九月上旬 プール納會

である、尚大河童の重なる顔觸れは稻田兄弟、浦上、鹿子木、水上田上、紳谷の諸君であるが、本年は稻田講師を聘し短期講習會を開き一般希望者に游泳術水泳の型を敎授する筈であると

遼陽

民會委員改選 廿六日擧行

遼陽居留民會では廿八日行政委員六名の改選投票をなすと

大石橋

公會堂で大廉賣 十五、十六の兩日 主催は輸組

大石橋輸入組合は過日滿鐵倶樂部において總會を開き百貨大廉賣其他を協議したが愈々來る十五、十六の兩日間大石橋公會堂において各商店聯合して大賣出しをする事に決定した

婚禮の席に六人組强盜 花嫁も丸裸

舊楊柳堡居住蔣慶和(三)の長男慶信(三)は隣部落の桂氏(三)と婚約成り附近の馬長超(三)邊讓泉(三)つた その數名を招待し九日午後八時半頃祝宴を開かんとする際突如六人組强盜侵入しブローニング拳銃を突きつけ花婿、花嫁客人悉くを縛りあげ花嫁の衣裳指輪腕輪、その他現大洋九十圓を强奪有合せの酒肴を鷲掴みで婚禮酒をへべレケになる程飲み何處ともなく消へ失せた急報と共に倉田司法主任以下出動したるも遂に何等の手掛りがなかった

そゞろ涙を誘ふ 鮮人生活の慘狀 金融と教育との設備が急務 寺田警察署長視察談

在滿鮮農の生活狀態を具さに視察し彼等の救濟根本策樹立のためと歴史的に天然痘になやまされたる彼等に種痘奬勵のため撫順背後地に向ひたる寺田署長一行十餘名 は七日午前十一時歸撫したが語る

小甲邦、心太和、前甸子、大道上、小柳河子、鮑家屯、馬牛小子等を隈なく踏査して來た、雨はあるが小甲邦、心太和等は用水全く涸れ水田耕作以外に生きる道のない農民は全く生色ない狀態である、その他の地方は渾河本流から灌漑し得るのでまあ全耕地の三分二位播種だけは出來た、但し彼等の收穫 の半分は地主にとられ且つ農業資金がないため中國地主連から年七割と云ふ高率の金を借りてゐる結果、豐作の年ですら僅に命をつなぐのみで中國地主の肥料となりつゝある、本年の如き播種絶好期に旱魃に禍されたのでは慘狀は實に甚だしい、金融機關の設置の急を痛感させた、次に同地方一帶初等教育機關がなってゐない、鮑家屯に五間に二間の土でこねあげた學校 と名のつくもの、それが同地方唯一の教育機關で二里三里の山道を越して通學してゐた、先生はたった二人校内には生徒の腰掛も机もない中央にうす汚い幕をぶらさげて區別してあるだけで、圖書や習字までも机なしである、體育上の設備などはあらう筈がない、涙なしに見能はなかった、金融機關に次いでは教育機關の設備急だ、天然痘には惱まされた鮮人だけに種痘の成績は非常に良好で二十を越した者まで押掛けて來ると云ふ狀態で聊か面喰つた

開原

藥局を襲った强盜逮捕

旣報朝陽街開原藥局青木吾郎方を襲った賊は支那刀、青木氏は日本刀を以て渡り合ひ妻女が派出所に驅け付けたゝめ逃走せるが破壞した窓硝子に血痕の附着し居るを手掛りに搜査の結果十日午前八時小孫家臺に潛伏せるを逮捕した同人は滿洲(三)と稱し餘罪ある見込にて目下嚴重取調中であると

郵便局業績 五月中の

開原郵便局五月中事業成績左の如し

=郵便=

通常	引受	五一〇三一通
	配達	五七八四八
小包	引受	一九六個
	配達	一四四六

=爲替貯金=

爲替	取組	八〇件	[illegible]
	拂渡	[illegible]	[illegible]
貯金	預入	[illegible]	[illegible]
	拂戻	[illegible]	[illegible]
振替	拂込	[illegible]	[illegible]
	拂渡	[illegible]	[illegible]

=保險年金= 一件 四四三圓九〇

第二廣場に夜店を開く 十五六日頃から

去る二日からの開原大街の夜店に引續き第二廣場においても來る十五六日頃より賑はしく夜店を開く事となったと

佐竹地委議長出張

佐竹地方委員議長は十日第十四列車にて旅大方面へ出張せるが十五日頃歸開の豫定であると

長春

哈大洋の上場 いよく明日より

來る十三日から長春取引所に於て哈大洋の上場を開始することは既報したが哈大洋の長春方面に於ける流通高は約三百萬元であるが、官帖の暴落甚だしきために時産資金としては漸次哈大洋に乘り替へる傾向があり年々その需要は增大しつゝあるから、該貨の上場が北滿經濟界に及ぼす影響は甚大であらう

樺皮廠の商務會 創立さる

長春沿線の樺皮廠は商工業の發展に伴ひ商務會を設置するの必要に迫り、過般吉林省政府農鑛廳を經由し國民政府工商部に向って商務會設置許可を申請中であったが、此程許可の指令に接したので本月四日同地商會籌備處において成立

交通取締施行 自動車運轉手試驗

長春警察署は十一日全市に亘って一齊に交通取締を行った、又來る十六日長春警察署に於て自動車運轉手試驗を施行するが受驗者は日本人(四平街)一名、露支人十名だと

奉天へ遠征 野球選手一行

全長春野球選手は本年第一回の遠征を奉天に試みることゝなり十日朝急行で同地に向つた、試合は同日午後三時から

吉林

邦人經營の四社 華工賃銀値上 至極平穩に解決した

吉林に於ける邦人經營の吉林製材公司、興業會社、吉林鱗寸及び製軸會社の支那人職工等は何れも端午節句明け相前後して吉林官帖の慘落に依る生活困難を理由に賃銀値上げ方を要求し、各會社側でも既に考慮中の際であり製材公司では恰も定期昇給の時期に達して居たことゝて官帖建の者に限り約二割方增給を行った、興業會社では將來に惡例を殘すことを惧れ「職工が値上げ要求は斷じて許容する事は出來ぬ、不服ならさつさと出て行って貰ひたい」と峻拒したが平穩なので更めて同社から金票支拂の者を除く全員に二割方値上げを申渡した、尚吉林鱗寸會社は鱗寸部は約一割方、製軸の製材部約二割方增給することに決定した模樣で各工場とも圓滿に解決を告げた、因に今次の値上げ要求の背後に思想團體の有無は可成注目されたが內査の結果斯かる黑幕の伏在は認められぬとのことである

四十名の馬賊團 拉溪鎭を蹂躪す 駐防保衛隊は全滅し 掠奪を擅にし人質を拉去す

現下樹木繁茂期に入り馬賊團の活動季節となったが、去る五日吉林縣第五區一拉溪鎭(省城を距る西方九十支里)は四十餘名より成る頭目不詳の馬賊團の襲擊を被り同地駐防保衛隊長侯金山は部下十數名を指揮して約一時餘に亘り賊團と奮戰したが隊長外一名戰死した他隊兵は殆ど全部重輕傷を被りたる上銃器十餘挺を賊に奪取され全滅となり市街は賊團に蹂躪され目星い物は全部掠奪され且つ多數の人質を拉去されたと

大會を擧行し同時に役員の選擧を行った結果左の諸氏當選した

▲執行委員(十三名)田論卿、孫甫治、劉性存、梁榮卿、謝相民、石子岩、李輯五、孟名達、孫濟川、佟鼎豐、閻誠明、曹純一、劉雪豐

▲監察委員(七名)單孟博、李鴻勛、許閔堂、張廷選、趙子安、戚庚西、才景州

▲常務委員(三名)劉性存、梁榮卿、孟名達

吉同鐵道は 吉海線の延長に

吉林省政府側の消息に依れば、吉同鐵路の起工は明かであるが、建設費並び諸經費の節約並びに竣工後の連絡等の點より吉海線の延長として工程局諸機具の使用、人事關係等悉く共通の者たらしめんとする意嚮であるから起工前にこれが實現を見るやも知れずと

馬賊海龍逮捕

昨年來吉林縣內を極度に騷がした馬賊頭目名「海龍」事本名邵秉二は此の數ヶ月全然消息を絶ってゐた處、最近吉林省の東北磐山縣某處に現はれたとの確報を得た吉林縣公安局長關榮森氏は早速手下巡官以下六名を磐山縣に急派したが遂に逮捕の上六日十七時着吉長列車にて護送して吉林に歸着した

人事

▲奉天普通學校長桑畑忍、鐵嶺普通學校長大西菊治、安東普通學校庶毛終藏の三氏は六日吉海線經由來吉、一泊の上七日敦化へ赴き八日吉林に引返し同日長春に向へり

鐵嶺

小學校の兒童連が あす陸上競技 午後零時半から校庭で擧行

鐵嶺小學校體育部では明十三日午後零時半より校庭に於て各學級對校の陸上競技會を催す由競技種目は

▲男子部 百米、二百米リレーレース、砲丸投、走巾跳、正確スポンヂボール投

▲女子部 五十米、百米、走巾跳立巾跳、籠球投、リレー

なほ下級生と上級生との均衡を保つため競技にハンヂキャップを附し砲丸は高等科八ポンド、尋五、六は六ポンド、尋四は五ポンドを使用し正確スポンジは年齢により差を附し十歳十米、十一歳十一米以上これに準ずと

魏少將の追悼法要 廿二日龍首山で

露支紛爭事件で北滿に戰死したる鐵嶺出身東北陸軍第十五旅長少將魏長林氏の遺骨は四月下旬鐵嶺に到着し追悼法要は奉天要路者の都合により延期を重ねてゐたが愈々來る二十二日に龍首山で盛大に執行するに決定したる由、祭場たる敷島町楊公館附近には特に大厦を建設中である

不逞鮮人團と三家子で交戰

開原縣下より來れる一鮮農の談によると、去る三日開原縣下柴河溝附近三家子において同地不逞鮮人團第四支會幹事尹大英及び腰堡駐在分隊長金基元外三名より成る不逞團は同地支那公安隊と衝突し彼我銃火を交へた結果、不逞團の一人は腕に銃創を受け目下三家子民家に潛み私かに加療中であると

鐵嶺漫筆

世の中が不景氣になると普通の事をしてゐては鼻の下が干上つて了ふ▲巧に人の弱點好奇心をそゝつて儲けようといふ氣になるらしい▲此戰法は料理屋が一番應用し易いと見え旺に抱妓共を轉換させる▲そして新妓が來るくと宣傳する新物喰の好きな鐵嶺の粹樣連▲そら來たやれ行けと千客萬來押すなくの大盛況全くの不景氣知らず其代り少し古くなると鼻汁もヒッかけて貰へない▲萬安の事體も今度こそは鐵嶺の粹樣を呀と言はせるやうな尤物を召拘へて來るぞとばかり目下名古屋附近を一生懸命に駈ずり廻つてるさうな▲粹樣連中無かしお待遠しい事で御座んせう▲由良之助では由良治が廢業して以來缺員の儘であったが今度鐵嶺ホテルのかゝた拍子が其後任と決定オンドル房子から鶴數房子へ栄轉とある▲同家の勝平梱は九日廢業と同時に時急で內地へ行つた

安東

新設プール開き 來月一日擧行の豫定

水源地滿鐵プールは工事を急いでゐるが來る二十日には全部手入れ成り來月一日より開設の豫定となった、尙本年滿鐵社會係では鴨綠江を利用してボート部を新設したき意嚮を持つてゐるが經費の都合上市民の後援無き限りは當分實現は困難と見られてゐる

驅逐艦疾風 十二、十三兩日 新義州碇泊

鎭海要港部所屬驅逐艦「疾風」は西鮮沿海警備のため九日鎭海を發し十二日午前十一時新義州港に入港の筈であるが十三、十四兩日間當地に碇泊し、十五日午前十一時出航鎭南浦に向ふべく碇泊中は例に依つて一般の艦內見學を許す事となってゐる、尙同艦の艦長は津田源助少佐で乘組員は百五十餘名である

六道溝防水堤と下水道工事 年內に完成

滿鐵安東區の本年度土木工事として決定した六道溝の防水堤增築及び下水道の敷設は目下工事を急いでゐるが、築堤工事は約十萬圓で八月頃までに完成、下水道工事は幹線の南三條通りを目下工事中で本年度内に大體の幹線だけを終る豫定であると

中森氏子總代辭任

大和橋通氏子總代中森重吉氏は今回家事の都合に依り氏子總代を辭任する事となり八日氏子總代長宛辭表を提出した

勤勞共濟會の塾と夜學校 增築して擴張

安東勞働共濟會は李東輿氏を會長として六道溝塾及び夜學校を設け安東普通學校に收容し得ぬ兒童並びに貧困で入學し得ぬ兒童を敎育しつゝあるが本年に入って兒童數が增加し敎室の狹隘を感じて來たので校舍を增築し塾の二學級を三學級に且つ五年制度を六年制度に改め女敎員も一名增員した此の塾及び夜學校には滿鐵及び總督府より夫々補助金を受けてゐたが不足を生じるので、李會長は塾の女敎員の給料と補助金增加方を七日地方事務所を通して滿鐵總裁に宛申請した

靜岡視察團 十五日安義視察

靜岡運輸事務所主催百七十七名の視察團は十五日朝臨時列車にて來安直ちに新義州に到り營林署製材所を視察し稅關波止場より乘船し鐵橋の開閉、江岸上陸馬車にて六道溝を經て製紙會社より鎭江山市中視察、安東劇場にて由良之助連の手踊りを見物し同日十七時五十分發列車にて出發の筈である

匪賊潜入の虛報

横行期に入り嚴重警戒中の折柄、八日午前九時頃新義州府內に匪賊潜入の報に接した新義州署では田中署長を始め多數の署員が自動車で出動したが全然虛報である事判明一同は引揚げたが一時は却々の騒ぎであつた

哈爾賓

老若共に跳躍 在留邦人を總動員し 野遊陸上大運動會盛況を極む

在哈邦人第十回野遊陸上大運動會は八日午前十時半から開會各區選手は團長を先登に入場、君が代吹奏裡に軍司會長飯倉副會長鈴木審判長各委員出席國旗の掲揚式あり萬歲を三唱し軍司會長から各區選手に對して責任レースに關する規則を說明し一場の挨拶を述べ第三區白組より優勝旗を先頭に場を一周し返還式を行ひ、若草萌ゆる平原裡のグラウンドにて豫定の如く競技のコースを開始し午後六時半雷鳴土砂降りのうちに樂しい一日の終幕を告げたが、責任レース其他主なるもの優勝は左の如くであった

各區	一百	八百	千リレー	計
紫	三點	〇點	五點	八
青	〇	一	一	二
白	〇	三	三	六
赤	一	〇	〇	一
黃	二	二	七	一一

新市街黃組の優勝となり、役員責任リレーは青の勝、欄引優勝旗戰は白、黃、赤と青、紫の對抗に白對青となり

二寸の差 で白勝千五百米は吉田、石川、山之內の順位で入勝、當日の責任レース中八百米に白軍の小林君が二分廿四秒五の二で青と黃の兩選手に肉薄し決勝點前十四米突にて見事五米突の差をもつてゴールに入ったのと、リレーは黃軍三旬に亘る猛練習に斷然他を壓したことは敵味方共に賞讃した、領事館、記者、敎師、醫師の各團體八百リレーは醫師會棄權し一着敎師、二着領事館で記者團惜敗した

金庫破の二人組 =番人に逮捕さる=

九日ロシア祭日で休んでゐたチューリン商會に二名のロシア人强盜潜入し數萬圓在中の金庫を電氣仕掛けで開かんとせるを番人が發見逮捕したが、一名はゴンチヤロフ他の一名はツウエートから來たビリエコフといふものであること判明した

松江餘滴

スタイナハ博士の第二世?ウオロノーフ博士の若返法が博士の來哈で芽を出してハルビンの大騷動▲ウ博士は人間は某所を切開すれば百年餘りは生きられるものだとメートルを上げて東支倶樂部、醫科學校で講演してゐる▲宣傳のお先棒でもないのだらうがルーポルは三日に渡って全紙をウ博士の記事でうづめ▲ザリヤ紙も敗けてはをらず論爭してゐる▲何と言っても人間は長生がしたいのだ、若返つてもみたいからう▲「鬚が伸びて白髮が黑くなる」これを聞いただけでもおしゃれのロシヤ人は有頂天になるのも無理はない▲滿鐵の食堂にも若返の話で花が咲き▲石原課長軍司さんに「そこのけ」一つあなたの白い鬚を黑くさしては」と係によつて鼻毛を捻つて「フ、、」と薄笑ひ▲奧山庶務、堀江情報、吉武出迎への各氏若い上にも尙若くありたいの話▲實際も二十世紀に生きてをれば白髮染はいらなかつたらうで落

濱江雜俎

特產出廻一巡に混合係では晝食の休憩時間一時間を利用して華語及び露語の研究を開始した

◇

ツーリストビユロー主催の世界一周觀光團一行は凌湯氏の案內で七日來哈、市內を見物し八木總領事の講演後沖、横川の志士碑に參拜し連絡列車で出發した

◇

オデッサ駐在を命ぜられた前滿洲里領事田中文一郎氏夫妻は十三日通過赴任の由

◇

豐原書記生と交替した豐田滿洲里書記生は七日出發八日着任した

◇

三井物產出張所の次席中山佐吉氏は長春の製粉工場經營を擔當することになり轉任、八日出發の豫定

◇

同賓縣で不逞鮮人のため狙擊された小池部長は自宅療養中、近く湯崗子溫泉に轉地療養をすると

◇

吉武滿鐵出廻主任の全快祝宴はモデルンで催され八木總領事、細木少佐、窪田事務官、重松副領事、昭和酒精公司平山專務の同窓知己に軍司滿鐵所長代理其他在哈記者多數の列席あり吉武氏の挨拶に八木總領事の謝辭に九時盛會裡に散會した

營口

兒童慰安映畫 十五日小學校で

滿鐵社會課の主催に係る第三十七回兒童慰安巡回映畫は來る十五日夜小學校講堂に於て上映の筈

水甕と酒缸 製造工場創立

遼寧省政府の民間企業獎勵により近來支那人間に企業熱勃興しつゝあるが當地方の水甕及び酒缸は殆ど全部を唐山に仰いで居るので福源茂、福和興、恒茂永、古瀾泉等の各商店主は資本金現大洋十五萬元を以て西營口に同工場の建築中であるが機械製造其他最新式の設備をなし動力には電力を使用し大量製産を企劃して居るから相當の成績を期待されて居る、使用原料は復縣の粘土を民船に依て當地に運搬し使用する計畫にて運賃の如きも一噸僅かに現大洋三元に過ぎずと

公主嶺

庭球部の發會式 十五日午前九時より 三コートで一齊開始

本年度公主嶺庭球部の發會式は左の如く決定した

▲日時 十五日午前九時開始

▲場所(第一)滿鐵倶樂部コート(第二)地方事務所コート(第三)小學校コート

▲試合方法 團體リーグ戰

▲出場團體別 郵、地方事務所、學校聯合、農事試驗場、畜產試驗場、實業團(一チームの組數六組)

▲組合せ抽籤 十二日午後七時滿鐵倶樂部において

▲尙メムバーは各チーム代表者が持ち寄りのこと

内閣が瓦解した失業問題

對策は失業保險だけ

(上) ゴ多分に洩れぬ 獨逸 苦境

季節的の失業

失業風が世界を吹きまくる、合理化せるドイツでも失業問題は深刻である、ドイツでは冬になると失業者が二百萬人以上になる、酷寒のため産業が萎縮するからである、けれども例年六月から十一月まで——この半年間には失業者が半減乃至三分ノ一に減る、然るに本年はあたゝかくなつても未だいつものやうには減らない、本月中旬に入電する失業統計は果してどんな數字を示すか

	昨年(千人)	本年(千人)
一月	一、七〇二	一、七七五
二月	二、二二二	二、二三二
三月	二、四六〇	二、三四〇
四月	一、八八五	二、〇五三
五月	一、二二六	一、七六一
六月	八〇七	?

増加した今年

ドイツにおいてもイギリスなどゝ同じやうに、昨年から本年へかけて失業者が増加した、その原因何であらうか、産業合理化の結果だといふ人もある、合理化は一時失業者を出すかも知れない、然し生産費が低下し、賣行きが増加すれば再び勞働者を吸收する、問題は整理緊縮を主とする消極的合理化か——それとも事業の擴張を伴ふ積極的合理化か——によつて決せられる

外資の輸入額

一九二五年以來のドイツ失業統計を見るに、主として國内景氣に比例して失業者が増減してゐる、ドイツの事業資金は外國——特にアメリカ——から借りてゐるのである、勿論全部ではないが、少からざる部分が外資である、言ふまでもなく資金がなければ事業は起らない、事業が起らなければ、景氣もよくならず、失業問題も緩和されない、ドイツの景氣は事業資金が外國から入つて來るか來ないかで決せられる、失業者の増減も外資の流入如何により大いに支配されるのである、

昨年は概して失業者が多かつた そして昨年の外資流入高は左の通り激減してゐる(單位百萬マルク)

	長期外債	短期其他外資
一九二七年	一、六六六	二、六六四
二八年	一、七三三	二、九三三
二九年	三七七	一、九三〇

購買力の減退

失業者が二百萬人もあると、その家族と共に約一千萬人近くの國民が購買力をけづられる、去る五月三十日ドイツの勞働官シュテゲルワルト氏は勞働組合聯合大會の席上で次ぎのやうに言つてゐる

世界的不況と國内農村の不振とは、二百萬の失業者と相俟つてドイツ國民の買力を五十億マルク(廿五億圓)方減退せしめた

國民購買力の減退は國内の需要を減退せしめ、産業に大損失を負はすこと、いづれの國でも同じである。

馬賊に襲はれた ある支那人の話

(上) 朔北道人

之は道人がM青年を連れて、昭和五年三月六日黒龍江省城齊々哈爾を出發し、省内の克山、克東、拜泉、明水、青岡、蘭西等の七縣、行程約二百邦里を、零下二十度内外の寒天に自動車を驅り雪の北滿旅行と洒落た時の、一エピソードである。

三月八日は旅程表に據ると、克山縣を出發して先づ東十邦里にある克東縣を訪問、即日其西南約二十邦里にある、省内齊々哈爾に次ぐ繁華の拜泉縣まで行つて、一泊する事になつて居つたが、惡路は惡し、雪も大分深い處線だし、克東縣と云つても最近縣治を布かれた許りの處で、特に見る價値もなからうから、いつそこれを略して克山から拜泉に一直線に行つて仕舞ふかとも考へたが、マテマテ豫定を變更する事は、此の旅行をルーズにするもとになるし、又と再び來られさうも無い處だから、矢張り旅程表通りに……と、借切自動車で午前八時克山縣を出發、克東縣で舊知胡知事を訪問の上、切りに滯在を勸められたのを振切つて午後四時頃拜泉縣城に到着、撫順炭販賣商南滿煤礦に行李を卸した。

其翌日夕刻段拜泉縣知事に招かれて、大變な御馳走になり、ラヂオで大阪の浪花節を聞き、麻雀をして九時頃宿に歸つて來ると、克山滯在中知合になつた、王某と云ふ支那人が、ヒヨツクリ道人の室に入つて來て、溫突に腰をかけながら語るのだ

「貴郎方は實に好運な方ですよ私は貴郎方が克山を出發される時餘程一緒に乘せて頂かうかと考へたんですけれど、克東縣を廻られると云ふ事だつたし、私も先を急いだものですから、つい思ひ止まつて、大洋四元五角を拂つて、直接拜泉に行く乘合自動車に乘つたのが運の盡きでした。途中來馬廠の少し南まで來た時に、五人組の馬賊に出會つて、哈大洋二百元と、新らしい着物五六枚と、布團の皮と、毛皮の帽子を取られてしまひました。馬賊に車を止められた時、私は何故貴方方と御一緒に願はなかつたかと、後悔しましたが後の祭で仕やうもなく、只今となつては命に別状がなかつた事をせめての幸ひと慰めるより外仕方がありません。ホントに貴方がたは好運でしたよ。

「午前十時頃克山縣城の南門を出て拜泉に向ひましたが、あんな目に遭はうとは夢にも思はず一同車中で談笑してゐましたが、拜泉縣内に入つて、克山に五十五里、拜泉に四十五里と書いた標柱の立つて居る、來馬廠と云ふ村を過ぎ約十里も來たと思ふ頃、前方が盆地になつて居る處があつて、其の盆地の北の高みに人が一人坐つて居ましたが、私共の自動車を見付けると、ヒヨツコリ立上つたもんです……これが馬賊の信號だつたんですネ……すると盆地の中から一人、二人、三人……と合計四人の男が出て來まして、初めに坐つて居つた男とで都合五人となつたのです、其の時には自動車と彼等との距離はもう大分接近して居ました。

「彼等は支那服の兩側の切目に兩手を突つ込んだまゝ、悠然と自動車に向つて進んで來ました、多分此間に着物の下で拳銃の工合を調べ、戰鬪準備をしたものと思はれます。

「尤も今まで申上げた事は皆、後で思ひ出した事で、最初は全然普通の旅行者と思つて、何の警戒もしなかつたんです。

「軈て自動車が彼等とスレスレになつた時、彼等は突然一齊に拳銃を車に差し向けて「止まれッ」と叫びましたが、運轉手はスワこそとフル、スピードで其處を通り過ぎ様としました。すると彼等は後から「止れ止まれ」と叫びながら、パツパツパツと追ひ撃ちに射撃を開始しました。

「彈丸がバスの窓に當つてパチーンカラカラと硝子を粉碎し、窓から飛込んだ彈丸が天井にカチカチブツかる音など迚も凄い光景、運轉手は自分の席にうつぶし、乘客十二名も皆驚ひ上り、顏色を土のやうにして車内に重なり合つて俯伏して居ました。

「賊の撃つた彈丸は三十發以上と思はれましたが、乘客の一人は硝子の破片を防ぐために兩手を擧げたものですから掌に貫通銃創を負ひ、又一人は突然立上つた爲め左腕から右肩にかけてカスリ傷を受けました。

教育家の責任

小林滿洲吉

安東高等女學校生徒の神社參拜拒絕問題に付き不肖の考ふる所に依れば、此の度の事件は現今の教育制度の然らしめたものである、即ち英語を重大視し徒に外國語を重大視せるに在り、外國語を重大視すれば歐米思想にかぶれ、我が國の花たる大和魂を捨つる結果を招く事は火を見るより瞭かに非ずや國粹觀念薄き故なり、否彼我轉換せるが爲めなり、日本國を輕視するが如き教育者は私利私慾あるのみである、今回の安東高等女學校事件を單に吉持某なる者の責とするは僻見にあらずや、彼女等が吉持某に對し反對すること能はざりしは國粹觀念鼓吹に不忠實極まる教育者の責も當然存在すべきなり教育者自身、一にも二にも文部省の命令に小兒の如く服從し自覺と信念なき其の日暮しの教育を施して能事終れりとする——だから今度のやうな不祥事が發生する、若き少年少女を毒する者は無定見、無理想な似非教育家である。

投書歡迎 中傷を目的とするものは採らず 用紙行數五十行以内のこと

偉い方達に

陵河町 一書生

大連は素晴らしい文化都市のやうに傳へられ、土地の人もゴ自慢です、然し私は御當地に來て見ると聞くとに多少の相違を感じ遺憾に存じます

第一 裏町邊に行きますと塵芥箱の不始末で惡臭紛々鼻持が成りませぬ

第二 廣場公園前付の結核豫防會の文字ある土管は何時見ても芥と紙屑とが堆く、近頃の晴天には泥と塵埃を揚げてゐます、

こんな些細な事にまで偉い人を煩すは如何なものかとも考へられますが、滿洲には限りませんが立派な御請願は御役所と準御役所の仕事にはつき物ですが、いざ實行となりますと兎角徹底を缺くの嫌があるやうに思ひますから、もつと隅々まで御注意下さつて、係の人達を御督勵下さつて國際都市の名に背かざるやう御盡力願ひます

新刊批評

▲**死刑囚の思ひ出**(古田大次郎著)大杉榮の仇を報いんとして捕はれ、斷頭臺上の露と消えた著者古田の思想を談ることは差し控やう、そして私は彼の持つ思想的傾向アナーキズムを頭から否定する人にも敢て此の一書を奬めたいと思ふ、なぜならばそれは本著が立派な人生記錄であるがためである、大阪の事件では「強盜、殺人、恐喝」東京のでは「殺人未遂、爆發物取締罰則違反、建造物損壞」といふ罪名の大罪人として死刑の宣告を受けた彼ではあつたが、勿論其處には彼をさうさせた或物があらねばならぬ「何が彼をさうさせたか」この問題を單なる戲曲でも論議でもない此の人生記錄から吾人は色々に考へさせられる、人の罪?家庭の罪?社會の罪?または彼自身の罪?それの解釋は勿論讀者の自由であるが、本著において著者がその大罪人となつたまでの徑路がはつきりと描き出されてゐる、幼年時代からはにかみ屋で卑屈でありながら心の底にある強ひ意地を持つた暗い心の著者が自分達に色々な意味で大きな人生上の問題を與へてゐる(三百七十頁定價一圓五十錢東京市牛込區南榎町大森書房發行)

▲**社會教化と宗教**(教化資料第九十八輯)經濟上の現象から起つて來た唯物論的立場の社會運動に對立して精神的道德方面を基調とする教化運動が高唱されるのは餘りにも當然のことである、しかして今や日本では此の運動は益々盛んになりつゝあるが教化運動の基調を知らさんための目的で發行された本書は先づその基調を宗教に置かねばならぬとして、總論「社會教化と宗教」の題下に日本宗教界の元老加藤咄堂氏の講演を載せて社會教化の意義、國家、社會、政治等と宗教の關係を説き宗教教化の變遷教化方法を明らかにするに務めてゐる各論の部では宗教と社會教化の關係に就いて田中義能博士が神道宇野哲人博士が儒教忽滑谷博士が佛教、山室軍平少將が基督教をそれぞれ持つて各自自己の支持する宗教の立場から意見を吐いてゐる論者は言ふまでもなく斯界の權威頗聽さすべき幾多のものを持つてゐる(定價四十錢內務省社會局分室中央教化團體聯合會發行)

▲**驛務の友**(桑井林?編)編者は永年滿鐵々道部にあつて經驗の深い人である、本著は、經年異常の發展をとげる鐵道營業に比例して益々複雜になつて行く鐵道營業の規則、細則等を一般從業員に知らさんがために著者が數年間の苦心と研究によつて出來上つたもの、懇切、詳細、忠實にとそれ等諸規定の民衆的解說に務めてゐる從來かゝる規定の參考書がなかつたが本著の發行は相當斯界に益するところあるであらう(四六版四百四頁定價一圓五十錢大連伊勢町公正社發行)

けふの放送

實用支那語會話 第四十五課(其二) 秩父固太郎

1 你打糨了罷
2 糨子打好了
3 拿來我看
4 還糨兒行不行
5 太稀了、要稠一點兒
6 那麽再打罷
7 糨多一點兒
8 解好了您再看看
9 你得好好兒和弄
10 不能 疙疸

(其二)
1 糨子打得了麽
2 打得了、糊甚麽
3 糊窗戶縫兒
4 還糊甚麽
5 你先裁紙罷
6 紙條兒裁多寬
7 要一寸多寬
8 裁甚麽紙
9 裁高麗紙
10 您交給我好了

譯文(其一)
1 糊を練りなさい
2 糊は煮て御座ゐます
3 持つて來て見せなさい
4 こんなで如何です
5 薄過ぎる、もう少し固く
6 それではもう一度拵へませう
7 うどん粉を少し餘計にして
8 解いたら貴方一遍見て下さい
9 お前好く攪廻さなければいけない
10 ブツブツ(ダマ、粒々)の出來ない樣にします

(其二)
1 糊は出來たかね
2 出來ました、何を張ります
3 窓の目張りをする
4 今直に張りますか
5 先に紙を裁ちなさい
6 紙はどの位の幅に裁ちますか
7 一寸餘の幅に
8 どんな紙を裁ちますか
9 高麗紙を裁とう
10 私にお渡し下さい

(新字)糨。稀。稠。解。和。弄。疙。疸。麗。交。

無色無味無臭の毒ガス
一酸化炭素の話
大連第二中學校教諭 山口菊雄

去る四日八幡製鐵所で熔鑛爐送風室のガスタンクを修理中突然一酸化炭素が洩れ僅か二十四秒で職工二十六名が昏倒し中七名が遂に絕命した悲慘事がありました

一酸化炭素は、酸化炭素とも申します、それは炭酸瓦斯のことを二酸化炭素と言ふのと同じ樣に酸素と炭素との割合から言ふのです、御承知の通り酸素と炭素と化合する時炭素の一原子に酸素の二つの原子が結合したものが炭酸瓦斯で炭素の一原子に酸素の一つの原子が結合したものが一酸化炭素です、つまり炭素の同じ量に對して一酸化炭素の方は炭酸瓦斯に附いてゐる酸素の量の半分の量の酸素が結合してゐるのです

炭酸瓦斯は吸ふても別に毒にはなりません、唯私達の呼吸する空氣中に炭酸瓦斯が多量にあれば、從つて酸素の割合が少くなるのでかういふ空氣を長い間呼吸してゐれば窒息致します、ッリ炭酸瓦斯そのものは毒ではありませんが呼吸する空氣中に多量含む事は有害です

ところが一酸化炭素、そのもの自體が甚だ有毒です、而も無色、無味、無臭ですから、その存在がわからないのでその點に於て最も恐ろしい毒瓦斯の一つです

色でもあるとか、臭ひでもすれば豫防も出來ますが、それが出來ないので大事を惹き起す事が往々あります

炭酸瓦斯が毒だと普通思つてゐる人もあるかも知れませんが、一酸化炭素はそれに比して何百倍か恐ろしい毒瓦斯です

私達の血液中には「ヘモグロビン」といふものがあつて、呼吸に依つて取り入れた酸素を抱合して「酸素ヘモグロビン」となりますが、この抱合力は弱いので血液の循環につれてこの抱合してゐる酸素を出します、つまり「ヘモグロビン」は肺で取り入れた酸素を身體の各部に分配する人足のやうなものです、所が酸化炭素を吸ふと、これが「ヘモグロビン」と結合して「酸化炭素ヘモグロビン」となります、そうしてこの結合はナカナカ強いので丁度人間が手足を縛られたと同樣で働きが取れなくなり遂に死ぬのです

石炭でも木炭でも燃やす時は先づ炭酸瓦斯が出來、それが赤く熱せられた木炭や石炭の中を通り拔ける時一酸化炭素となり空氣へ出る時燃えて再び炭酸瓦斯となります

火鉢の炭火が青い焔を上げて燃えてゐるのを見ますがあれは一酸化炭素が燃えてゐるのです

空氣中一萬分の五を含してゐても害をなし若し、一%も含んでゐれば二分間位で死んでしまひます

私達の日常使用してゐる瓦斯「石炭瓦斯」中には約八%の一酸化炭素を含んでゐます、石炭瓦斯の中毒と、ふのはこの中に含まれてゐる一酸化炭素の爲めです、ですから若し石炭瓦斯を二%も含む空氣中に居れば危險なわけです、御承知の通り瓦斯が完全に燃燒してゐればよいが若し少しでも洩れてゐると危險です、幸ひに石炭瓦斯は一酸化炭素以外にいろいろな瓦斯を含んでゐるため一種の臭ひが致しますのですぐわかります、若しこの臭ひがしたらどこからか瓦斯が洩れ、その中には恐ろしい一酸化炭素があると思ひ直ちに處置せねばなりません

内地で多く一般に用ふる火鉢、コタツ、アンカ等を當地方のやうな構造の家屋に用ふ事は餘程注意しないと危險です。

遼東寫光會
寫眞展瞥見(下)
春路生

◇岡本一雄氏

「沙漠へ歸る」「天安門の印象」の二點の中沙漠へ歸るの方がいい、しかし今少し沙漠の感じを強調する必要がある、バックがいやに暗いものも此の寫眞の畫面効果を惡くしてゐる

◇榛原青果氏

「遼陽白塔」アカデミックなものではあるが、いゝ寫眞だ、畫調にしつくりした落つきもあり力もあり、情味も豐だ、とにかく垢ぬけのした作品である

◇山本晴夫氏

「ポートレート」「働く人」の二點が出てゐた「ポートレート」はロシア人らしい老女を取材したものであるが、餘りにありふれたポーズであるだけにフレッシュな感銘を與へない、然もかうした人像に於て最も肝要であるべきライテングが殆ど顧みられてゐないのは遺憾だ「働く人」も全く失敗の作だ、かうした題材の内容は力とリズムでなければならない、然るに此の印畫では最も强調されなければならない働く人の筋肉の堅さがピンボケによつて完全に破壞され、それと同時にリズムが失はれて極めて散漫なものとなつてゐる、素材に動きのないのも此の繪を平凡にしてゐる一つの原因だ、こうした題材は最も筋肉の緊張した瞬間に、そして最もよいポーズの時にスナップされ、それに纖麗したテクニックと作者のオリヂナルな表現が加へられてはじめていゝ印畫になるものだと思ふ

◇佐々木登氏

「埠頭所見」「朝の光」の中前者を取る「埠頭所見」はゴチヤゴチヤした蹲の醜列の中に柔かなリズムの纒りとデザインとしての面白味がある「朝の光」はアンダーエキスポージュアのために必要なデテールを多分に失つてゐる

◇政德滿氏

「十廣場」「山寺」の二點共に習作の範圍を出てゐない

◇山口義治氏

「建築物」「村の老人」「雨來る」「ジャンク波止場の雨」「小女像」等いづれも平凡「雨來る」は畫面にいくらかまとまりはあるが雨の感じは得られない

◇福森白洋氏

「金州所見」……やはり題名の如く單なる所見にしか過ぎない

◇鐵城鳳之助氏

「遼陽白塔」素晴らしくコントロールのいゝ印畫だ、前景を强調したところに作者の苦心が歴々としてゐる、勿論日本畫趣味裝飾畫的のものではあるがしかしオイルのフールパワーを發揮したところに此の印畫の價値を見出さねばならぬ

◇金田英雄氏

「松花江ロシア村風景」これも路上スケッチの範圍を出でないもの

◇山本牧彦氏

「閑な女」畫の支那遊廓をスケッチしたもので大した妙味もない

◇

以上感じたまゝ思ひついたまゝを纏然と書き連ねて見たが今度の寫眞展では二三點を除く外大した力作のなかつたのは淋しかつた、そして之を全般的に見ると次のやうなことが言へると思ふ

一、取材に新鮮味が乏しい
二、型に捉はれた表現が多い
三、單なるスケッチ風のものが多かつた
四、面白い採光のものが見られなかつた
五、總じてテクニックは鮮かであるが畫の構成表現に作者の近代的な感覺が働いてゐない
六、リズムの豐かな繪が少なかつた
七、トリミングの優れたものが少かつた
八、寫眞獨自の途を步まずして徒らに繪畫に追隨せんとした作品の多かつたこと

◇

破に尖端的な奇をあさる必要はないが、寫眞家にも今少し近代的な感覺がほしい、やはり作家はテクニックよりも頭の習練が一步先んじなければならないと思ふ、最後に淵上白陽氏の「曠野を走る」に最大の敬意を拂つて筆を擱く

でんでん虫
沼田冬子

あさだよ　あさだよ
でんでん虫
アカシヤ根ッこに
いないのか
きらきらつゆも
ぬれてるし
おべべもさらさら
風がふく
角だせ
やり出せ
でんでん虫
お早やうあいさつ
しておくれ

三葉の茹で方

◇…三葉を亂れないやうに輕く結び、熱湯に鹽少許を加へ、三葉を入れ、蓋をせず潜らせる位の程度にザツと茹で淸水に取り、よく晒して絞ります

◇…またお浸しや和へものに用ひる際は一寸位に切り、熱湯を加へた鍋湯にザツト茹で、目ザルに揚げ、醬油を少量手でパラパラとふりかけ、大急ぎで團扇で煽ぎ冷します

◇…すべて青菜類を茹る際方法を誤ると青菜類の持つ營養分(鑛物質及びヴイタミン等)を失ひその上色が赤く變つたり軟かくなり過ぎて齒が惡くなつたりします

◇…赤く變色するのは酸化酵素が働き青菜の中の葉綠素を破壞するからで、この酵素は攝氏六、七十度に於て一番活潑な働きを致しますから、何でも青菜を茹でるには必ず沸騰後に入れなければなりません、そして揚げてからは酸化酵素の働く適溫の時間をなるべく短くするため急に冷却することが肝要です

人生の樂しみは唯 閑寂な木魚の音
木魚庵主人 竹内坦道氏

「所藏品を全部電氣遊園に持つて行つて了つてから身の近くに置かないので朝晩どうも淋しくてね、始終電氣遊園へ木魚に逢ひに行つてますが年のせいか淋しくて堪らず、一層のこと又元通り自分の傍へ持つて來て了はうかとも思つてゐます」と話す木魚庵の竹内坦道氏はほんとに淋しくて堪らないらしい、今市都に在る元地質調査所長木戸正一氏の達磨と髙山氏の犬そして竹内氏の木魚は隨分古くから大連蒐集家の三幅對として餘りに世間に知れわたりすぎてゐるが昨年暮から左眼を病み、つひに手術して片眼を失ひなは癒り切らない傷痕を抑へ乍ら愛玩品を翫ふ狀をみると何となくほろりとさせられる。

▽……△

「今五、六百はありますが此頃は蒐張り集まらなくなりました。今まで每年十五や二十は買つたものですが本年なんか未だ一つも買ひません、買つたのが出ないのでね

私が木魚を蒐め出したのは古い昔で、若い時、東京築地の工手學校に居た當時、この間死んだ内田晉庵から象牙細工の木魚を貰つたのがおそらく木魚を手に入れたそもそもの始まりでせう

其後鎌倉に居て貧乏した時、少し集つてゐたのも一緒に賣つて了ひましたが、三十年程前からぼつぼつ蒐め出したのです、晉庵の死ぬ前に「君から貰つた木魚は失つたがあれが機緣で今は可成り蒐めた」と言つてやりました。私の所藏品の中に南洋の木魚が一つありますが南洋では樂器に使つてゐます、踊る時に持つて叩く爲め柄が附いてゐますが印度邊りから傳はつたものぢやないかと思ひます、昨年南洋から日本に木魚千二百個注文が來ました。全く樂器としても良いもので、割り方によつて皆一つ一つ音が違ひ、古い物程さびた音を出します、手當り次第叩いて樂しんでゐると嬉しいもので私など一生涯隨分借金取りに惱まされたものですがこの音を聞いてゐると生活の苦しい事も何も彼も一切雜念を忘れて了ひます……」と話を聞いてゐると坦道さんは超俗した中にも自ら軟か味がある、おそらく、あの淸冽な深山の大氣を嚙む樣な感じの木魚の音を聞いて暮した三十年間の賜だらう(寫眞は竹内氏愛藏の木魚と木魚庵主人竹内坦道氏)

教育兒童 新刊書紹介

▲教育時論(六月五日號) 教育禮讚スエーデンに於ける教育批判紙の教育から土の教育へ、課題研究、教育奇談その他(十八錢 東京市麴町區三番町開發社)

▲大連スカウト(六月號) 大連少年團の會報である、秩父宮殿下をお迎へして、中國 … の話等(民政署内大連少年團)

探偵小說 女妖（113）

江戸川亂歩作　橫溝正史　伊藤幾久造畫

恐怖の別莊（三）

空には星一つなかつた。漆のやうな暗闇が、とろりと重苦く、村から街道一面を包んでゐる。

お粂は外へ出て扉を靜かに締める時思はずブル、と身を慄はせた。日が暮てから吹出した風は、夜の更けるに從つてその勢ひを增して槲の木の高い梢をざわざわと搖つてゐた。後々けたゝましい鳥の聲が、深い暗闇をつんざいた。暫くお粂は戶口の所で躊躇してゐたがやがて決心をきめたやうに、すたすた／＼と步き出した。强い風が眞正面から吹つけて、細い肩にまとうてゐるショールを持つて行きそうにする。粗い砂埃が路上から吹上げて、彼女の眼と言はず口と言はず飛び込んだ。

半町程來てからお粂はふと立止まつた。

やがて森の姿が、夜目にも黑々と彼女の眼に入つて來た。その森の下を過しさへすれば、懷しい男の住む邸の側まで行かれるのだ。彼女は急に足を早めた。何かしら、目に見えぬものが惹き寄せるやうに、彼女は宙を飛ぶやうにして步いた。走つた——。

森を過ぎると、急に廣々とした原つぱへ出る。その原つぱがだら／＼登りに丘へ續いてゐて、その丘の上に目的の千家屋敷の邸宅は建つてゐるのだ。

その邸を下から仰ぎ見た時、彼女はふと、言ひしれぬ寒さと、不安を感じた。今までの興奮と、熱狂が、急に冷却してゆくやうな惡感を彼女は胸の中に感じた。

何か、口では言へぬ邪惡、陰謀さう言つたものを彼女はその建物に對して感じた。彼女がこの建物を見た事はこれがはじめてゞはない。そして日頃は何氣なく見て過してゐる建物に對して、今夜はどうしてこんなに不思議な感じに打たれるのだらうか。それは、今宵のこの物凄い颶風と、漆のやうな暗黑のせいであつたらうか。

いや／＼、後から考へると決してそれだけの理由ではなかつた。この嵐を機會に、今しも千家屋敷の邸の中では、人と人との、生命を賭た爭鬪が演じられつゝあつたのだ。それは世にも物凄い、殘忍な爭鬪だつた。お粂は少しもその事を知らなかつた。然し、いづれはその生命の渦の中に卷きこまれるべき運命を荷つてゐたのだ。

彼女が、此邸の姿を仰ぎ見て、慄然としたのも偶然ではない。

このまゝではとても目的のところまで行けさうにないやうな氣がして來た。いつそもう引返へさうか——、彼女は何度となくさう思つた。然し、森の向ふにある何者かゞ、强い力で彼女の魂を惹き寄せるのだ。

彼女をしひたげ、その揚句には——その男が生きてゐるといふ報道は、强く彼女の心を搔き亂した。彼女を殺害しようとさへした男、父親の前でも斷言した通り、彼女は決してその男に未練のないつもりで居た。いや／＼それどころか憎い男、構はない男として自分の心に言ひきかせてゐたものと思つた。然し、理窟では分らぬ。何かしらそれ以上のものが彼女の魂を森の彼方に惹きつけてやまぬのだ。

暫く彼女は、風をよけるために道の傍らに佇んでゐた。行かうか戾らうか——、人氣のない眞暗な路上を、暫し彼女は見廻してゐたが、やがて、驅い吐息をつくと。

「駄目だわ、このまゝぢや到底眠れやしないわ。一目でいゝ。一目でいゝから會つて話をして置き度い」

彼女は自暴自棄に肩をゆすると父としてもすた／＼と森の向ふの千家屋敷の邸へ足を運ばせ始めた。

芝罘から昨日來旅し 畏くも聖旨を傳達
けふは大連の忠靈塔に參拜 御差遣の侍從武官

第一、第二遣外艦隊及び旅順海軍無線電信所へ御差遣の侍從武官山內豐中海軍大佐は芝罘より驅逐艦「桑」に搭乘し十一日午前十時三十分旅順港に入港、桑艦內にて岸本第九驅逐隊司令久保田駐在武官鈴木無線電信所長等の伺候を受けて同十一時北岸壁より上陸、關東軍司令官代理三宅參謀長、厚東要港司令官、長官代理三浦內務局長、中谷警務局長、西山民政署長、永山市長ほか部外者多數の出迎へを受けつゝ直に水交社に入り、こゝにて晝食、午後一時二十分より先づ東港南岸に碇泊中の驅逐艦「檜」「樅」に到り畏くも聖上陛下より御下賜の酒肴料を傳達し、次いで二時半無線電信所にて酒肴料、三時衞戍病院にて親しく入院の患者を見舞ひたる後御菓子料を下賜、夫より白玉山納骨祠に參拜、ヤマトホテルに小憩の後六時卅分より水交社に於ける駐在武官主催の晩餐會に臨席ヤマトホテルに一泊した今十二日は午前八時より自動車にて二〇三高地、博物館、水交社下士官兵集會所、戰利品陳列所等を參觀、正午長官々邸に於ける午餐會に臨席の上午後三時三十分離旅大連に向ふ豫定であるが、大連における日程は大連忠靈塔、大連神社を參拜して滿蒙資源館を視察、午後六時卅分より滿洲館における滿鐵總裁の招宴に臨みヤマトホテルに一泊して十三日朝海路歸國のはずである

壽府御到着の 高松宮兩殿下

【ゼネヴ十日發電】ゼネヴに御到着の高松宮同妃兩殿下には本日は勞働局理事トーマス氏の御歡迎を受けさせられ折柄舉行中の五十一ケ國參加の國際勞働會議の開會式に御出席遊ばされ、午後は事務總長ドラモンド氏の御案內で聯盟各部の建築物を御見物遊ばされた、二十一日パリ御歸還、廿六日ロンドンに向け御出發の御豫定である

實滿野球戰につぎ 來襲する強チーム
八幡製鐵・明大・法政・慶應等々 試合日取り內定す

本社主催の大連實業團對滿洲俱樂部定期野球戰終了後は外來チームの來襲で一層野球ファンを熱狂せしむるが、本年度は左記の如く六大學リーグ戰中の一流チームが來連するから人氣はいやがうへにも沸騰するものと思はれる、なほ現在內定せるチームの來連日程は

▲八幡製鐵所チーム　七月一日にファースト、ゲームを行ひ十日頃まで滯在
▲明治大學チーム　七月七日ファーストゲーム、十七日頃まで滯在
▲法政大學チーム　七月十四日ファーストゲームを行ひ二十六日頃まで滯在
▲慶應義塾大學チーム　七月十九日ファーストゲームを行ひ二十八日頃まで滯在

その他名古屋高商チームは八月二十日頃、九州帝國大學、長崎高商の各チームは八月中に來連の筈、また慶大チームは當地終了後天津北平に轉戰し其他は京城朝鮮經由歸校の豫定であると

滿鮮御視察の 御禮を言上
秩父宮御殿に伺候 きのふ松田拓相が

【東京十一日發電】松田拓相は十一日午前十時秩父宮御殿に伺候殿下に拜謁仰つけられ過日殿下が陸大生の御資格で滿鮮地方御視察あらせられた事につき御禮を言上したるところ、殿下には朝鮮の自治權確立に次で臺灣にも自治權確立の必要はないか、また昭和製鋼所の設立、失業問題等につき御下問あり拓相はいちいち奉答申上げ十一時退下した

お盆が近づく　三越の賣出し

電協懸賞マーク 當選者發表

滿洲電氣協會ではさきに同協會マークを懸賞募集したところ內地、滿鮮方面よりも應募ありその數約二百件に達したので特に審査員を依囑して愼重審査今回左記の通り入賞者を決定した、尚賞金は六月三十日に夫々送附する由である

▲入選大連市文化臺一〇〇貫山鐵△佳作大連市聖德街四ノ六辻方大崎清一▲同大連大山通り小村圖案部渡邊兎州▲同東京市神田區三崎町三ノ一〇六谷山泰道▲大連市連鎖商店街宗像建築事務所武方織太▲同大阪市西成區粉濱中の町西ノ一〇三北村藤四郎

全滿段位制競技
七月六日、大連運動場で

滿洲體育協會では來る七月六日午前十時より大連運動場に於て第二回の全滿ハンデイキャップレースを舉行することになつたが、同大會は新進、無名の選手のため設けられたるものであるから參加希望者は至急左の規定に從ひ申込まれたしと

競技種目(トラック)百米、二百米、四百米、八百米、千五百米、五千米、一萬米、百十米高障碍、八百米繼走(フィルド)圓盤投、砲丸投、槍投、棒高跳、走幅跳、三段跳、走高跳▲競技方法本會制定の段位制に依る▲入賞各一種目一等より三等迄とし繼走は一等のみとす▲參加資格制限なし▲參加料一種目金二十錢申込と同時に納付の事▲期限六月二十五日限▲申込滿鐵本社社會課體育係氣付滿洲體育協會へ

實滿戰優勝軍 本壘打者に贈盃
極東週報から

本社主催の大連實業團對滿洲俱樂部定期野球戰第二回戰はいよいよ明十三日午後四時より滿俱球場に於て壓倒的人氣を集めて開始されるが、過般來より優勝豫想投票を募集して人氣を博せる極東週報社では今回の優勝チームに銀製大カップを、また最初に本壘打を放つた選手に(但し本壘打なき場合には兩軍最高打擊率者)本壘打盃を授與することになつた、なほ優勝豫想投票は十二日を以て締切ると

夏家河子に 公衆電話所
着信も取扱ふ

遞信局では來る十六日から開設される夏家河子海水浴場見張所內に臨時公衆電話所を新設して一般水泳客の利便を圖ることになり目下その工事を急いでゐるが、右電話所では着信通話をも取扱ふことになつてをり大連市內との連絡上極めて便利である、なほ通話料は大連へ一通話時十五錢、旅順、金州へは各二十錢であると

電車內の 忘れ物迄に 響く不景氣風
これから水泳が始まれば ヅロウス忘れる女も出る

◇…だんだん暑くなつて物憂くつい居眠りもしたいこの頃になると電車內の忘れ物が俄に殖えて來る、每年車內に忘れ物の一番多い季節は六、七、八月の暑い盛りだが、先月は三百八十件ばかりの遺失物があり、例月より既に二割方多い、ところがこれも例年に比べると餘程少く、乘客の心も不景氣風が身に泌みて引緊つたものか、遺失品の種類を見ても洋傘、蝙蝠、パス入れ、ヘンカチーフ、日傘、麥稈帽子、金五錢也入の蟇口等々これなら忘れても大してあはてなくてもよいと思ふものばかりだ

◇…先月大洋七十圓をつたのが近來の大物でこれも品物よりも忘れた本人からの屆出の方が早い位で、一ケ月經てば遺失主のない品は會社から一纏めにして警察に屆けるが、殘つた物はボロニーヤが一山いくらといふ樣な物許りだ、トテも好景氣時代の現金二百圓、三百圓といふ樣な忘れ物はない「世の景氣、不景氣がこの忘れ物に痛切に反映しますよ」とは係員の話

◇…中には新聞包の中に女の猿股を忘れたものや、水泳が始まる頃には濡れた褌や水泳着の忘れ物が多く係員を惱ますが「ヅロウスを忘れるお孃さん」もゐるかとは餘りそゝつかしい次第

漫談と音樂の夕べ
異色ある顏觸れに集まる興味 十四日夜協和會館で

わが探偵界の元老甲賀三郎氏をはじめ今春初上演の山田耕作氏指揮の「墮天女」に主演してその容姿と美聲を謳はれた樂壇の新しき明星關種子孃及び新進のヘイバリトン歌手黑田進氏に伴奏者のピアニスト君島愛子孃を迎へ本社にては既報の如く來る十四日午後七時半から大連滿鐵社員俱樂部後援の下に協和會館に於て「漫談と音樂の夕」を催すことに決定した、甲賀三郎氏の講演は探偵小說を中心とした興味ある獵奇漫談で關種子孃黑田進氏の獨唱と相俟つてその異色ある顏觸れが揃つて初夏の夜に適はしい催し物として大いに期待されてゐる、會費は一般一圓五十錢讀者一圓で十三日朝より大連滿鐵社員俱樂部で會券を賣出すから滿員にならぬうちに求められたい

尚一行が特別放送する今夜の「滿日放送の夕」のプログラムは左の如く決定した【寫眞は墮天女に主演した關種子孃】

▲講演(探偵小說の話)甲賀三郎▲テノール獨唱　黑田進(イ)アイ、アイ、アイ、オスマンペレス曲(ロ)出船の港　中山晉平曲(ハ)土投げ唄　藤井清水曲▲ソプラノ獨唱　關種子▲夜鶯(ロシア民謠)アラビエフ曲オゲルン編▲ピアノ伴奏君島愛子

救世軍の大痛手
克己週間の寄附金募集を 今後は許可せぬ方針

大連市播磨町救世軍滿洲支部では例年春秋二期に於て各一ケ月間を克己週間と稱し、全滿各都市にて一齊に寄附金募集をなしてゐるが、關東廳警務局の方針に依つて今秋から救世軍が克己週間に行ふ寄附金募集行爲は之を許可せぬ方針と定まつた

事件の發端は今春大連救世軍滿洲支部參軍酒井龜一郞(四三)氏の命を受けた同軍大連小隊長長井公平(二八)が三月中旬ごろ旅順市にて春季克己週間に際し旅順署の許可以前に既に募集した事が判明したので四月末以來、救世軍大連參軍酒井龜一郞及び直接募集に從事した長井公平の兩名及び寄附金を喜捨した人々を旅順署に召喚し取調の結果無許可募集の違法行爲明確となり關東廳の意嚮をも訊した上責任者酒井龜一郞に對して近々最高科料を科すると共に許可以前の募集金を各家庭に就き一々返還させ其の受領證を旅順署へ提示せしむると云ふ最高處罰に處することゝ爲つた

右に就き有出保安課長は語る

救世軍の克己週間に於ける寄附金募集を向後許可しない方針を執る理由としては救世軍の收支決算表上寄附金が主として救世軍從業者の生活費に充てられて居る點に就き考慮させられるのと一般家庭に對して募集する際戶別訪問に依る募集である爲め一種の虛榮心から心にも無い金を寄附する所謂虛榮料が含まれて居ると云ふ點もあり一の宗教を信仰して其の布教に身を委ねることは自由だが、その宗教に關係のない一般家庭へ寄附金募集の戶別訪問は現在では社會性が認められない等の理由もあり斷然今後不許可の方針を執る考へです

最初の上水盜用 八月振りに發覺
朝夕荷車に積んで 附近居住者に供給

大連では最初の上水盜用の新智能犯が發見された——市內大黑町二九周鐵田名義の市內小崗子德街二二番地大工小屋にある水道を、同家居住の杜某が水道に多少智識あるところより屋內の水道マンホール內の計量器及び塵除けを反對に取付けてメーターの上昇を防ぎ私設鐵管を取付け戶外に引出し、朝夕荷車に積んで附近居住者に配達し上水販賣をなしてゐたのを十日民政署水道係員が發見しこの旨小崗子署に屆出でたので、猪股司法主任は水道係員立會ひのうへ實地檢證を行つたが、右は昨年十一月ごろより繼續盜用してゐたもので巧にそれを隱蔽して居つたため遂に今日まで發見するに至らなかつたものであると

小銃だけ積込 上海へ歸航

海關碇舶中の露船盧金號は十一日入港と共に水上署その他の諒解を得て武器積取中であつたが、全部の積載が不可能なので小銃のみを積み十一日夜上海に向つた尚再度來連し殘部の積取りをなすと

淺間山爆發す

【前橋十一日發電】暫く活動を休止してゐた淺間山は十一日午前八時五分突如大鳴動と共に爆發し噴煙物凄く天に冲し主として群馬縣北部地方に大降灰があつた、損害等目下取調中である

國有林に延燒

【小諸十一日發電】淺間山の噴火は既報の如くであるが折柄東京市芝區高輪南町永井四郞兵衞(三七)外數名は登山し頂上を極め約十町程下つた際突如爆發し同時に直徑一寸大の石が雨の如く落下して來たので同人等は命からがら菅之澤に逃げ込み幸ひ無事であつた、なほ同噴火に依つて山麓の東長倉村國有林に燃え移り目下盛んに延燒中である

職業紹介所 五月中の成績

市內常盤町の大連市社會館職業紹介所の五月中における成績は求人男四十名、女十三名に對し、求職は男百四十九名、女二十一名でその內就職したもの男三十二名、女七名、計三十九名である、これを昨年同期に比べると求人は十一名減じ求職は二十九名も增加し如何に不景氣が深刻であるかを如實に示してゐる

全滿女子排球 大會組合決る

滿洲體育協會主催の全滿女子排球選手權大會は十五日午前九時より彌生高女に於て舉行されるが、プログラムは左の如くである

A組(滿洲婦人協會／滿鐵技術研究所)午前九時
B組(神明高女A組／彌生高女B組)午前十時
C組(神明高女B組／彌生高女A組)十一時
Aの勝者對Bの勝者十二時
A對Bの勝者對Cの勝者午後二時

漫談と音樂の夕

出演者
探偵小說家 甲賀三郎氏
バリトン歌手 黑田 進氏
ソプラノ歌手 關 種子孃
伴奏 君島愛子孃

會期 六月十四日午後七時半
會場 協和會館に於て
會費 一般一圓五十錢、讀者一圓
主催 滿洲日報社
後援 滿鐵社員俱樂部

松井子禮遇停止

【東京十一日發電】舊川越藩主子爵松井康昭(三四)氏は生來素行修まらず四月廿一日準禁治產の確定を見たので十一日宮內省宗秩寮より華族令第七條第一號により華族の禮遇を停止する旨發表した

獵友會慰靈祭

大連獵友會では昭和四年度の獵期も五月三十一日を以て終り八月十五日より新獵期に入るまでは所謂大小天狗連の閑散期であるためこの期を利用し殺傷鳥獸の慰靈祭を舉行するのが年中行事の一つとなつてゐるが、本年は來る十三日午後五時より常安寺に於て供養を行ふことになつた、殺傷鳥獸の菩提を弔ひその冥福を祈り極樂往生をさせるため會員は振つて參列して貰ひたいと、尚同會では慰靈祭終了後クレー大會に就ての打合せをなす筈である

女中殺しの 橫山博士四男執行猶豫

【東京十一日發電】牛込東五軒町東京帝大名譽敎授理學博士橫山又次郞氏四男達雄(三一)が同家の女中シゲ(二〇)を痴情の結果海軍ナイフで殺害した事件は東京區裁判所濟水判事、飯沼檢事係りで審理中のところ十一日懲役六月、執行猶豫二年の判決言ひ渡しがあり達雄は男泣きに泣いて退廷した

記者團勝つ 對法院庭球戰

法院關係者聯合軍對記者團の對抗庭球戰は十一日午後四時半より水道課コートに於て舉行されたが二十對十で記者團斷然勝つ

法院聯合		記者團
高井、竹田	〇—三	藤波、諸谷
田中、芝	三—二	保科、立上
小田、上田	三—二	堤、富吉
本間、阿部	一—三	三聯、今尾
森本、今野	〇—三	菊川、山田
安田、長瀨	三—一	友常、江上
藤崎、木內	〇—三	五百旗頭馬場
高見、板崎	〇—三	額賀、森
合計	一〇—二〇	

釣魚競技會 十五日小平島で

來る十五日小平島にて釣魚競技會が催されるが、一行は午前零時市內浪速町一鈴木釣具店前出發、午前三時から魚釣を始める豫定である、會費は一圓三十錢(辨飯二人乘、舟賃及片道自動車賃)會員は五十名で締切るが、なほ一行は正午までに上陸歸意解散する實滿戰には充分間に合ふと

女流碁客稽古

過般上海より來連せる女流碁客都筑四段伊藤三段は三河町大連棋院において六月中一般同好者の稽古の需めに應ずると

信濃町小火

十一日午後六時二十分ごろ大連信濃町九〇洗濯屋小林義孝かたの風呂場から出火したが大事に至らず消し止めた原因は煙突の不完全からであると

■日活現代劇臺本より■

この母を見よ（二九）

崎面座同人構成

餘りに烈しい驚愕だつた。見るに忍びない情景が、その取り散らされた部屋のなかで繰展げられてゐた。

倭子は、どうしていゝのか解らない——追はれるような氣持で部屋のなかを歩き廻つた。

千呂の生活が、其所まで墮落してゐるとは、今が今まで考へても居なかつたのだ。

それが豫想を裏切つて、うつかりしてゐると倭子自身の足許までが、ずるずると崩壊して行くような氣持がした。

氣急はしく部屋のなかを歩き廻つてゐた彼女は堅く心に縫つけるように決意した。

——そうだ！

あたしは……どんな事があつても、指輪なんか貰つたつて、あんな途へ入るのは止さなくてはならない、あの人とあの兒のために……。

倭子は、椅子の上から燐寸卷を拾ひあげて、この腐つた、混濁した世界を抜け出やうとした。

その時、絶望と諦めに蒼ざめた千呂の顔がカーテンから現はれた。

倭子さん！

憂ひを帶びた千呂の瞳が倭子に強く迫ひすがつて來た。

千呂は、倭子の行手にふさがると、その肩をおさへた。

御覽になつたのね　あれがあたしの仕事なの

千呂の眼は反抗的な光りを湛えて、倭子の恐怖に滿ちた瞳をじつと見据へる。

貧乏で身體一つしかない女が　餓死と泥棒の様な女が——

倭子の腰に掛けられた千呂の腕は次第に烈しい力を持つて來る、恰も其の力のこもつた腕が倭子のをのゝく心をゆさぶるかのように……

生きる唯一つの道なのよ

千呂は狂人のように何度も其の言葉を言ひ續けた。

——生きる唯一つの道……。

教へて上げるわ　あなたは生きたかつたら自分の『美しさ』を利用なさい　それはあなたの權利よ力よ　お金なのよ

千呂は、自分の腕のなかで唯おどおどとしてゐる倭子の顔を覗ると又情ない氣持が込み上げて來た——然も、この女には子供まであるのではないか？

うなだれて、燐寸を弄そんでゐる倭子の姿が、惨めに、いぢらしく千呂の情感を唆るのだ。

あなたは　いまあなたの潔白を思つてゐる時ぢやなくつてよ　さつきの様に餓と寒さに慄へてゐる子供の面を思ひ出すのよ

次の間で、二人の話に聽き耳を立てゝゐた紳士は、つまらなさ相にカーテンの側を離れた。

そんな逼迫した二人の氣持なんかに興味を持つには、まだ醉がすつかり醒めてはゐない。

扉先きで、ちよいと笑つて先刻入つて來た衣裳棚の蔭の扉からネクタイを直しながらおどけた足どりで出て行つた。

その[illegible]にも氣づかず、千呂は熱心に倭子の肩を揺り動かして云ひ續けた。

あなた滿村さんと結婚なさる御氣持はないこと

倭子は、はツとして顔をあげた——等の顔が頭に浮ぶ。

彼女は、等の顔を想ひ浮べたゞけで心が濁れるような嫌惡を感じて面を背けた。

あの方あなたに死ぬほど惚れてゐるのよ　誇張ぢやないわ

倭子は強く頭を振つた。

では滿村さんがお嫌ひなら他にいくらでもあつてよ　倭子さんなら安賣りしなくともいゝことよ

倭子は肩に置かれた千呂の腕を強く振り拂つた。

——あゝ、此の女までが……。そう思ふと、又心が亂れるようであつた。

もう結構だわ——結構だわ　そんな——そんな　そんなことが——

倭子は、千呂の顔を見るのさへ怖ろしかつた。急いで扉に走り寄つた。

【寫眞は入江たか子龍花久子】

川柳六月課題

▽「夏痩せ」　六月十五日〆切
▽「鐘」　六月十五日〆切
▽「海岸」　六月二十日〆切
◎一題五句限必ず各題別記の上大連市彌生町一六高橋月南宛

滿日社文藝係

滿日俳壇募集規定

次回課題「夏の朝」「夏の月」「ペンキ」▲句數無制限▲用紙半紙▲各題別紙▲締切六月十五日▲封筒に「滿日俳句」と明記▲宛先東京市牛込區若松町八二島田青峰

新刊紹介

▲財界巡禮記（神長倉眞民氏著）世論に抗して日本の經濟界前途に對して大樂觀者である著者は勇敢に經濟行詰論、經濟國難論を排して、近代經濟界の最も注目す可き現象である、人資主義奉仕主義を提唱し、此の新產業哲學をもつて吾が經濟界の進むべき道と斷定して勇敢に筆を進めてゐる、全篇十九章、世界的地位にある日本の紡績界をはじめアメリカ財界、或は所謂產業哲學と、平易に面白く巡禮の筆を進めてゐる、著者はダイヤモンド記者として財界の消息通（四六版三百廿頁東京京橋第一相互館千倉書房發行）

▲儲かる副業（報知新聞社通信部編）報知新聞社が日本内地各地の特派記者をして調べさせた結果、僅な資本とお互の餘剩勞力で簡單に相當の利益をあげ得られる副業として同紙上に紹介したものが本著である、蠶の卷、養鷄の卷、うゐの卷、金魚の卷、染紙の卷、椎茸の卷家畜の卷、凍豆腐の卷の七章に分ち、卑なる讀物としてだけでも相當に面白さのある副業記事を滿載してゐる、所々に滿洲にも參考となるものが含まれてゐる（四六版定價八十錢、東京牛込大神町東洋經濟出版部發行）

滿日社廣告用電話　四四九一番　三六九五番

夕刊 滿洲日報 六月十一日

軍縮問題の責を引いて 加藤軍令部長遂に辭職

昨朝參内恐懼に堪へざる旨言上

財部海相即日執奏

辭職の理由

【東京十一日發電】加藤軍令部長は財部海相と折衝を重ねた
一、統帥權問題は最近解決に近づき覺書の署名にまで進展したが
二、軍令部無視問題
三、國防缺陷補充問題
はなほ埒明かず、加藤部長は十日朝急遽帷幄上奏をなし自己の不徳にして重大事態を惹起させたるは恐懼に堪へざる旨を言上し同時に自己の辭表は財部海相に執奏方申請中なること等を奏上した、依つて財部海相は加藤軍令部長と會見後岡田大將、山梨前次官等と協議後御召に依り午後四時二十五分參內拜謁を仰付られ御下問に奉答後加藤軍令部長の辭職を執奏した、依つて十一日御允許下り次第之を內閣に移牒し軍令部長更迭に伴ふ親補式が數日中に行はれる筈

【東京十一日發電】加藤軍令部長の辭職理由は

アメリカ案に依る協定兵力量では國防の安固は期し得ぬ、且つその決定に軍令部が政府に無視されたるは軍令部長としてその職責を果し得ぬのみならず既に斯かる事態を發生せしめたるは恐懼に堪へぬ

と協定兵力量への不滿と統帥權干犯を以て理由とし之等の問題は加藤大將が部長の地位を去り軍事參議官となるも尙强硬に貫徹に努むべく結局統帥權問題は既に財部海相も加藤軍令部長と同意見なので新軍令部長と海相間に確定せんも軍令部無視問題は結局有耶有耶に終り國防缺陷補充問題は豫算期を控へ相當論議されんも新部長と海相間に然るべく折り合ひつかんに轉補されるといふやうな事は自分は知らぬ、斯かる人事は總て海相の手で決定されるもので軍事參議官に對して何等相談あるべきものではない、軍令部長

後任には谷口大將

加藤大將は軍事參議官に轉補

けふ午後職記を傳達

【東京十一日發電】加藤軍令部長辭任につき財部海相は十一日午前七時半より一時間私邸に松下人事局長を招致して協議した結果左の如く異動を決定直ちに上奏御裁可を仰ぎ午後一時半より首相官邸において左の如く職記を首相より傳達した

海軍々令部長 海軍大將 加藤寛治
補軍事參議官
呉鎭守府司令長官 海軍大將 谷口尙眞
補海軍々令部長
軍令部出仕 海軍中將 野村吉三郎
補呉鎭守府司令長官

財部海相語る

【東京十日發電】財部海相は官邸で語る

今日參內したが宮廷に關する事は絕對に言へぬ海軍人事については何ともこゝで說明出來ぬ、十三日西下呉へ向ふ、特命檢閱の爲めの軍事參議官會議は自分の歸京後二十日頃となろう、呉には綺麗さつぱりした氣持で行くなどは判らぬ人間は死ぬ迄面倒な蟠りに惱まされる

財部海相は辭意無し

【東京十一日發電】財部海相は十一日朝濱口首相と會見し加藤軍令部長轉補に伴ふ人事異動案を提示して首相の同意を得たる後海軍部內の緊張せる空氣を說明し自分は閣員の椅子を占めて居りロンドン條約調印の當の責任者として今後部內の空氣を緩和し現下の事態收拾を圖る覺悟である

と述べて濱口首相の諒解を求めた從つて海相に辭意なきこと明瞭となつた

國防上の意見不變

岡田參議官談

【東京十日發電】岡田大將は財部海相と會見後左の左く語る

加藤軍令部長が現職を去つて他

南北戰フオトニユース

【上】津浦線で濟南攻略を指揮してゐる閻錫山氏(支那服閻氏、洋服參謀長辜仁發氏)【下】山西軍續々濟南に迫る

對軍部問題一段落

軍縮條約可決は明瞭

政府は前途を樂觀

【東京十一日發電】政府は加藤軍令部長の轉補に依り問題の一段落を見たりとして安堵の色を見せてゐる、卽ち加藤部長の更迭については政府より何等策動したものではないが、財部海相が國家的見地より斷乎たる態度に出でたので、又加藤部長が政府への不滿統帥權問題への見解の相違を理由とし現職を去るも直に政局に變化を與へるものとは信ぜぬ、斯くて新軍令部長に依り新に國防計畫が立てられロンドン條約案も若槻主席全權の歸京後直ちに樞府に御諮詢の手續を執るから軍部との間本問題に關する限り最早何等の憂慮もない、樞府にて多少の波瀾はあらんも結局可決となるは明瞭であると樂觀されてゐる

の更迭に依つて軍令部の從來主張せし國防上の意見に變更を來すといふが如き事はない卽ち國防の大綱は全海軍の意思であるから何人が軍令部長になつても變更を生ずべき筈がない更に兵力量の決定に關する軍部の意見は過般の軍事參議官會議において決定せる通りで財部海相も同意せる處である

次官次長と事務引繼をなすこととなつた

若槻全權頻りに政府と無電交換

船中で重要會議開會

【北野丸無電十日發電】北野丸は本日は平穩なる航行を續けてゐるが日本內地における政府對軍令部關係が機微に推移しつゝある爲め船が日本に接近するに伴ひ若槻全權と政府との打合せ愈々頻繁となり本日は數次に亘り無電の交換あり首腦部は折々三十分乃至一時間位づゝ參集協議した、確聞する處によれば全權の最も重要な件は樞密院の關係で全權の歸國を待ち財部海相と意見交換を爲す必要生ずる如くである

海軍次官事務引繼

【東京十一日發電】海軍省では十一日午前十時半小林、山梨新舊次官事務引繼が行はれたが、軍令部次長に新任の永野修身中將は今朝東京着同日末

走馬燈

荻川

支那(其六)

回顧すれば故張作霖が、今の如く東四省ではない、東三省を根據として、宇內併呑を志し、驕將を與佩孚と爭ふて、所謂第一奉直戰を惹き起し、而も之に失敗するや、中央から官位官職を剝奪せられ、裸一貫となつて其根據に逃げ歸つたものゝ、彼の鋭敏なる、否寧ろ彼の周圍に良佐あり、こゝに保境安民を唱へ、中央彈劾と出で、そうして之が後援を民衆に求めんと、自治を其民衆間に吹き込んだ。

◇

形體だけであつたが、東三省の自治は此時を以て最盛となす、東三省のみならず、革命支那の何處にでも、まだかつてそれほどの自治風潮が漲りしを觀ない之が爲に張作霖の勢威は直に恢復された、それと云ふも、全く自治に歡喜した民衆の後援を得たからで、革命支那の民衆が、此一事でも如何に自治を戀ふるかゞ判る、それで若し支那に天下國家を志すものありとせば、是非とも此自治精神に乘らねばならぬ、然らざれば何も爲し得ない。

◇

蔣介石の將來は判らぬが、其現在の苦難を招きしは、自治精神を無視して、他から满足を取られしなり、亦張作霖が自己の爲であつたにせよ、自治を叫んで其勢力を挾復し、第二奉直戰で過去の怨恨を拭ふて、中央を我物になし得たるに拘らず、其後再度の失敗は、喉元過ぎて熱さを忘れ、やつぱり此自治精神を忘れたからで、乃ちこゝで云はんとするは、張學良にして眞に故父の遺志を繼ぎ、天下國家を志すとせば、自治を思へである

◇

故父の忘れし自治を、吾れ代つて思ひ起し、形體でも好い、故父の東三省に樹てし自治機關を復活すると共に、東四省から、國民黨の一黨專制政治を排除すべし、斯くて此東四省の自治から、職省自治の出現を誘ふ、斯くせんには、支那じや財政の豐なるものあらざるべからず、然るに自治は亦之を喚ぶ、殊に東四省では、外國資金の流通は良し、民衆は巧に之を利用するの途を知る、若し爲政者にして、之に干涉せざれば、東四省の財政は自から富むを知らずや。

平社員の整理は約七百名の見當

總員に對し二分の率

滿鐵高級社員の整理は既に二割と決定したが本俸百五十圓以下の社員整理も勿論豫想されるがこれは病軀その職にたえざる者、永年勤續者中能率の思はしからぬ者、成績特に不良のもの等何から見ても無理でない方面から七百名見當の整理は免れまいと觀測されてゐる然し高級社員の二割卽ち百四五十名に對し平社員の七百名餘は百五十圓以下の職員八千名、准職員三千名、日本人傭員一萬支那人傭員一萬四千合計三萬五千名に對し二分位の整理率で滿鐵整理の歷史から見るも非常に少い今次の整理は平社員には殆ど整理の餘地なく高級社員の整理を根本的に斷行するの意圖から出たものと見らる

滿鐵の人事問題

けふ午後更に重役會議で協議

傍系會社人事も決定

滿鐵では新職制と共に人事異動をこの一兩日中に發表するので社內は著るしく緊張して來た、殊に本俸百五十圓以上の高級社員七百二名中二割(一割は誤り)を整理する譯が流布されたので一般社員の總裁に對する期待は頗る大なるものがある、而して人事問題は十一日午後一時から總裁室において開く重役會議により最後の決定を見る筈だがこれは勿論傍系會社の人一事に觸れるやうである

滿鐵の株主總會

來る廿日鐵道協會で

滿鐵の第廿九回定時株主總會は來る二十日午後二時より東京丸の內帝國鐵道協會において開催されることに決定、既に東京支社では委任狀と共に各株主に招集狀を發したが議案は左の如くである

一、昭和四年度事業報告貸借對照表財產目錄及損益計算書承認の件
二、四年度利益金處分の件
三、退職役員に對する慰勞金贈呈の件
四、監事改選の件

新職制と部屋割

滿鐵の職制改正發表に伴ふ各部の部屋割につき文書及人事兩課では既にその研究にかゝり十一日大體の決定を見たらしい、卽ち

▲總務部、監理課總裁室を中心に現總裁室、各室▲鐵道部、現在のまゝ、計畫部、現案務課方面▲地方部、現在のまゝ▲工事部、埠頭ビル內▲用度部、現在のまゝ▲經理部、現在のまゝ▲交涉部、現人事課及技術審查委員會室方面▲殖產部、現興業部農務課、商工課方面▲販賣部、現在のまゝ▲炭礦部、現在のまゝ▲製鐵部、現在のまゝ

南軍濟南放棄か

韓氏に處置を一任

陳調元軍泰安に移動

【濟南特電十一日發】濟南に駐屯中であつた陳調元軍の警備旅團は泰安に移動し城內は公安局の衞隊商埠地は韓軍の孫桐萱軍が警備を擔任することになつた、これに徵せば蔣介石氏は濟南を放棄し一切を韓復榘氏の措置に任すことになつたものと見らる、而して韓氏と山西側との交涉は頻繁になつてゐるので濟南の局面變化は一兩日に迫つた

愈々近く發出さるべしとの確報ありその內容は蔣介石の下野を中心とし南北軍事將領に卽時停戰を勸告し和平會議開催と國民政府の改造を條件とせるもので軍政部長何應欽氏、鐵道部長孫科氏も加はつてゐると

南軍は隴海線で最後の一戰

敗れば蔣氏は下野

【北平十日發電】蔣介石氏は頽勢挽回この一戰に在りとして隴海線の最後的總攻擊を決意しドイツ顧問を督勵し退却兵を後詰めとし新手の豫備兵を前線に與つて必死の準備にかゝり日ならずして隴海線に一大決戰起るべく期待さる、蔣氏はこの一戰に敗れば卽時下野あるのみと言はれてゐる

元老連和平通電

蔣氏の下野を條件に

【北平十一日發電】張靜江、譚延闓一派、胡漢民氏元老連の和平通電は

何健氏は遂に免職

【南京十日發電】漢口公電に依れば何應欽氏は本日國民政府宛、何健が職はずして長沙丘州を放棄したるは確かに反蔣軍と妥協してゐる事を裏書するものであるから中央政府は直ちに何健を免職し逮捕命令を發せられ度しと申請して來たので政府は直ちに要人會議を開き何應欽氏の免職を可決し蔣介石氏に對しその發令方を打電した

關東廳歲入調査

明年度の豫算編成に際し

財界不況による減收考慮

關東廳では去る九日附財務課通牒を以て管內各民政(支)署に對して昭和五年度概算調方に關する件を通達したが、引續く財界の不況に加へて昨秋以來慘落步調を辿つてゐる銀貨暴落は、一般購買力の減少と物價の下落と相俟つて財界に及ぼす影響深刻を極めつゝある現狀にあり、關東廳の歲入も經濟界の不況に依つて當初の豫定額に比較して減少を免れないものと豫測されて居る爲め、關東廳では今般各民政署に下命して昨年十二月以降の實績並びに現狀に徵して、一般經濟事情及び將來の推移に鑑みて各民政署における昭和五年度最初の豫定額並びに今年度歲入概算額に關する增減を提示せしむることになつたものであると

次長候補の顏觸

三氏には既に內命

異動內命

既に一部に發す

滿鐵新職制に伴ふ人事配置中、宇佐美(鐵道)、佐藤(工事)、小川(販賣)等の各部次長は既に內命を受けたものと見られてゐる

滿鐵新職制の次長は鐵道宇佐美、工事佐藤、販賣小川(內上內命濟)總務築島、交涉大淵、炭礦竹中、製鐵千秋氏等は最も有力なるものと見られてゐる

佐美寬爾氏の鐵道部次長、佐藤俊久氏の工事部次長は十日午後それぞれ內命を受け、佐藤工事部次長は十一日午前青木建築課長その他關係課長を自宅に招致して種々打合せした、また山崎元幹氏の文書課長居据はり、小川逸郞氏の販賣部次長等も既に前同樣內命を發せられたものゝ如くである

勞働法案と實業家態度

【東京十一日發電】現內閣が來る通常議會には必らず提出するといふ勞働組合法案に對しては去る五日東京商工會議所が反對意見を表明し九日には關西實業家の間に同法案反對協議會が成立しこれに伴ひ更に東北及び九州方面の實業家達も近々相結んでこの反對意見を支持することゝなつたので與黨內においても同法案に對する反對の聲は漸次有力となり却つて無產黨側が政府を擁護するといふ奇觀を呈してゐる、なほ社會民衆黨では近く反對の經濟團體に對し立會演說を申込むと

奉天遼陽間新鐵道

省政府の計畫

【奉天特電十一日發】東北交通委員會は奉天省城より遼陽に至る新線鐵道建設を計畫し工事費は省政府より支出して本年八月から起工すると

葫蘆島起工式

來る十五日擧行

【奉天特電十一日發】再三延期した葫蘆島築港起工式は本月十五日

大連時報發刊

齋藤光廣氏は山田武吉氏の社會研究の後を引受け大連時報と改題し豐田志義人氏を主幹として月刊雜誌を發行すると

人事

▲早川勝造氏(航空本部附航空兵少佐)十一日入港はるびん丸にて來連
▲西村英二氏(陸軍運輸部附一等軍醫)同上
▲甲賀三郞氏(探偵小說家)同上
▲佐藤秀郞氏(音樂家)同上
▲黑田進氏(聲樂家)同上
▲關種子孃(同上)同上
▲君島秀子孃(同上)同上
▲關根四男吉氏(大連鐵道事務所船舶長)同上歸連
▲森川莊吉氏(大連機械常務)同上
▲森口惠徹氏(常安寺住職)同上
▲美藤龗慎氏(實業家)十一日上り機にて大阪へ
▲山田貴實氏(遞信局航空係員)同上京城へ
▲志岐信太郞氏(請負業)同上

大觀小觀

加藤大將と谷口大將、すらくと更迭するより產むが易く、らしい。

◇

そのうちに若槻全權も歸朝する、樞密院だとて、そう無理は申すまい。

◇

雲南が獨立したといふ。大勢には事實上、影響せぬやうで、人氣に障ること夥だしい。

◇

一城落ち、一省削られ、而して遂に沒落か。それとも下野か。

◇

だが支那の抗爭、これで衝突の幕を切つて落すことも出來ず、依然として抗爭するは支那の惱み。

天氣豫報

十二日(南の風)晴一時曇
滿潮 午前十一時、午後十一時五分
干潮 午前四時、午後五時四十分

清々しいけふの入船 はるびん丸のお土産話

港灣協會の總會 次は大連で
關東廳と滿鐵で希望 關根船舶長のはなし

六月五日新潟で開催された第三回港灣協會通常總會に滿鐵を代表して出席中であつた船舶長關根四男吉氏甲板でキャッチする

素晴しい盛會であつた、總會は五日だけで前日の四日には港灣に關する **講演會** が開催され水野錬太郎氏の「港灣協會の使命について」松波仁一郎博士の「最近世界の大勢」丹羽工學博士の「商港に關する注意」それに三菱常務三橋氏の「港灣行政に就いて」等の數々の有益な講演あり、總會は五日午前九時より正午まで開催されたが、この提出議題三十一議案、そのうち滿洲に關係のあるのが(一)港灣法制定促進を政府に依頼する件(一)重要港灣臨港鐵道は鐵道省において建設經營すべしの二案でこの點に關しては **贊意を** 表しておいた、その他の議案はすべて地方的の細かいもの許りで專門に亘る事だから愼つておく、關東州からは支部長である内務局長の代りに竹内土木課長、それに私、東京支社から平山啓三氏が出席、内務省から土木局長、鐵道省から工務局長、遞信省から新潟出張所長、その他地方知事連、ザッと七百餘名色々な話題が飛び出して愉快であつた、それと明年の **第四回** 總會は關東廳の方も滿鐵の方も大連において開催したい意向を有してゐると申込んだが大體大連で開く事とならうと思ふ

奉軍で招聘の 飛行教官
早川少佐着連

張學良軍の空軍熱、飛行教官の招聘、飛機の空中輸送、最近の奉天軍が極力航空軍に意を用ひてゐることは注目に價するところだが、この船で航空本部附航空兵少佐早川勘造氏が來連「色々な荷物をもつて來たのですよ」と使命につきアッサリ受流したが

航空教官として六名許りの將校が各隊から奉天に集ることになつてゐます、それに飛行機四臺すので教官用の飛機に用ふる機械やプロペラーを廻す自動車なぞを運ぶために來たのです、それ以外に何もありませんよ、貨物を積込次第奥地へ出發するつもりです

ハモニカ名手
佐藤秀郎氏來連

ハーモニカの名手佐藤秀郎氏も同船來連したが語る

大連での吹奏のプログラムは極つてゐません、ココにはさきに獨逸のフランクフルトで開催されたハーモニカ發明百年祭に出席のため行つたとき通過しました、最近のハーモニカ界はナンだか衰微の聲高しなんていふ人も居りますが決してそんな事はありません、ドイツなぞでは小學校で正科としてゐるくらゐです、それに大きなハーモニカバンドも幾つも出來てゐますよ、日本においても漸次この機運に向ひつゝあります

淺見六段着任

對抗福岡柔道戰で足の負傷にも屈せず戰ひその勇猛ぶりを讃えられた柔道六段淺見淺一氏は、今回滿鐵本社人事課に轉勤を命ぜられ、六尺豐の巨軀を提げ同船で來連した

比支には當分負けはとらぬ
小野田一雄氏歸連 日本水泳界を語る

第九回極東大會出場の日本水泳チームのヘッド、コーチとして上京中の南滿瓦斯會社々員小野田一雄氏は無事重任を果して同船で歸連したが語る、

私の今度の上京は出發に際してお話した如く、昭和七年ロスアンゼルスに行はれる世界オリムピック大會に出場する日本水泳チームを今から養成するにどんな方法をとるべきやと云ふ樣な聯盟からの相談があつたのでその返答かた〴〵上京した樣な次第だ、だから今度のチームの **編成も** 來るべき大會の準備として作られた、極東の方は豫想通りにいつたともいへませう、たゞ我等の豫想をいさゝか裏切つたのは鶴田君の不振だつたが、同君は泳ぎ方を最近かへた樣でそれが因をなして今回の不結果となつたのではないかと思ふ、また高石君の不振から高石既に老ひたりと評判する人々があるが、同君は御承知の通り今春學窓を去り勤人となつたので思ふ通りの練習も出來ないため、あんな結果になつたのでせう、たゞ高石、佐田の時代から高橋、宮本の時代に移つて行くだらうことはいなめない事實だ

比島のインデホンゾ、デキルムの二選手の **活躍は** 大したもので、後者のデキルム選手は恐らく來るべきロスアンゼルスの大會に世界強豪の一大脅威となるであらう、支那は史興隆を除いた外見るべきものもない、今の調子で行けば日本はこの數年比支には問題なく勝つだらう、現在の日本の水泳界は以前の如く飛び拔けた選手はいないが所謂一流どころの選手が多くなつたため今回の勝利を獲得することが出來たわけだ、殊に長距離は斷然強く千五百米の横山は來るべき世界オリムピックには世界一流の人々をおびやかすであらうと私達は大なる期待をもつてゐる

高氏夫人ヘテーさん來連

異國の空に育んだ戀、それが昂じて「私の勇吉が出迎へに來てゐるかしら」と同船甲板で居ても立つてもゐられないといふ樣子なのが今は全く日本國民になり切つたセロの大家高勇吉氏の夫人ヘティさん、金髮で小柄の美しい人、渡碕の渡されるのも遲しと定期船からヒラリと乘移り出迎への高氏と腕を組んでいそ〳〵と立ち去つた

海からのお客さま

(上)向つて右から黒田進、甲賀三郎、關種子、君島愛子さんの一行(下左)奉天にゆく航空本部附の早川少佐(同右)ハーモニカの名手佐藤秀郎氏

慶應野球チーム 七月十二日神戸を出發
大連を振出しに北支へ轉戰

【東京十一日發電】慶應野球部は來る七月十二日神戸發大連を振出しに天津、北平に轉戰する豫定で八月上旬歸國すると

犯跡を晦ますため 手段を弄する隙もない
不景氣で人氣荒ぶこの頃の世相 わが探偵小說界の權威 甲賀三郎氏談

鐵ぶちの目鏡の底にジッと澄んだ二つの瞳、薄く禿あげた柔かい毛髮、それに口をついて出るハッキリしたアクセント、工學士でしかも雜誌新青年で親み深い甲賀三郎氏、恐らく日本全國の探偵小說を口にする程のものでこの甲賀氏を數えあげぬものはなからう、さように **有名な** 甲賀三郎氏は友人黒田進氏等の演奏會に「前座をつとめるんですよ」……と冒頭しながらサロンで話込む

御社の主催で探偵漫談とする事になつたんですが、大辻君の樣なものは出來ませんが變つた興味のあるものが出來ると思ひます、東京なぞでも時々氣が向くとやりますが、まあ大連のお客を見た上で、自分の經驗だとか研究してゐる事を **漫談的** にお話しやうと思つてゐるんです、一度上海には歐洲に行つたとき寄つた位で全く支那といふものは知りません殊に南と北と全然樣子が違ふそうですから非常な期待をもつて來てゐますよ、また好い材料が手に入らないともかぎりませんからね、いやどうも近頃の樣に不景氣だと人氣も荒くなり東京あたりでも支能で頭をグアンと毆つたりする樣な **突發的** な事件が續出してゐます、人間がいら〳〵してゐるんですね、犯跡を晦ますために色々手段を弄してゐる隙なぞ全く無いと云つた具合なんです、これなんか考へ樣によつたら面白いですよ、日本の探偵小說界も發達したものです、新進の人達のうちには好い素質の人が澤山居ますからね、今度は一ケ月の豫定で約十數回演らうと思つてゐますが御期待に副へれば好いと思つてますよ

『どうぞよろしく』
美しい歌手と伴奏者 關種子・君島秀子兩孃

紅唇といひ、皓齒といひ、全く彼女達のために作られた樣な美しいふたり、ソプラノの唄ひ手關種子孃、ピアニスト君島秀子孃、二人とも初めての土地に些か上氣しながら交々語る

初めてたんですのよ、かねてから大連は東京より **立派な** 街だと聞いてゐましたから樂しみですわ、日本人はどの位居るんですか?支那人の方が多いのですね?支那人は皆勞働者ですか?恐ろしくありませんか?

矢繼ぎ早に色々質問してくるそして話が勞働問題にまで入りそうになつたのでまた話を元へ引返し「こちらにはお友達でもあるんですか?」と尋ねると

ありませんは、私達も少しは **遠方に** 行つてステージに立つ事になれなければと黒田さんとそれに都合よく甲賀さんに

若人揃ひ ウンと演ろ
ハイバリトンの唄手 黒田進氏談

最近メキ〳〵賣出したハイバリトンの唄ひ手黒田進氏、東都における人氣は大したものだが、初めての滿洲の人達にもと關、君島兩孃並に甲賀氏と共に本社の招聘で來滿

甲賀氏に來て頂けたので結構だと思つてゐます、氏には色々御世話になつてゐるんです、知人友人はありませんが鍋島秘書役を頼つて來ました、若いもの許りの集り、しかも初めてのところですしウンとやるつもりでゐます、大連を振出しに奥地を廻るまで一緒になつて頂いて來た樣なわけです、よろしく

り歸りは朝鮮經由にする事にしてゐます

上陸後一行は本社及び滿鐵を訪問し午後一時より黒田、關、君島三氏は[illegible]山岡電氣課長宅に於ける「合唱を樂む會」の歡迎午餐會に臨んだ

全滿リレー大會
出場の大連側選手決る

既報の如く撫順體育協會では來る二十二日午前十時より撫順、永安臺、撫順トラックに於て全滿リレー大會を擧行するが、同大會第一部の優勝チームとして數へられて居る大連アスレチッククラブでは左記選手を以て同大會に出場することになり、二十一日二十一時半の急行で遠征の途に就くことになつた

▲百米競走 岡健次、大久保勇、中村繁、數根爲之助、小數賀源一郎▲四百米競走 木田正計、松重芳雄、三隅一二三、本田繁喜、濱田常盛▲千五百米競走 永谷壽一、大藪寛一、八重樫榮太郎、中島保、花田一彦▲高障碍 鶴岡鶴吉、星名泰、石垣松吉、中村正夫▲三千米團體競走 永谷壽一、大藪寛一、八重樫榮太郎、中島保、花田一彦▲四百米繼走 岡健次、數根爲之助、中村繁、大久保勇、小數賀源一郎、三隅一二三▲千米繼走(A)岡健次、數根爲之助、大久保勇、三隅一二三、濱田常盛(B)小數賀源一郎、中村繁、木田正計、松重邦雄、永谷壽一、本田繁喜▲砲丸投 横井金次、大久保勇、中村正夫、瀬川克巳、三上鶴一、星名泰、小林武夫▲圓盤投 横井金次、星名泰、三上鶴一、鶴岡鶴吉、小林武夫▲槍投 横井金次、星名泰、小林武夫、瀬川克巳、蜂尾滿久、小林武夫▲走高跳 鶴岡鶴吉、星名泰、石垣松吉、大久保勇▲走幅跳 石垣松吉、大久保勇、數根爲之助、岡健次▲棒高跳 石垣松吉、木田正計▲主將兼監督 石垣松吉、日根野峰次郎▲主將兼監督 小數賀源一郎

五十男の劇藥自殺
家人との不和で

市内白金町十一の二滿鐵用度課倉庫係員富川猪一郎方同居人野中喜久二郎(五二)が十一日朝突然苦悶し出したので家人は大いに驚き大連醫院に收容したところ、劇藥リゾールを嚥下してゐることが判明したので直ちに應急手當を施したが生命危篤である、原因は目下沙河口署にて取調中なるも喜久二郎は本年三月ごろまで滿鐵用度課に勤務してゐたもので辭職後娘婿たる宮川のもとに引取られておつたが家人との折合が惡くそれを悲觀して厭世自殺を圖つたものらしい

問題の武器
國民政府で引き取る 海關看視船けふ入港

さきに大連海關が沒收、寺兒溝危險倉庫に保管中の武器百四十噸(小銃二百三十九箱、彈丸千二百八十二箱)に關しては劉珍年に引渡さないで種々紛糾をつゞけてゐるが、十一日午前上海より總稅務司の命令で、海關看視船置金號(三百七十噸船長グラムゼンセン氏)が來港、國民政府に引渡すべくそれを船積上海に持ち歸る事となり、關東廳方面の諒解も得たので直ちに荷役に着手したが今明日中に出帆の筈である、これは一面國民政府側が武器の缺乏により焦慮を感じてゐる事を裏書してゐるもので、既報劉珍年の命令で芝罘から乘込んでゐた軍營處長王命書はあぶ蜂取らずとなつた形である

集金橫領の外交員捕ふ
カフエで遊興中

市内西公園町公園館內賣藥商宮本盛喜外交員竹島良(二三)は大連および旅順方面にて賣藥行商に從事中昨年九月ごろより僞造の領收書を使用して集金帳簿を胡魔化し約三百餘圓を橫領のうへ市内各カフエーに遊興し、去る三十日突然行方不明となつたので、宮本はかねて大連署に告訴を提出中であつたところ、十日夜市内若狹町幾松カフエーにおいて遊興中を沙河口署の岡和田刑事に逮捕された

神田署長等答禮

十一日午前十時三十分神田民政署長、永井市長代理は大連入港中のフランス軍艦アルゴール號を訪問しルブラン艦長に答禮した

台所メモ
公設市場物價

品名	單位	上	下
鯛(生・氷)	百匁	二五〇	一三〇
ほうぼう	同	〇五〇	〇二五
いか	同	一〇〇	―
ぐち	同	〇八〇	―
かながしら	同	〇五〇	―
えび	同	二〇〇	一五〇
ひらめ	同	一〇〇	―
すゞき	同	二〇〇	一〇〇
さはら	同	一〇〇	〇八〇
めばる	同	一五〇	一二〇
あぶらめ	同	一五〇	一〇〇
ぼら	同	二〇〇	一〇〇

問題

日活映畫『この母を見よ』は大連に何月何日から上映されるか?『この母を見よ』と時代劇作品は何を組合はしたらよいか、その題名?

締切期日 六月廿五日限り

賞品 一等賞金側懷中時計(一名)二等賞金側腕時計(一名)三等賞クロム側腕時計(一名)等外大日活入場券(百名)

主催 滿洲日報社演藝部

艶色生膽祕譚（159）

伊藤松雄作　河原緑龜太郎畫

似顔繪（五）

相樂總三先生はじめ、薩摩邸にたてこもる人々が、それとなく望見してゐるときかされて三藏、ぐつと身がひきしまつた。

スタスタと足音忍ばせて五重塔下へ邀りつくや、いきなり右肩を前こごみにして太夫をヒヨイと地上へおりたゝせ、

「これよ、そうらたのんだぞ！」

火藥一包、まづ擱ませて、上へ登れと指圖する。

と、合點した猿、一散に驅けだして、縁へパッととびのるや、スルスルと上りはじめた。

導火繩はお庫幾打の折と違つて長い。

「うん、さすがは重五郎親方とお染の仕込みだなア」

お染の白い手が暖かいのでその愛猿をあやつつてでもゐる樣に三藏、塔を仰いでいまさら乍ら感じいつてゐる。

縁へパッと猿はおりたつた。

「よいしよ！御苦勞だがいま一度それよ」

またしても猿は火藥包抱へて…

…これをくりかへすこと三度。

「しめたッ！」

導火線を三本一つにからげて、懐の火打石、早速とりだしてカチカチと叩く。

「三藏、おちついてやれ、慌てるなよ」

左近はすぐ背後に立つて三藏をかばつてゐる。

「へい！」

とたんにつけ木の火がつくと、導火線へうつされた。

ポッリと赤い一點の火がスルスル上へ上へ這ひあがつてゆく。

「よしッ！」

左近は三藏の腕をギユッと握つた。

「逃げやう」

「そらよ！」

三藏の肩へパッと猿がとびのるや、二人は一散にもと來た砲臺へとつてかへす。

やがて眼には見えなかつたが一點の火は導火線をつたつて三重目の軒下へ登りつめたか。

轟然たる音響と共にパッと吹いた火花つゞいて咲いたは團々たる白煙。

五重塔は一面の火炎に包まれた。

「うむ、見事、出來した！」

「しめたっ！」

左近は三藏ともども雀躍りしたが、ヒヨイと氣づけばその炎々たる火に照されて、いままで暗かつた砲臺は眞晝の如く明るい。

「さ、逃げろ！」

「心得たり！」

二人は再び森の奥へと走る。

恰度この時だつた。

「あッ！姐御！」

五三郎は轟然たる音にギヨッとした。

と、五重塔は一面の火……。

「五三郎！」

さすがのお仙は双足ピタリと大地へそくひづけになつた形。

二人は五重塔下へ約一町の森蔭に約束の刻限待つてゐたのだつた。

「何てえことだ」

「五三郎、そ、それよりも左近樣は？」

「あッ、いけねえ、さうだつけ、約束の刻限よりやアちいつと早いが、も、もしや、塔の中へ上りこんででもゐなさつたら」

「は、早く行つて見ておくれ！」

「合點で」

五三郎は炎々と燃える五重塔めざして驅けだした。

と、左近が身代りにならうと云ふ右近、山下に夜明しの店を張る鰻茶屋で、つい好い氣持に盃を重ねてゐたが、怪しい物音と共にドドッと地上をふるはす震動、やがて、

「火、火事だあッ！」

の叫び聲。

ヒヨイと眼をあげると森のかなたが眞赤に燃えたち、金砂子のやうな空に火の粉が渦をまいてゐる。

「亭主、どこだ、火事は？」

「へい、どうやら五重塔あたりで！」

「な、何んと申す？」

右近もギヨッとした。

「ああ五三郎め、してまたお仙とやら、それがしを待ち設けての粗忽火でも出したではあるまいか」

さう考へるとぢつとしては居られない。

滿日勝繼碁戰（勝二回）

第十四回　先二子先番　井上太市氏　瀧田俊介氏

—【14】—

○二〇四は二百一の處劫とる　●二三三は（二一五の處）劫とる　●二六一は（五〇の處粘ぐ）　○二六四ニ九　○二六八ハ九　○二七二リ四

○二三〇は（一六四の處）劫とる　○二四二は（二三九の處）粘ぐ　○二六二ホ十五　●二六三ヲ六　●二六五ワ七　○二六六カ五　●二六七ホ九　●二六九ト九　○二七〇リ五　●二七一リ七　●二七三はカの十一（一六四の處粘ぐ）

二百七十三手終局（井上氏三目勝）

▲清水二段講評　本局は井上氏の強敵に對し瀧田氏先番を以て最初より善戰優勢を持續せられしも黒一九一手に至りて過り卽ち此手を以て一九七に突込み白一九九に粘き黒一九八白一九一黒二六五と打つべし黒一九七の場合に於ては黒尙優勢の局面なるを以て大に一考自重すべきなり尙黒二〇九は見遁ひなりしならんも直に二一〇に約へて差支へなくさへすれば尙幾分黒に殘らん最後に黒二二一は大に輕卒にして或は敗着ならん當然二二一に綽ねざるべからず然る時は此一園の白は活きざる可らざるを以て若くは黒に殘りしやも知る可らず惜ひ哉

キネマと演藝

篠田實一行　顔觸れ　十四日乘り打

浪曲界の花形として人氣の絶頂に立ち「紺屋高尾」のレコードによつて全國的にその名聲を謳はれてゐる篠田實は既報の如く來る十四日入港のうらる丸で乘込み同夜より歌舞伎座に於て開演することゝなり素晴らしい前人氣であるが、一行の顔觸れは壽々木亭馬生、瀧家柳枝をはじめ木村小重補、篠田若實、三桝家一丸、篠田實好、篠田實丸らの若手新進揃ひで期待されてゐる

野球熱に浮された帝國館の連中、おもてヽキヤッチボールをしてゐて▲豆腐ニーヤの頭にぶつゝけてニーヤから「ニイデ盲か」と馬鹿にされ▲憤慨して言ふとがいゝ「向ふ先が見えるやうだつたら野球なんかに初めから手を出さぬ」▲ヤマトホテルのルーフが多分來る廿八日から例年通りに解放されるが、映畫は露人アラケロフ氏が配給する▲ところで亭主の好きな赤烏帽子で連續探偵活劇のやうなものが多いとの事▲大日活の桃色映畫週間は中止されて「日本橋」が「貝殼一平」と組んで二度の右樣

闘種子孃の天女

けふ來連した闘種子孃は闘鑑子夫人の義妹に當り坪内逍遙博士作山田耕作作曲演出の歌劇「霞天女」の主役天女に扮し無名歌手から一躍してその存在を知られた新進のコロラチユラ・ソプラノの歌手である『寫眞は霞天女の一場面』

大連　JQAK

六月十二日午後七時卅分

▲支那語講座第四十五課（滿鐵學務課秩父固太郎

▲講演　探偵小説、甲賀三郎

▲テノール獨唱　（イ）アイ、アイ、アイ、オスマンテレス曲（ロ）出船の港（中山晋平曲）（ハ）土投歌（藤井清水曲）黒田進

▲ソプラノ獨唱　夜鶯（露西亞民謠）アラビエフ曲、オルゲニ編）闘種子、ピアノ君島愛子

▲筑前琵琶「經正」法信山服部旭葩

▲料理獻立　須古旭榮

▲天氣豫報

▲ラヂオ體操

實滿戰と音樂（下）

新井光藏

映畫から音樂の伴奏を除けば何が殘りませう喜怒哀樂の情緒が半減されると申しても敢て過言ではありませぬ。近來伴奏の良否の問題は如上の理由に依る事は明白な事實であります。

茲に映畫を引用したのは單なる例であつて野球とシネマを同一視した譯ではありませぬから大方の御諒解を願つて置きます。

球場に於けるブラスバンド（管樂隊）の勇壯な演奏は試合効果を一層よりよくするものと確信します。球撫水原義雄氏の聲は外野に立つて私の耳にまで氣持よく響いて來る位ですから管樂隊の演奏は必ず成功するものと思ひます。

音樂は單なる纖細な情緒のみを表現する道具であるかの如く一部の人は解釋されますが勿論樂器の種別にも依りますけれども事實は全く反對で管樂隊がそれを證據だてるに充分だと思ひます。

球場における管樂隊（ブラスバンド）の演奏によつて大衆ファンの感覺をクライマックスに到達させて置いて定刻に野球戰が開始されると云つた順序が理想的だと思ふ。そうすれば待つてる二時間にアクビする暇もなく却つて緊張の度を加へ耳と目を樂しませる。聽覺から視覺への轉換として管樂隊の設備が是非なければならぬと思ひます。私は音樂と運動に共通性のあることを痛感する者でありますが百米突の決勝に十秒を爭ふ涙ぐましき精進に同情を表します但し音樂にしても運動にしてもジレッタントの獨りよがりのものは精進の意義を失ひます。

運動と音樂は陽性と陰性、外向的と内向的の差はありますが究極の目的に於て、努力に於ては相等しきものと思ひます。

どうぞ如斯意味に於て音樂とスポーツが相互に理解してもう少し接近させたいと思ふ。コオラスの應援歌なども隨分目先が變つてると思ひます。

先づ差當り帝都に於ても未だ試みざるスポーツと音樂の提携を我が大連に於て實現させたいと考へましたが敢て當事者の御賛同を得ば望外の幸福であります（終）

銀を中心に

前途觀―慘落の影響―等々

本社經濟部主催　錢鈔業者の座談會（三）

出席諸氏

錢鈔信託　伊藤久太郎
取引所　一條勇進
益泰　祥遲子祥
東華錢莊　若月良三
泰記錢莊　柄澤幸男
德泰公司　加藤喜代次郎
爲替仲買　常深隆二
正隆銀行　山本豐吉
爲替仲買　前田囊司
和盛泰錢莊　赤塚彌太郎
三井物産　關口乘
東裕錢莊　首藤定
本社編輯局長　佐藤四郎
經濟部員

若月　支那では銀の課税が出來るものでせうか。
一條　やれないでせう。
關口　やつたら銀はグツト下る。

した制度が出來なければ財産を金にすることは仲々困難である大連は避難場所でよいからとて星ケ浦方面に來て居る何千萬と持つてゐる支那大官連も今ではその財産は半分になつてゐる。
關口　下る銀を金に換へる事は六ケ敷しい、元來他國人から見れば容易でも本國人として見れば自分の國の金を他國の金に換へるのは六ケ敷しいが支那人としても同樣銀を金に換へることは困難でせう。
山本　銀が餘つて來たと云ふ事は

一條　銀の生産の七割はバイプロダクションだから昨年のやうに銅が高ければ銀安の如きは〔…〕ではなかつた、然し今日の〔…〕に銅が安くなれば銅の生産〔…〕限するやうになり、銅の生〔…〕制限すれば銀の生産は少く〔…〕結局銀にとつて好影響を與〔…〕ものだと思ふ。
常深　銀の生産制限如何は問〔…〕はなるまい、要するに銀〔…〕あるからね。
若月　銀の生産制限は世界の〔…〕供給の點から行けば影響するものと思ふ（文責記者）

對滿輸出貿易の増進策請願

大連商工會議所から首相以下關係當局に

全滿商工會議所では過般開催の聯合會の決議に基き對滿輸出貿易促進に關し具體案を作成し關係當局に陳情することになつたが右に關しては豫て關東廳方面においても對滿輸出貿易に對し輸出信用補償制度を實施したき意向あるに鑑み右が實施方につき左の請願書を全滿商議聯合會長村井啓太郎氏の名を以て首相、外務、農林、大藏、拓務、商工の各省及關東長官宛十一日附を以て提出することになつた

對滿輸出貿易増進策に關する件

最近三ケ年平均滿洲輸入貿易額は四億二千萬圓にして内日本品四割弱を占め日本以外の諸外國三割四分弱、支那品二割七分弱に對比すれば一見頗る優勢なるが如きも、日本品中には全然外國品の代替品たる棉花、麻袋の如き〔…〕

製品、機械器具、車輛類、建築材料、電氣器具及材料、化粧用品、紙類等に於て優勢なるも其他の輸入主要品たる綿織絲及綿織物は支那品に對し毛織物

雜織物　鐵道材料煙草、麥粉、染料及塗料、石油、機械油、麻袋、鐵及鋼等に於ては外國品に對し頗る劣勢を示せり、尤も以上の内には原料關係より我國産品の到底優勢を期し難きものありと雖も、毛織物及雜織物等に於ては我國綿織物と等しく國内材料の有無に拘らず我國工業の發達如何によりては外國〔…〕

連鎖商店借入金の低利借換へ計畫

内地銀行方面から

井手滿鐵輸入係主任上京用務

豆粕共通混保近く實現

滿鐵大體承認

輸出入とも激減

貿易狀況は惡化

北滿輸入商四苦八苦

殊に甚しい綿糸布商人

見本市の話

―特に滿洲見本市に就て―（8）

松原梅吉

五、滿洲に於ける見本市エピソード

滿洲にとつては見本市は極めて珍しい催しであつたと同時に一面極めて脅威さるべき事柄でありました。特に二十年來在滿邦商が孜々として販路の開拓に努力し來り誰でも何處でも自分等の手からのみ買はねばならぬ仕組に迄仕立て來た年來の顧客に對して、やれ縣の補助のやれ滿鐵會社の援助のと云ふものに依つて鋼が上にも安い品物をその縄張り圏内にドカ〳〵と持込んで當り構はず賣り散らさ〔れ〕ることは、在滿邦商をして甚だしくその立場を窮地に陷れるのみならず、甚だしきに至つては、見本市の名によつて一見持越ストツクの賣逃げ口を滿洲に求めて來たと見らるゝ如きものもあつたり、又節制なき見本市團が華商と商談をなすに方つて、單に契約高の多からんことをのみ汲々とし、華商の通有性とも稱すべき品質無視の廉價主義に乘ぜられ、品位不良の商品を契約し、毫も將來を顧みない如きもの等もあつて、累を日滿貿易の將來に及ぼすと懸念されたのも一應當然の事柄であつたのです。

◇

そこで開催地の商人にとつて何とかこれが改善又は阻止の策を講じ自己並日滿貿易の擁護を〔…〕ばねばならなくなりました。

一、は茲で自ら二つに岐れました。
〔…〕から全廢せよとするもの
二、見本市開催は大勢の然るものなるが故に、全廢〔…〕困難であるから、寧ろその方法を考究せよとするもの
〔…〕であつて、後者の内容として之れを要約すれば全廢說と〔…〕

一、取引は一切在滿邦商を經由せよとするもの
二、見本市を開催し、華商〔…〕するも取引は凡て在滿邦商を經て行へとするもの
三、邦、華商に對し展示會〔…〕方法を二樣にせよとするもの
四、見本市開催は在滿邦商〔…〕して行へとするもの

市況

特産　仕手關係で高粱軟調

錢鈔　銀塊高下り鈔票暴落

株式　當市弱保合　内地株軟弱

市場電報（十一日）

上海爲替情報

爲替相場（十一日正午）

奧地市況（十一日前場）

錢信增證返濟

滿洲日報

井上英語講義錄

先づ英語を！

井上十吉先生御執筆
門下拾五教授御指導

ABC(エイ ビー スイー)の讀方より開講

英語を知らぬ許りに、あたら有爲の青年が機會も得ずに老いて行く。英語を知る事は既に常識であり、實力時代での有力な武器だ！刻下の緊縮が飛躍への絶好準備期である事を知る人は先づ英語を學べ！講師は第一流添削回答は親切迅速必ず英語が物になる一日二時間小學卒業の學力で充分。先づ見本を請求して英語獨學の容易なるを知り給へ。

七月新學期 學生募集

講義別册附錄
(1) 英和小辭典 全六冊
(2) 英文復習帖 全六冊
(3) 英習字手本 全一冊
(4) 特許 英習字帖 全一冊
(5) 雜誌 イングリシュ 月一回

校則見本進呈

東京麴町富士見町四丁目
井上通信英語學校
振替 東京 三〇二八番

新學期開始

支那語速成講座

主幹 飯河道雄先生 全卷責任執筆
北平 馬冠標先生 校閲

内容見本贈呈

第六回會員募集

(講座科目)
△學習法 △發音法 △官話急就篇 △單語記憶法繪畫式會話 △家庭會話 △交際會話
△商業會話 △日語華譯法 △初等日本語華譯法 △時文入門 △民國時文華選 △民國普通尺牘 △民國商業尺牘

會費一ヶ月金一圓(送料四錢)
會費三ヶ月金二圓八十錢(送料十二錢)
會費六ヶ月金五圓五十錢(送料廿四錢)
(六ヶ月完了)

支那語速成講座合本
總クロース金文字入・實費金六圓・送料(大連市内拾貳錢・關東州及滿鐵附屬地内金貳拾七錢・其他金六拾錢)

申込及配本處
大連市春日町六一(振替大連四三六一番) 東方文化會
大連市浪速町(振替大連五五) 大阪屋號書店
大連市連鎖商店街(振替大連二一二七) 大阪屋號分店
其他滿洲各地書店

萬年筆 ウオーターマン
直輸入 アメリカントランプ

大連市大山通り浪速町角
滿書堂文具店
電話四・四九〇三・六番

看板はホーローで…

色彩ホーロー看板
金屬製高級看板
七宝入メタル
ホーロー製門標
鉄道沿線看板
各種宣傳用品

支店 東京市芝區愛宕町三ノ三八 電話芝一七三五番
出張所 名古屋・久留米・京城

大阪住吉区阿倍野筋四へ
木山標記本店

モータリスト熱望の總てを完備せる

一九三〇年式 ハーレーダビッドソン

大型は各車輪着脱式共通に中型、小型は堅牢無比に數多き其の新改良は驚異的のスピードと共にハーレーダビッドソンの眞價をより高める事と存じます。

一九三〇年式

一二〇〇c.c. ツキン	VS型
七五〇c.c. ツキン	D型
五〇〇c.c. シングル	C型
三五〇c.c. シングル	B型
一人乘サイドカー	LJ及LS型
二人乘サイドカー	QT型
貨物用中型シャーシー	MC型
貨物用大型シャーシー	MWC型

型録贈呈
部分品豊富
親切なるサービス

御申込次第實物供覧の上御説明申上ます
御要乘家各位の御來店を歡迎申上ます

東洋總代理店
ハーレーダビッドソンモーターサイクル販賣所
東京・赤坂區溜池町十二
大阪・北區上福島町南一丁目
大連・紀伊町四十二
福岡・福岡市下小山町

良き品を安く賣る店
確實なる正札附
シシユウ表丁寧に仕立ます

イワキ町
電4917
三福屋履物店

瑞西製

ジユラツシア
各種蓄音器
十ヶ月々賦販賣

實演其儘と器械の完全なる
ジユラッシア蓄音器

一、形狀外觀は最美麗に室内裝飾品としても美術的價値充分なり
一、ホーン裝置は理的研究の粹を集めたるものなれば完全に明快なる肉聲を發音し聽者をして恍惚境に遊ばしむることは從來の所謂高級蓄音器の比に非ず
一、「サウンドボックス」は本社の最も苦心の上工夫を凝したる所なれば如何なる高低音にも雜音の混入し來る憂れ絶對になし
一、「モーター」「ウオームギヤー」の裝置を最も精巧にして堅牢無比、回轉音、擦音、雜音等一切なし
一、原理と實際との研究の極を盡して從來の蓄音器の有せる缺點を全部改良し得て終に本品の如き世界無比の逸品を製作するに至れるものにて斯界の革命的進歩と稱すべく之れ實に本社の誇りとする所なり

連鎖中込所
連鎖商店街 榮商會
沙河口 葛治洋行
旅順 榮商會支店
瓦房店 スター樂器店
鞍山 金光堂支店
遼陽 金光堂本店
本溪湖 弘文堂支店
撫順 石原時計店
同 高久商會
[illegible] 能文堂書店
[illegible] ツルタ蓄音器
奉天 市川樂器店
大石橋 信昌洋行
奉天 ミクニヤ樂器店
鐵嶺 山崎商會
同 上枝時計店
開原 甲原成美堂
四平街 東澤商行
同 中川洋行
公主嶺 小久保商行
長春 金泰洋行
同 同仁洋行
[illegible] 平本洋行
安東 [illegible]

大連市浪速町伊勢町角
榮商會本店
電話八三九〇番

建築・設計・監督
構造・計算・鑑定

宗像建築事務所
工學士 宗像主一

大連市連鎖商店街廣小路
電話三四九五番

登録 亞鉛引平板

商標 亞鉛引浪板

地球獅子牌

TY

株式會社 大信洋行

本店 大連市監部通四十九番地

營業課目
鐵材、鋼板、管、棒、コ・I・L異型
銅眞鍮、板、棒、管、線、燐銅
亞鉛引針金、平浪板、釘、鉄力板
建築材料及耐火煉瓦
錫、鉛、亞鉛、ニッケル、アンチモニー、ハビットメタル
電信、電話用機械及各種材料

支店出張所
奉天 大西邊門外路南
哈爾賓 道裡新城大街
長春 城内東三道街
錦縣 城内東街
天津 日本租界桃山町
大阪市 南區安堂寺橋通三丁目

品質本位の地球獅子牌亞鉛引平浪板

大理石の御用は

南滿大理石工場
内田石材店大理石部へ

工場電九九三〇・自宅電七七四〇番

國産乳菓 カルケット

おいしい・じようのお菓子

梅雨ー來る
季節の變り目は胃腸を害ひ易い時であります。本品は特に胃腸を整調し而かも元氣旺盛、血色の良くなるはカルシウムの善用配劑に依る……故に此時十分滋養に富み而かもおいしい……カルケットをお與へ下さいお母樣やお父樣もお用ひ下さいヨリ健康を增進する爲めに……

本品は特に〔愛兒のおみやげに 妊婦の方のお見舞に 虚弱の方は身体強健に〕

一粒一粒にカルケットさ入れてあります

東京 大阪 中央製菓株式會社

脚氣に オリザニン

ヴィタミンBの世界的始祖

脚氣に對するオリザニンの效果は既に決定的事實なり

オリザニンは脚氣の外 (1) 重病經過中に來る榮養障碍及其浮腫の治療と豫防に (2) 人工榮養兒、特に煉乳、穀粉榮養兒榮養障碍の治療と豫防に (3) 姙婦の榮養を助け惡阻を輕減若くは防止し便秘を去るに極めて適切なるを知らる

粉末、錠劑、液劑、越幾斯劑、注射劑の各種あり
類似品多數ありオリザニンと指定を要す
(實驗報告集進呈)

三共の藥品

東京室町 三共株式會社
大連市山縣通一九三 大賣捌三共藥品販賣株式會社

最新刊

大久保道舟著 道元禪師全集 實價五圓廿五錢送料廿七錢
小林行昌著 關税と物價 實價二圓六十二錢送料廿七錢
清原貞雄著 日本道德史 實價五圓七十七錢送料廿七錢
小堺宇市著 圖畫の鑑賞 教育 實價二圓四十一錢送料十四錢
吉井勇著 鸚鵡杯 實價二圓十錢送料十錢
布施勝治著 支那國民革命と馮玉祥 實價二圓十一錢送料十錢
大町桂月著 新選大町桂月集 實價一圓五錢送料六錢
與謝野晶子著 滿蒙遊記 實價二圓十錢送料十錢
福戸信著 野球通
飯田素之助著 新しい野球の實戰と見方 實價七十三錢送料六錢
横井春野著 野球通になるまで 實價一圓卅六錢送料六錢
三省堂編輯所編 代數學問題解方と基本化 實價七十三錢送料四錢
相馬御風著 良寛さま 實價一圓四十七錢送料六錢
荻原井泉水著 旅の茶話 實價一圓五十七錢送料八錢
博文館編 古今怪異百物語 實價一圓卅六錢送料六錢
三省堂編 人體解剖圖 實價二圓五十七錢送料十錢
英語通信社著 昭和五年度高校專校英語問題詳解 實價三十五錢送料二錢

大連市浪速町 大阪屋號書店

最新刊

フイツシャー著山本米治譯 貨幣錯覺 實價一圓五十七錢送料八錢
青野秀吉以下十五名著 マルクス主義講座 十八
ミンテルン編田畑三四郎譯 政治の基礎知識 實價一圓五錢送料六錢
拓植芳男譯 生活最小限住宅 實價二圓十錢送料十錢
中外商業新報社著 經濟國難の打開途 實價一圓五十七錢送料八錢
小栗捨藏著 無機化學工業 實價三圓二十六錢送料十四錢
岡田播陽著 大衆經 實價一圓三十六錢送料八錢
ダニエル、アレヴイ著生田長江譯 ニイチエ傳 實價二圓九十四錢送料十八錢
佐々木邦著 主權妻權 實價二圓三十一錢送料十二錢
笠間果雄著 ドストイエフスキイ書簡集 實價一圓五十七錢送料八錢
竹田津六二著 安全確保の實際 實價一圓二十六錢送料八錢
倉田百三著 驅以上 實價二圓十錢送料十錢
平田晋策著 軍縮の不安と太平洋戰爭 實價九十四錢送料六錢
村田孜郎著 次の戰爭 實價一圓五錢送料六錢
佐野學著 唯物論と無神論 實價一圓三十七錢送料八錢
前田河廣一郎著 評論集十年間 實價一圓八十九錢送料十錢
朝日新聞社編 國際廣告選集 實價二圓十錢送料十錢

大連市大山通 滿書堂書籍部

滿日地方版

奉天

死傷者の費用負擔方法を變更 簡捷方を鐵道事務所で新たに制定した

從來奉天鐵道事務所では管内における死傷事故突發に際しその都度現狀において詮議の上費用負擔額を決定してゐた鐵道事務所其他に多大の不便があるので特別の場合を除く外直接關係において大體左の規定により處理する事となつた

▲死傷事故處置擔當 は停車場構内は驛長、機關區構内は機關區長檢車區構内は檢車區長、停車場構外線路における事故は保線區長、運轉中の列車内に發生したる事故は車掌の依頼を受けたる驛長、その他の場合は直接關係ある驛區長とす、但し急速處理を要する場合は之に拘泥せず臨機應變の處理を採ること

▲事故發生の場合 は應急處理を講ずると共に遲滯なく司令者に通報し、別に定むる報告書を提出すること(詳細省略)

▲前記に依る應急處置料 は會社にて負擔するも爾後の治療費その他費用は本人又は遺族に負擔せしむるものとす、但し本人及び遺族に於て負擔資力なく又死體の引取人なきものは左記規定により取扱ふこと

(一)負傷の場合 (イ)入院治療を要するものにて本人及び家族に治療費の支拂資力なく事情已むを得ざるものと認むるものは退院までの諸費用を會社に於て負擔す(ロ)通院程度のものは應急處置料以外は本人に於て負擔せしめること

(二)死亡の場合 (イ)引取人なく又は引取人あるも引渡迄に相當日時を要するため一時假埋葬を要する場合は現場が共同墓地を有せざる中間驛所なる時その管轄地方事務所管内に於て共同墓地を有する最寄驛まで運搬し之が費用は鐵道部負擔としその後の假埋葬迄の費用は地方部負擔とす

奉天滿俱大勝す 長春軍との野球試合

奉天滿俱對長春の野球戰は十日午後四時から當地新公園グラウンドにおいて武居(球)室井(壘)兩審判の下に奉天先攻で開始された この日野球日和に惠まれ且つ大に期待されてゐた試合の事とて觀衆スタンドを埋めた

先づ奉天は第一回に二點二回に三點得たるに對し長春は四回に二點取り返したが、奉天は更に二點を入れ長春は最後の五分間まで力戰したが及ばず遂に七對二で奉天滿俱が大勝した、閉戰午後六時十分尚當日のメムバーとスコアーは左の如し

	選手	守備
奉天	松香水近沖吉柳油原 本川原藤 木原谷田	173269185
長春	鱒田上野田川徳戶香 小杉川小久中高藤淺(保)	693472158

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
奉天	2	3	0	0	1	1	0	0	0	7
長春	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2

選擧問題解決 披露晩餐會 盛大に催さる

紛糾を續けてゐた奉天附屬地中華商務會の役員選擧問題は日支各方面の調停奔走に依り圓滿に原選擧通り會長以下の就任を見るに至つたので、その披露の意味で會長王維周氏以下副會長、議員一同は十日午後四時から平安通り同會樓上に日支兩方面の有力者、關係約百名を招待し盛大なる晩餐會を催し王會長の挨拶に對し支那側城内商務會長金哲忱氏、日本側は三谷商工會議所副會頭夫々日支商界の提攜を力說する意味の激勵的答辭があつて、盛況裡に六時頃散會した

傳染病豫防 活動寫眞大會

奉天警察署並に地方事務所では左の如く傳染病豫防宣傳活動寫眞會を公開、多數來觀を歡迎すると、入場無料

一、日時及び場所 六月十四日午後七時半から春日小學校講堂にて、同十五日午後七時半から彌生小學校講堂に於て

二、プログラム 人類の敵(四卷) 己を衛れ(三卷) 最後の勝利者(三卷) 餘興として喜劇(數卷)

町の便り

奉天[illegible]會では前副會長佐藤[illegible]氏の補缺選擧を七月十日頃施行する由

◇

滿洲醫大夏季乘馬部では夏季休暇を利用し七月一日から十日間公主嶺聯隊に於て合宿を行ふと

◇

銀安の影響は各方面に及ぼしてゐるが魚菜市場も來客が從來の三分の一に減じ最近の魚菜類は多季に比し約半値となり且つ品物が豐富にあると

人事

▲大阪府參事會員一行十一名 十六日來奉十八日撫順往復同夜赴連

▲遼陽商業實習所北滿旅行團第一班十四名 十日過奉北寧線にて大虎山へ

▲同上第二班十二名 十二日過奉北行廿一日瀋海線にて過奉歸校

四平街

兒童專用の分も設け プール開き廿二日 ▲…今年は水泳に力を入れる

四平街に於ける夏季唯一の娛樂たる水泳プールは本年は現在プールの南側に新たに兒童專用のプールを設備するので現在のプールは沈床が取除かれ大河童連も縱橫に游泳が出來ることゝなつた、尚兒童專用のプールは十米突平方深さ二尺位で今月下旬までには全部竣成を見るべしと、而して體育協會水泳部委員は此の機會に優秀なる選手を練り上げ本年奉天に開催の州外競泳大會に參加せしむる意氣込であると、水泳場本年の行事は

六月二十二日 プール開き
七月下旬 州外大會派遣選手の豫選
九月上旬 プール納會

である、尚大河童の重なる顏觸れは稻田兄弟、浦上、鹿子木、水上田上、神谷の諸君であるが、本年は稻田講師を聘し短期講習會を開き一般希望者に游泳術水泳の理論を教授する筈であると

遼陽

民會委員改選 廿六日擧行

遼陽居留民會では廿八日行政委員六名の改選投票をなすと

撫順

職制改革の嵐を前に おちおち仕事も手に付かぬ 炭礦の課長さんや所長さん 頭株は協議!協議!

今明日中に發表されるであらう職制改革の大嵐を前に炭礦では異常な緊張裡に連日協議が續けられてゐる、まづ八日歸任した山西炭礦長は月曜の九日早朝各課所長を中央事務所に集め極秘裡に退社時三時のサイレンが鳴るのも餘所に大頭株礦長、次長その他は會議室で午後六時まで鳩首協議を續け、十日午前も協議が續行したがその間極秘と銘打つた書類が頻々と列車便で發送される、誰がどうなるかその程度範圍も未知數だが、ある程度の異動があるだけは確實である今や撫順炭礦課所長連も職制改革とそれに伴ふ人事異動を前にして何事も手が附かない狀態である、

長春

寢た間も止まらぬ「時」の歩みに心せよ

長春に於ける時の記念日は大々的に擧行されたが最も呼物であつたのは教化聯盟の懸賞時刻投票であつた、午後四時からは教化聯盟役員、健兒團員新聞記者は地事前に參集し自動車をつらねて市中を行進し宣傳ビラを撒布した

四平街

四平街常盤高等小學校では十日「時」の記念日に際し向ふ一週間を「時の週間」として左の行事、(一)以下を行ふことに決定した 尚十日は左の如き催し物があつた

一、講演會 賀田、進士兩訓導
イ、學校を中心として主要各地までのタイムと距離實測を兒童になさしむ(南北鐵橋、守備隊、四郵局、水源地、驛等)
ロ、市中通行の日本人の時計調べは專ら高等科兒童が正午より午後一時までこれに當る
二、各家庭から學校までに要する時間測量
三、各學級にて時計を正すこと
四、兒童の登校時(八時)下校時(四時)を嚴守させること
五、時計の發達圖表製作揭示
六、世界の時差に關する調査
七、なほ此の外各學級にて計畫實行のこと、因に學校では父兄がこの意味を含んで充分援助されんことを希望してゐる

開原

開原小學校にては十日時の記念日に際し各學級兒童の「時」に關する創作ポスターを講堂に揭げ又午前八時より「時」に關する談話會を催し

尋二北村「一分でも大切にしませう」尋三山崎「三郎の話」同土井「花子の話」同草刈「寸秒をおしめ」同井上「大連のかへり」尋四奈良「時計の出來るまで」同松尾「失敗談」同重光「時の記念日」尋五奧津「ドンキチサンの失敗」尋六津田「時計の歷史」同山崎「時計の話」高一高橋「時計の使ひ方の注意」高二高橋「日時計の使ひ方」高二金「時計の發達」

と題して各自の研究の發表をなした

鐵嶺

鐵嶺における「時の記念日」は經濟聯絡委員會が主催となり市中各所を約六十名で宣傳ポスターを配付し宣傳小旗多數を作製し小學兒童に依頼して各戶に配付、一方各時計商は各々趣好を凝らして宣傳に努め地方事務所はサイレンを機關區や兵器部では汽笛を正十二時を期して一齊に鳴らして正確な時を知らせ、夜九時には電燈局で一瞬消燈で報時するなどかなり徹底した宣傳方法であつた、尚

小學校で は兒童の力作に成るポスターを陳列して一般に公開し講堂では「時」に關する講演あり登校の際は玄關正面に大時計を備へて兒童が家を出てから學校に到るまでの所要時間を測定せしむるなど記念日にふさはしい試みであつた

奉天

十日「時の記念日」當日の奉天では午後一時市内巡行自動隊を組織し三臺の自動車に時の宣傳裝飾をなし樂隊、宣傳隊等乘組オートバイを先頭に奉天署前を出發富士町を始め附屬地、十間房、小西邊門外の各町を巡行し三時頃引返し附屬地要所要所には襷をかけた少年團徽章を附せる女學生等が一々通行人の

時計を正 し宣傳ビラを配布し午前六時、九時、正午、午後三時、六時の五回に亘りモーターサイレンを鳴らし正確なる時を報じ殊に正午は寺院の鐘撞機關區各工場の汽笛まで鳴らして正しい時の宣傳を行ひその他各學校では時に關する講演會を開き且つ各兒童に宣傳ビラを家庭に持ち歸らしめ市内營業の馬車洋車にも車體に宣傳旗を樹てしめて宣傳につとめ大いに當日を意義あらしめた

大石橋

公會堂で大廉賣 十五、十六の兩日 主催は輸組

大石橋の輸入組合は過日滿鐵俱樂部において總會を開き百貨大廉賣其他を協議したが愈々來る十五、十六の兩日間大石橋公會堂において各商店聯合して大賣出しをする事に決定した

雨?、風?その嵐は今日か、明日か、無氣味な靜けさが今や全滿礦を包んでゐる

婚禮の席に六人組强盜 花嫁も丸裸

舊揚柏堡居住薛慶和([illegible])の長男慶信([illegible])は隣部落の桂氏([illegible])と婚約成り附近の馬長超([illegible])邊讓泉([illegible])その他數名を招待し九日午後八時半頃祝宴を開かんとする際突如六人組强盜侵入しブローニング拳銃を突きつけ花婿、花嫁客人悉くを縛りあげ花嫁の衣裳指輪腕輪、その他現大洋九十圓を强奪有合せの肴を鷲掴みで燗酒をへべれけになる程飲み何處ともなく消へ失せた急報と共に倉田司法主任以下出動したるも遂に何等の手掛りがなかつた

そゞろ涙を誘ふ鮮人生活の慘狀 金融と教育との設備が急務 寺田警察署長視察談

在滿鮮農の生活狀態を具さに視察し彼等の救濟根本策樹立のためと歷史的に天然痘になやまされたる彼等に種痘奬勵のため撫順背後地に向ひたる寺田署長一行

十餘名 は七日午前十一時歸撫したが語る

小甲邦、心太和、前甸子、大道上、小柳河子、鮑家屯、馬牛小子等を隈なく踏査して來た、雨はあるが小甲邦、心太和等は用水全く涸れ水田耕作以外に生きる道のない農民は全く生色ない狀態である、その他の地方は渾河本流から灌漑し得るのでまあ全耕地の三分二位播種だけは出來た、但し彼等の

收穫 の中分は地主にとられ且つ農業資金がないため中國地主連から年七割と云ふ高率の金を借りてゐる結果、豐作の年ですら僅に命をつなぐのみで中國地主の肥料となりつゝある、本年の如き播種絶好期に旱魃に禍されたのでは慘狀は實に甚だしい、金融機關の設置の急を痛感した、次に同地方一帶初等教育機關がなつてゐない、鮑家屯に五間に二間の土でこねあげた

學校 と名のつくもの、それが同地方唯一の教育機關で二里三里の山道を越して通學してゐた、先生はたつた二人校内には生徒の腰掛も机もない中央にうす汚い幕をぶらさげて區別してあるだけで、圖書や習字までも机なしである、體育上の設備などはあらう筈がない、涙なしに見能はなかつた、金融機關に次いでは教育機關の設備急だ、天然痘には惱まされた鮮人だけに種痘の成績は非常に良好で二十を越した者まで押掛て來ると云ふ狀態で聊か面喰つた

郵便局業績 五月中の

開原郵便局五月中事業成績左の如し

‖郵便‖

種別		
通常	引受	五一〇三一通
	配達	五七八四八
小包	引受	二九六個
	配達	一四四六

‖爲替貯金‖

種別		件數	金額
爲替	取組	八二〇件	一三八〇圓
	拂渡	三三五	四八三二
貯金	預入	一〇三五	一六八八
	拂戻	三三一	一六六九
振替	拂込	八六	一九四四
	拂渡	二一	一七〇八

‖保險年金‖

保險年金 一件 四四三圓九〇

吉林

邦人經營の四社 華工賃銀値上 至極平穩に解決した

吉林に於ける邦人經營の吉林製材公司、興榮會社、吉林燐寸及び製軸會社の支那人職工等は何れも舊端午節句明け相前後して吉林官帖慘落に依る生活困難を理由に賃銀値上げ方を要求し、各會社側でも既に考慮中の際であり製材公司では恰も定期昇給の時期に達して居たことゝて官帖建の者に限り約二割方增給を行つた、興業會社では將來に惡例を殘すことを懼れ「職工が値上げ要求は斷じて許容する事は出來ぬ、不服ならさつさと出て行つて貰ひたい」と峻拒したが平穩なので更めて同社から金票支拂の者を除く全員に二割方値上げを申渡した、尚吉林燐寸會社は燐寸部は約一割方、製軸の製材部約二割方增給するごとに決定した模樣で各工場とも圓滿に解決を告げた、因に今次の値上げ要求の背後に思想團體の有無は可成注目されたが内査の結果斯かる黑幕の伏在は認められぬとのことである

四十名の馬賊團 拉溪鎭を蹂躪す 駐防保衛隊は全滅し 掠奪を擅にし人質を拉去す

現下樹木繁茂期に入り馬賊團の跳梁季節となつたが、去る五日吉林縣第五區一拉溪鎭(省城を距る西方九十支里)は四十餘名より成る頭目不詳の馬賊團の襲擊を被り同地駐防保衛隊長侯金山は部下十數名を指揮して約一時餘に亘り賊團と奮戰したが副隊長外一名戰死した他隊兵は殆ど全部重輕傷を被りたる上銃器十餘挺を賊に奪取されて全滅となり市街は賊團に蹂躪され目星い物は全部掠奪され且つ多數の人質を拉去されたと

大會を擧行し同時に役員の選擧を行つた結果左の諸氏當選した

▲執行委員(十三名) 田翰卿、孫甫治、劉性存、梁榮卿、謝相民、石子岩、李輯五、…名選、採濟川、徐[illegible]明、曹純一、劉雪豐

▲監察委員(七名) 單孟傳、李鴻勳、[illegible]堂、張廷選、趙子安、戚庚酉、才景州

▲常務委員(三名) 劉性存、梁榮卿、孟名遠

吉同鐵道は吉海線の延長に

吉林省政府側の消息に依れば、吉同鐵路の起工は明かであるが、建設費並び諸經費の節約並びに竣工後の連絡等の點より吉海線の延長として工程局諸機具の使用、人事關係等悉く共通の者たらしめんとする意嚮であるから起工前にこれが實現を見るやも知れずと

馬賊海龍逮捕

昨年來吉林縣内を極度に騷がした馬賊頭目名「海龍」事本名邵乘二は此の數ヶ月全然消息を絶つてゐた處、最近吉林省の東北密山縣某處に現はれたとの確報を得た吉林縣公安局長關榮森氏は早速于巡官以下六名を密山縣に急派したが逮捕の上六日十七時着吉長列車にて護送して吉林に歸着した

人事

▲奉天普通學校長桑畑忍 鐵嶺普通學校長大西菊治 安東普通學校訓導毛總藏の三氏は六日吉海線經由來吉、一泊の上七日敦化へ赴き八日吉林に引返し同日長春に向へり

樺皮廠

樺皮廠の商務會 創立さる

長春沿線の樺皮廠は商工業の發展に伴ひ商務會を設置するの必要に迫り、過般吉林省政府農礦廳を經由し國民政府工商部に向つて商務會設置許可を申請中であつたが、此程許可の指令に接したので本月四日同地商會籌備處において成立

開原

第二廣場に夜店を開く 十五六日頃から

去る二日からの開原大街の夜店に引續き第二廣場においても來る十五六日頃より賑はしく夜店を開く事となつたと

佐竹地委議長出張

佐竹地方委員議長は十日第十四列車にて旅大方面へ出張せるが十五日頃歸開の豫定であると

藥局を襲つた强盜逮捕

既報朝陽街開原藥局青木吾郎方を襲つた賊は支那刀、青木氏は日本刀を以て渡り合ひ妻女が派出所に驅け付けたゝめ逃走せるが破壞した窓硝子に血痕の附着し居るを手懸りに搜査の結果十日午前八時小孫家臺に潛伏せるを逮捕した同人は藏洲([illegible])と稱し餘罪ある見込にて目下嚴重取調中であると

長春

哈大洋の上場 いよいよ明日より

來る十三日から長春取引所に於て哈大洋の上場を開始することは既報したが哈大洋の長春方面に於ける流通高は約三百萬元であるが、官帖の暴落甚だしきために特產資金としては漸次哈大洋に乘り替へる傾向があり年々その需要は增大しつゝあるから、該貨の上場が北滿經濟界に及ぼす影響は甚大であらう

奉天へ遠征 野球選手一行

全長春野球選手は本年第一回の遠征を奉天に試みることゝなり十日朝急行で同地に向つた、試合は同日午後三時から

交通取締施行 自動車運轉手試驗

長春警察署は十一日全市に亘つて一齊に交通取締を行つた

來る十六日長春警察署に於て自動車運轉手試驗を施行するが受驗者は日本人(四平街)一名、露支人十名だと

鐵嶺

小學校の兒童連が あす陸上競技 午後零時半から校庭で擧行

鐵嶺小學校體育部では明十三日午後零時半より校庭に於て各學級對校の陸上競技會を催す由競技種目は

▲男子部 百米、二百米リレーレース、砲丸投、走巾跳、正確スポンジボール投

▲女子部 五十米、百米、走巾跳立巾跳、籠球投、リレー

なほ下級生と上級生との均衡を保つため競技にハンヂキャップを附し砲丸は高等科八ポンド、尋六は六ポンド、尋四は五ポンドを使用し正確スポンジは年齡により差を附し十歲十米、十一歲十一米以上これに准ずと

魏少將の追悼法要 廿二日龍首山で

露支紛爭事件で北滿に戰死したる鐵嶺出身東北陸軍第十五旅長少將魏長林氏の遺骨は四月下旬鐵嶺に到着し追悼法要は奉天要路者の都合により延期を重ねてゐたが愈々來る二十二日に龍首山で盛大に執行するに決定したる由、祭場たる數島町揚公館附近には特に大廈を建設中である

不逞鮮人團と三家子で交戰

開原縣下より來れる一鮮農の談によると、去る三日開原縣下柴河溝附近三家子において同地不逞鮮人團第四支會幹事尹大英及び腰堡警備分隊長金基元外三名より成る不逞團は同地支那公安隊と衝突し彼我銃火を交へた結果、不逞團の一人は腕に銃創を受け目下三家子の民家に潛み私かに加療中であると

鐵嶺漫筆

世の中が不景氣になると普通の事をしてゐては鼻の下が干上つて了ふ▲巧に人の弱點好奇心をそゝつて儲けようといふ氣になるらしい▲此戰法は料理屋が一番應用し易いと見え旺に抱妓共を轉換させる▲そして新妓が來る〳〵と宣傳する新物喰の好きな鐵嶺の粹樣連▲そら來たやれ行けと千客萬來押すな〳〵の大盛況全くの不景氣知らず其代り少し古くなると鼻汁もヒツかけて貰へない▲萬安の掌櫃も今度こそは鐵嶺の粹樣を呀と言はせるやうな尤物を召抱へて來るぞとばかり目下名古屋附近を一生懸命に驅ずり廻つてるさうな▲粹樣連巾幟かしお待遠しい事で御座んせう▲由良之助では由良治が廢業して以來缺員の儘であつたが今度鐵嶺ホテルのかるた拍子が其後任と決定オンドル房子から壘樂房子へ榮轉とある▲同家の歌平君は九日廢業と同時に特急で內地へ行つた

安東

新設プール開き 來月一日擧行の豫定

水源地滿鐵プールは工事を急いでゐるが來る二十日には全部手入れ成り來月一日より開設の豫定となつた、尙本年滿鐵社會係では鴨綠江を利用してボート部を新設したき意嚮を持つてゐるが經費の都合上市民の後援無き限りは當分實現は困難と見られてゐる

驅逐艦疾風 十二、十三兩日 新義州に碇泊

鎭海要港部所屬驅逐艦「疾風」は西鮮沿海警備のため九日鎭海を發し十二日午前十一時新義州港に入港の筈であるが十三、十四兩日間當地に碇泊し、十五日午前十一時出航鎭南浦に向ふべく碇泊中は例に依つて一般の艦內見學を許す事となつてゐる、尙同艦の艦長は津田源助少佐で乘組員は百五十餘名である

六道溝防水堤と下水道工事 年內に完成

滿鐵安東區の本年度土木工事として決定した六道溝の防水堤增築及び下水道の敷設は目下工事を急いでゐるが、築堤工事は約十萬圓で八月頃までに完成、下水道工事は幹線の南三條通りを目下工事中で本年度內に大體の幹線だけを終る豫定であると

中森氏子總代辭任

大和橋通氏子總代中森重吉氏は今回家事の都合に依り氏子總代を辭任する事となり八日氏子總代長宛辭表を提出した

勤勞共濟會の塾と夜學校 增築して擴張

安東勞働共濟會は李東奭氏を會長として大道溝及び夜學校を設け安東普通學校に收容し得ぬ兒童並びに貧困で入學し得ぬ兒童を教育しつゝあるが本年に入つて入塾數が增加し教室の狹隘を感じて來たので校舍を增築し塾の二學級を三學級に且つ五年制度を六年制度に改め女教員も一名增員した此の塾及び夜學校には滿鐵及び總督府より夫々補助金を受けてゐたが不足を生じるので、李會長は塾の女教員の給料と補助金增加方を七日地方事務所を通して滿鐵總裁に宛申請した

靜岡視察團 十五日安義視察

靜岡運輸事務所主催百七十七名の視察團は十五日朝臨時列車にて來安直ちに新義州に到り營林署製材所を視察し稅關波止場より乘船し鐵橋の開橋、江岸上陸馬車にて六道溝を經て製紙會社より鎭江山市中視察、安東劇場にて由良之助連の手踊りを見物し同日十七時五十分發列車にて出發の筈である

匪賊潛入の虛報

横行期に入り嚴重警戒中の折柄、八日午前九時頃新義州府內に匪賊潛入の報に接した新義州署では田中署長を始め多數の署員が自動車で出動したが全然虛報である事判明一同は引揚げたが一時は却々の騷ぎであつた

哈爾賓

老若共に跳躍 在留邦人を總動員し 野遊陸上大運動會盛況を極む

在哈邦人第十回野遊陸上大運動會は八日午前十時半から開會各區選手は團長を先登に入場、君が代吹奏裡に軍司會長飯倉副會長鈴木審判長各委員出席國旗の揭揚式あり萬歲を三唱し軍司會長から各區選手に對して責任レースに關する規則を說明し一場の挨拶を述べ第三區白組より優勝旗を先頭に場を一周し返還式を行ひ、若草萌ゆる

廣茫たる 平原組のグラウンドにて豫定の如く競技のコースを開始し午後六時半雷鳴土砂降りのうちに樂しい一日の終幕を告げたが、責任レース其他主なるものゝ優勝は左の如くであつた

各區	一百	八百	千リレー	計
紫	三點	〇點	五點	八
青	〇	一	一	二
白	〇	三	三	六
赤	一	〇	〇	一
黃	二	二	七	一一

新市街黃組の優勝となり、役員責任リレーは青の勝、綱引優勝旗戰は白、黃、赤と青、紫の對抗に白對青となり

二寸の差 で白勝千五百米は吉田、石川、山之內の順位で入勝、當日の責任レース中八百米に白軍の小林君が二分廿四秒五の二で青と黃の兩選手と肉薄し決勝點前十四米突にて見事五米突の差をもつてゴールに入つたのと、リレーは黃軍三旬に亘る猛練習に斷然他を壓したことは敵味方共に賞讚した、領事館、記者、教師、醫師の各團體八百リレーは醫師會棄權し一着教師、二着領事館で記者團惜敗した

金庫破の二人組 ＝番人に逮捕さる＝

九日ロシア祭日で休んでゐたチユーリン商會に二名のロシア人强盜潛入し數萬圓在中の金庫を電氣仕掛けで開かんとせるを番人が發見逮捕したが、一名はゴンチヤロフといふ最近まで同商會にゐたもの他の一名はソウエートから來たピリエコフといふものであること判明した

松江餘滴

スタイナハ博士の第二世?ウオロノーフ博士の若返法が博士の來哈で芽を出してハルビンの大騷動▲ウ博士は人間は某所を切開すれば百年餘りは生きられるものだとメートルを上げて東支俱樂部・醫科學校で講演してゐる▲宣傳のお先棒でもないのだらうがルーボルは三日に渡つて全紙をウ博士の記事でうづめ▲ザ

濱江雜俎

[illegible]リヤ飾も腿付けてはやらせ嫌ひしてゐる▲何と言つても人間は長生がしたいのだ、若返つてもみたからう▲「鬚が伸びて白髮が黑くなる」これを聞いただけでもおしやれのロシヤ人は有頂天になるのも無理はない▲滿鐵の食堂にも若返の話で花が咲き▲石原課長軍司さんに「若しづけ一つあなたの白い鬚を黑くしては」と▲謹嚴な軍司さん例によつて鼻毛を捻つて「フ、、、」と薄笑ひ▲奧山庶務、堀江情報、吉武出迴への各氏若い上にも尙若くありたいの話▲曾盛も二十世紀に生きてをれば白髮染はいらなかつたらうで落

◇

特產出迴一巡に混合保では晝食の休憩時間一時間を利用して華語及び露語の研究を開始した

◇

ツーリストビユロー主催の世界一周觀光團一行は渡邊氏の案內で七日來哈、市內を見物し八木總領事の講演後沖、横川の志士碑に參拜し連絡列車で出發した

◇

オデツサ駐在を命ぜられた前滿洲里領事田中文一郎氏夫妻は十三日通過赴任の由

◇

豐原書記生と交替した豐田滿洲里書記生は七日出發八日着任した

◇

三井物產出張所の次席中山佐吉氏は長春の製粉工場經營を擔當することになり轉任、八日出發の豫定

◇

同賓縣で不逞鮮人のため狙擊された小池部長は自宅療養中、近く湯崗子溫泉に轉地療養をすると

◇

吉武滿鐵出迴主任の全快祝宴はモデルンで催され八木總領事、重松副領事、細木少佐、窪田事務官、昭和酒精公司平山專務の同窓知己に軍司滿鐵所長代理其他在哈記者多數の列席あり吉武氏の挨拶に八木總領事の謝辭に九時盛會裡に散會した

營口

兒童慰安映畫 十五日小學校で

滿鐵社會課の主催に係る第三十七回兒童慰安巡回映畫は來る十五日夜小學校講堂に於て上映の筈

水甕と酒缸 製造工場創立

遼寧省政府の民間企業奬勵により近來支那人間に企業熱勃興しつゝあるが當地方の水甕及び酒缸は殆ど全部を唐山に仰いで居るので錦源茂、福和義、恒茂永、古潤泉等の各商店主は資本金現大洋十五萬元を以て西營口に同工場の建築中であるが機械製造其他最新式の設備をなし動力には電力を使用し大量製造を企畫して居るから相當成績を期待されて居る、使用原料は復縣の粘土を民船に依て當地に運搬し使用する計畫にて運賃の如きも一噸僅かに現大洋三元に過ぎずと

公主嶺

庭球部の發會式 十五日午前九時より 三コートで一齊開始

本年度公主嶺庭球部の發會式は左の如く決定した

▲日時 十五日午前九時開始

▲場所(第一)舊俱樂部コート(第二)地方事務所コート(第三)小學校コート

▲試合方法 團體リーグ戰

▲出場團體別 驛、地方事務所、學校聯合、農事試驗場、畜產試驗場、營業所(一チームの組數六組)

▲組合せ抽籤 十二日午後七時滿鐵俱樂部において

▲尙メムバーは各チーム代表者が持ち寄りのこと

内閣が瓦解した 失業問題

對策は失業保險だけ ゴ多分に洩れぬ獨逸の苦境 (上)

季節的の失業

失業風が世界を吹きまくる、合理化せるドイツでも失業問題は激甚である、ドイツでは冬になると失業者が二百萬人以上になる、嚴寒のため産業が萎縮するからである、けれども例年六月から十一月まで——この半年間には失業者が半減乃至三分ノ一に減る、然るに本年はあたゝかくなつても未だいつものやうには減らない、本月中旬に入電する失業統計は果してどんな數字を示すか

	昨年(千人)	本年(千人)
一月	一、七〇二	一、七七五
二月	二、二二二	二、二三二
三月	二、四六〇	二、三四〇
四月	一、八八五	二、〇五三
五月	一、一二六	一、七六一
六月	八〇七	？

増加した今年

ドイツにおいてもイギリスなどゝ同じやうに、昨年から本年へかけて失業者が増加した、その原因は何であらうか、産業合理化の結果だといふ人もある、合理化は一時失業者を出すかも知れない、然し生産費が低下し、賣行きが増加すれば再び勞働者を吸收する、問題は整理緊縮を主とする消極的合理化か——それとも事業の擴張を伴ふ積極的合理化か——によつて決せられる

外資の輸入額

一九二五年以來のドイツ失業統計を見るに、主として國内景氣に比例して失業者が増減してゐる、ドイツの事業資金は外國——特にアメリカ——から借りてゐるのである、勿論全部ではないが、少からざる部分が外資である、言ふまでもなく資金がなければ事業は起らない、事業が起らなければ、景氣もよくならず、失業問題も緩和されない、ドイツの景氣は事業資金が外國から入つて來るか來ないかで決せられる、失業者の増減も外資の流入如何により大いに支配されるのである、

昨年は概して失業者が多かつた そして昨年の外資流入高は左の通り激減してゐる(單位百萬マルク)

	長期外債	短期其他外資
一九二七年	一、六六六	二、六〇四
一九二八年	一、七三三	二、九三三
一九二九年	三七七	一、九三〇

購買力の減退

失業者が二百萬人もあると、その家族と共に約一千萬人近くの國民が購買力をけづられる、去る五月三十日ドイツの勞働官シュテゲルワルト氏は勞働組合聯合大會の席上で次ぎのやうに言つてゐる

世界的不況と國内農村の不振とは、二百萬の失業者と相俟つてドイツ國民の購買力を五十億マルク(廿五億圓)方減退せしめた

國民購買力の減退は國内の需要を減退せしめ、産業に大損失を負はすこと、いづれの國でも同じである。

相人

投書歡迎 中傷を目的とするものは採らず 新聞行數五十行以内のこと

教育家の責任

小林滿洲吉

安東高等女學校生徒の神社參拜拒絶問題に付き不肖の考ふる所に依れば、此の度の事件は現今の教育制度の然らしめたものである、即ち國語を輕視し徒に外國語を重大視せるに在り、外國語を重大視すれば歐米思想にかぶれ、我が國の花たる大和魂を捨つる結果を招く事は火を見るより瞭かに非ずや國粹觀念薄き故なり、否彼我轉換せるが爲めなり、日本國を輕視するが如き教育者は私利私慾あるのみである、今回の安東高等女學校事件を單に吉持某なる者の責とするは僻見にあらずや、彼女等が吉持某に對し反對すること能はざりしは國粹觀念鼓吹に不忠實極まる教育者の責も當然存在すべきなり教育者自身、一にも二にも文部省の命令に小兒の如く服從し自覺と信念なき其の日暮しの教育を施して能事終れりとする——だから今度のやうな不祥事が發生する、若き少年少女を毒する者は無定見、無理想なる似非教育家である。

偉い方達に

駿河町 一書生

大連は素晴らしい文化都市のやうに傳へられ、土地の人もご自慢です、然し私は御當地に來て見ると聞くとに多少の相違を感じ遺憾に存じます

第一 裏町邊に行きますと塵芥箱の不始末で惡臭紛々鼻持が成りませぬ

第二 廣場公園備付の結核豫防會の文字ある土管は何時見ても芥と紙屑とで堆く、近頃の晴天には泥と塵埃を揚げてゐます、こんな些細な事にまで偉い人を煩すは如何なものかとも考へられますが、滿洲には限りませんが立派な御講釋は御役所と準御役所の仕事にはつき物ですが、いざ實行となりますと兎角徹底を缺くの嫌があるやうに思ひますから、もつと隅々まで御注意下さつて、係の人達を御督勵下さつて國際都市の名に背かざるやう御盡力願ひます

馬賊に襲はれた ある支那人の話 (上)

朔北道人

之は道人がM青年を連れて、昭和五年三月六日黒龍江省城齊々哈爾を出發し、省内の克山、克東、拜泉、依倫、綏化、青岡、蘭西等の七縣、行程約二百邦里を、零下二十度内外の寒天に自動車を驅り雪の北滿旅行と洒落た時の、一エピソードである。

三月八日は旅程表に據ると、克山縣を出發して先づ東十邦里にある克東縣を訪問、即日其西南約二十邦里にある、省内齊々哈爾に次ぐ繁盛の拜泉縣まで行つて、一泊する事になつて居つたが、寒さは强し、雪も大分深い模樣だし、克東縣と云つても最近縣治を布かれた許りの處で、特に見る價値もなからうから、いつそこれを略して克山から拜泉に一直線に行つて仕舞ふかとも考へたが、マテマテ豫定を變更する事は、此の旅行をルーズにするもとになるし、亦と再び來られさうも無い處だから、矢張り旅程表通りに……と、借切自動車で午前八時克山縣を出發、克東縣で齋知貫知事を訪問の上、切に滯在を勸められたのを振切つて午後四時頃拜泉縣城に到着、撫順炭販賣商南滿煤礦に行李を卸した。

其翌日夕刻段拜泉縣知事に招かれて、大變な御馳走になり、ラヂオで大阪の浪花節を聞き、麻雀をして九時頃宿に歸つて來ると、克山滯在中知合になつた、王某と云ふ支那人が、ヒヨックリ舊人の室に入つて來て、溫突に腰をかけながら語るのだ

「貴郎方は實に好運な方ですよ 私は貴郎方が克山を出發される時餘程一緒に乘せて貰はうかと考へたんですけれど、克東縣を廻られると云ふ事だつたし、私も先を急いだものですから、つい思ひ止まつて、大洋四元五角を奮發して、直接拜泉に行く乘合自動車に乘つたのが運の盡きでした。途中來馬溝の少し南まで來た時に、五人組の馬賊に出會つて、哈大洋二百元と、新らし着物五六枚と、布團の皮と、毛皮の帽子を取られてしまひました。馬賊に車を止められた時、私は何故貴方方と御一緒に願はなかつたかと、後悔しましたが後の祭で仕やうもなく、只今となつては命に別状がなかつた事をせめての幸ひと慰めるより外仕方がありません。ホントに貴方かたは好運でしたよ。

「午前十時頃克山縣城の南門を出て拜泉に向ひましたが、あんな目に遭はうとは夢にも思はず一同車中で談笑してゐましたが、拜泉縣内に入つて、克山に五十五里、拜泉に四十五里と書いた標柱の立つて居る、來馬溝と云ふ村を過ぎ約十里も來たと思ふ頃、前方が窪地になつて居る處があつて、其の窪地の北の高みに人が一人坐つて居りましたが、私共の自動車を見付けると、ヒヨッコリ立上つたもんです……これが馬賊の信號だつたんですネ……すると窪地の中から一人、二人、三人……と合計四人の男が出て來まして、初めに坐つて居つた男とで都合五人となつたのです、其の時には自動車と彼等との距離はもう大分接近して居りました。

「彼等は支那服の兩側の切目に兩手を突つ込んだまゝ、悠然と自動車に向つて進んで來ました、多分此間に着物の下で拳銃の工合を調べ、戰鬪準備をしたものと思はれます。

「尤も今まで申上げた事は皆、後で思ひ出した事で、最初は全然普通の旅行者と思つて、何の懸念もしなかつたんです。

「軈て自動車が彼等とスレスレになつた時、彼等は突然一齊に拳銃を車に差し向けて「止まれッ」と叫びましたが、運轉手はスワこそとフル、スピードで其處を通り過ぎ樣としました。すると彼等は後から「止れ止まれ」と叫びながら、パッパッパッと追ひ擊ちに射擊を開始しました。

「彈丸がバスの窓に當つてパチーンカラカラと硝子を粉碎し、窓から飛込んだ彈丸が天井にカチリカチリブツかる音など迚も凄い光景で、運轉手は自分の席にうつぶし、乘客十二名も皆驚ひ上り、顏色を土のやうにして車内に重なり合つて俯伏して居ました。

「賊の擊つた彈丸は三十發以上と思はれましたが、乘客の一人は硝子の破片を防ぐために兩手を擧げたもんですから掌に貫通銃創を負ひ、又一人は突然立上つた爲め左腕から右肩にかけてカスリ傷を受けました。

▽新刊批評▽

▲死刑囚の思ひ出(古田大次郎著) 大杉榮の仇を報いんとして捕はれ、斷頭臺上の露と消えた著者古田の思想を談ることは豈し控やう、そして私は彼の持つ思想的傾向アナーキズムを頭から否定する人にも敢て此の一書を奬めたいと思ふ、なぜならばそれは本書が立派な人生記錄であるがためである、大阪東京の事件では「强盗、殺人、恐喝」取締罰則違反、建造物損壞」といふ罪名の大罪人として死刑の宣告を受けた彼ではあつたが、勿論其處には彼をさうさせた或物があらねばならぬ「何が彼をさうさせたか」この問題を單なる戯曲でも小說でもない此の人生記錄から吾人は色々に考へさせられる、人の罪？家庭の罪？社會の罪？または彼自身の罪？それの解釋は勿論讀者の自由であるが、本著において著者がその大罪人となつたまでの經路がはつきりと描き出されてゐる、幼年時代からはにかみ屋で卑屈でありながら心の底にある强ひ意地を持つた暗い心の著者が自分達に色々な意味で大きな人生上の問題を與へてゐる(三百七十頁定價一圓五十錢東京市牛込區南榎町大森書房發行)

▲社會教化と宗教(教化資料第九十八輯) 經濟上の現象から起つて來た唯物論的立場の社會運動に對立して精神的道德方面を基調とする教化運動が高唱されるのは餘りにも當然のことである、しかして今や日本では此の兩運動は益々盛んになりつゝあるが教化運動の基調を知らさんための目的で發行された本著は先づその基調を宗教に置かねばならぬとして、總論「社會教化と宗教」の題下に日本宗教界の元老加藤咄堂氏の講演を觀じ社會教化の意義、國家、社會と政治等と宗教の關係を說き宗教教化の變遷教化方法を明らかにするに務めてゐる各論の部では宗教と社會教化の關係に就いて田中義能博士が神道宇野哲人博士が儒教忽滑谷博士が佛教、山室軍平少將が基督教を受持つて各自自己の立場からの意見を吐いてゐる宗教論者は言ふまでもなく斯界の權威者精聽さすべき幾多のものを持つてゐる(定價四十錢內務省社會局分室中央教化團體聯合會發行)

▲驛務の友(泉井林三編) 編者は永年滿鐵々道部にあつて經驗の深い人である、本著は、逐年異常の發展をとげる鐵道營業に比例して益々複雜になつて行く鐵道營業の規則、細則等を一般從業員に知らさんがために著者が數年間の苦心と研究によつて出來上つたもの、懇切、詳細、忠實にとそれ等諸規定の民衆的解說に務めてゐる從來かゝる規定の參考書がなかつたが本書の發行は相當斯界に益するところあるであらう(四六版四百四頁定價一圓五十錢大連御町公正社發行)

無色無味無臭の毒ガス

一酸加炭素の話

大連第二中學校教諭　山口菊雄

去る四日八幡製鐵所で熔鑛爐送風室のガスタンクを修理中突然酸化炭素が洩れ僅か二十四秒で職工二十六名が昏倒し中七名が遂に絕命した悲慘事がありました

酸化炭素は一酸化炭素とも申します、それは炭酸瓦斯のことを二酸化炭素と言ふのと同じ樣に酸素と炭素との割合から言ふのです、御承知の通り酸素と炭素と化合する時炭素の一原子に酸素の二つの原子が結合したものが炭酸瓦斯で炭素の一原子に酸素の一つの原子が結合したものが一酸化炭素です、つまり炭素の同じ量に對して一酸化炭素の方は炭酸瓦斯に附いてゐる酸素の量の半分の量の酸素が結合してゐるのです

炭酸瓦斯は吸ふても別に毒にはなりません、唯私達の呼吸する空氣中に炭酸瓦斯が多量にあれば、從つて酸素の割合が少くなるのでかういふ空氣を長い間呼吸してゐれば窒息致します、ツマリ炭酸瓦斯そのものは毒ではありませんが呼吸する空氣中に多量含む事は有害です

ところが一酸化炭素はそのもの自體が甚だ有毒です、而も無色、無味、無臭ですから、その存在がわからないのでその點に於て最も恐ろしい毒瓦斯の一つです

色でもあるとか、臭ひでもすれば豫防も出來ますが、それが出來ないので大事を惹き起す事が往々あります

炭酸瓦斯が毒だと普通思つてゐる人もあるかも知れませんが、一酸化炭素はそれに比して何百倍か何千倍か恐ろしい毒瓦斯です

私達の血液中には「ヘモグロビン」といふものがあつて、呼吸に依つて取り入れた酸素を抱合して「酸素ヘモグロビン」となりますが、この抱合力は弱いので血液の循環につれてこの抱合してゐる酸素を出します、つまり「ヘモグロビン」は肺で取り入れた酸素を身體の各部に分配する人足のやうなものです、所が酸化炭素を吸ふと、これが「ヘモグロビン」と結合して「酸化炭素ヘモグロビン」となります、そうしてこの結合はナカナカ强いので丁度人間が手足を縛られたと同樣で動きが取れなくなり遂に死ぬのです

石炭でも木炭でも燃やす時は先づ炭酸瓦斯が出來、それが赤く熱せられた木炭や石炭の中を通り拔ける時に一酸化炭素となり空氣へ出る時燃えて再び炭酸瓦斯となります

火鉢の炭火が青い焔を上げて燃えてゐるのを見ますがあれは一酸化炭素が燃えてゐるのです

空氣中一萬分の五容含してゐても害をなし若し、一%も含んでゐれば一分間位で死んでしまひます

私達の日常使用してゐる瓦斯「石炭瓦斯」中には約八%の一酸化炭素を含んでゐます、石炭瓦斯の中毒といふのはこの中に含まれてゐる一酸化炭の爲めです、ですから若し石炭瓦斯を二%も含む空氣中に居れば危險なわけです、御承知の通り瓦斯が完全に燃燒してゐればよいが若し少しでも洩れてゐると危險です、幸ひに石炭瓦斯は一酸化炭素以外にいろいろな瓦斯を含んでゐるため一種の臭ひが致しますのですぐわかります、若しこの臭ひがしたらどこからか瓦斯が洩れてその中には恐ろしい一酸化炭素があると思ひ直ちに處置せねばなりません

內地で多く一般に多く用ふる火鉢、コタツ、アンカ等を當地方のやうな構造の家屋に用ふ事は餘程注意しないと危險です。

けふの放送

實用支那語會話　第四十五課(其二)　秩父固太郎

1 你打糨子罷
2 糨子打好了
3 拿來我看
4 這樣兒行不行
5 太稀了、要稠一點兒
6 那麽再打罷
7 糨要多一點兒
8 解好了您再看看
9 你得好好兒和弄
10 不能疙疸

(其二)

1 糨子打得了麽
2 打得了、糊甚麽
3 糊窗戶縫兒
4 這就糊麽
5 你先裁紙罷
6 紙條兒裁多寬
7 要一寸多寬
8 裁甚麽紙
9 裁高麗紙
10 您交給我好了

譯文(其一)

1 糊を練りなさい
2 糊は煮て御座ゐます
3 持つて來て見せなさい
4 こんなで如何です
5 薄過ぎる、もう少し固く
6 それではもう一度拵へませう
7 うどん粉を少し餘計にして
8 解いたら貴方一遍見て下さい
9 お前好く攪廻さなければいけない
10 ブツブツ(ダマ、粒々)の出來ない樣にします

(其二)

1 糊は出來たかね
2 出來ました、何を張ります
3 窓の目張りをする
4 今直に張りますか
5 先に紙を裁ちなさい
6 紙はどの位の幅に裁ちますか
7 一寸餘の幅に
8 どんな紙を裁ちますか
9 高麗紙を裁とう
10 私にお渡し下さい

(新字)糨。稀。稠。解。和。弄。疙。疸。麗。交。

遼東寫光會

寫眞展瞥見(下)

春路生

◇岡本一雄氏

「沙漠へ歸る」「天安門の印象」の二點の中沙漠へ歸るの方がいゝ、しかし今少し沙漠の感じを强調する必要がある、バックがいやに暗いものも此の寫眞の畫的效果を惡くしてゐる

◇榊原青葉氏

「遼陽白塔」アカデミックなものではあるが、いゝ寫眞だ、諧調にしつくりした落つきもあり力もあり、情味も豐だ、とにかく垢ぬけのした作品である

◇山本晴夫氏

「ポートレート」「働く人」の二點が出てゐた「ポートレート」はロシア人らしい老女を取材したものであるが、餘りにありふれたポーズであるだけにフレッシュな感銘を與へない、然もかうした人像に於て最も肝要であるべきライテングが殆ど顧みられてゐないのは遺憾だ「働く人」も全く失敗の作だ、かうした題材の內容は力とリズムでなければならない、然るに此の印畫では最も强調されなければならない働く人の筋肉の堅さがピンボケによつて完全に破壞され、それと同時にリズムが失はれて極めて散漫なものとなつてゐる、素材に動きのないのも此の繪を平凡にしてゐる一つの原因だ、こうした題材は最も筋肉の緊張した瞬間に、そして最もよいポーズの時にスナップされ、それに練熟したテクニックと作者のオリヂナルな表現が加へられてはじめていゝ印畫になるものだと思ふ

◇佐々木登氏

「埠頭所見」「朝の光」の中前者を取る「埠頭所見」はゴチヤゴチヤした驛の配列の中に柔かなリズムの織りとデザインとして面白味がある「朝の光」はアンダーエキスポージュアのために必要なデテールを多分に失つてゐる

◇政德滿氏

「大廣場」「山寺」の二點共練習作の範圍を出てゐない

◇山口義治氏

「建築物」「村の老人」「雨來る」「ジャンク波止場の朝」「小女像」等いづれも平凡「雨來る」は畫面にいくらかまとまりはあるが雨の感じは得られない

◇森白洋氏

「金州所見」……やはり題名の如く單なる所見にしか過ぎない

◇結城貞之助氏

「遼陽白塔」素晴らしくコントロールのいゝ印畫だ、前景を强調したところに作者の苦心が窺はれる、勿論日本畫趣味のものであり、裝飾畫的のものではあるがしかしオイルのフールパワーを發揮したところに此の印畫の價値を見出さねばならぬ

◇金田英雄氏

「松花江ロシア村風景」これも路上スケッチの範圍を出でないもの

◇山本牧彦氏

「閑な女」壁の支那遊廓をスケッチしたもので大した妙味もない

◇

以上感じたまゝ思ひついたまゝを雜然と書き連ねて見たが今度の寫眞展では二三點を除く外大した力作のなかつたのは淋しかつた、そして之を全般的に見ると次のやうなことが言へると思ふ

一、取材に新鮮味が乏しい
二、型に捉はれた表現が多い
三、單なるスケッチ風のものが多かつた
四、面白い採光のものが見られなかつた
五、總じてテクニックは鮮かであるが畫の構成表現に作者の近代的な感覺が働いてゐない
六、リズムの豐かな繪が少なかつた
七、トリミングの優れたものが少かつた
八、寫眞獨自の途を歩まずして徒らに繪畫に追隨せんとした作品の多かつたこと

◇

敢て尖端的な奇をあさる必要はないが、寫眞家にも今少し近代的な感覺がほしい、やはり作家はテクニックよりも頭の習練が一歩先んじなければならないと思ふ、最後に瀧上白陽氏の「曠野を走る」に最大の敬意を拂つて筆を擱く

でんでん虫

沼田冬子

あさだよ　あさだよ
でんでん虫
アカシヤ根ッこに
いないのか
きらきらつゆも
ぬれてるし
おべべもさらさら
風がふく
角だせ
やり出せ
でんでん虫
お早やうあいさつ
しておくれ

三葉の茹で方

◇…三葉を鍋に入れないやうに結び、熱湯に鹽少量を加へ、三葉を入れ、蓋をせず潛らせる位の程度にザッと茹で淸水に取り、よく晒して絞ります

◇…またお浸しや和へものに用ひる際には一寸位に切り、鹽を加へた熱湯でザット茹で、目ザルに揚げて醬油を少量手でパラパラとふりかけ、大急ぎで團扇で煽ぎ冷します

◇…すべて靑菜類を茹る際方法を誤ると靑菜類の持つ榮養分(鐵分、物質及びヴイタミン等)を失ひその上色が赤く變つたり軟かくなり過ぎて齒が惡くなつたりします

◇…赤く變色するのは酸化酵素が働き靑葉の中の葉綠素を破壞するからで、この酵素は攝氏六、七十度に於て一番活潑な働きを致しますから、何でも靑菜を茹でるには必ず沸騰後に入れなければなりません、そして揚げてからは酸化酵素の働く適溫の時間をなるべく短くするため急に冷却することが肝要です

人生の樂しみは唯 閑寂な木魚の音

木魚庵主人　竹內坦道氏

「所藏品を全部電氣遊園に持つて行つて了つてから身の近くに置かないので朝晩どうも淋しくてね、始終電氣遊園へ木魚に逢ひに行つてますが年のせいか淋しくて堪らず、一層のこと又元通り自分の傍へ持つて來て了はうかとも思つてゐます」と話す木魚庵の竹田坦道氏はほんとに淋しくて堪らないらしい、今京都に在る元地質調査所長木戶正一氏の達磨と髙山氏の犬そして竹內氏の木魚は隨分古くから大連蒐集家の三幅對として餘りに世間に知れわたりすぎてゐるが昨年暮から左眼を病み、つひに手術して片眼を失ひなは繪り切らない隨喜を抑へ乍ら愛玩品を慕ふ狀をみると何となくほろりとさせられる。

▽……△

「今五、六百はありますが此頃は威張り集まらなくなりました。今まで每年十五や二十は買つたものですが本年なんか未だ一つも買ひません、弱つたのが出ないのでね

私が木魚を蒐め出したのは古い昔で、若い時、東京築地の工手學校に居た當時、この間死んだ內田信庵から象牙細工の木魚を貰つたのがおそらく木魚を手に入れたそもそもの始まりでせう、其後鎌倉に居て貧乏した時、少し集つてゐたのも一緒に賣つて了ひましたが、三十年程前からぼつぼつ蒐め出したのです、信庵の死ぬ前に「君から貰つた木魚は失つたがあれが機緣で今は可成り蒐めた」と言つてやりました。私の所藏品の中に南洋の木魚が一つあります、南洋では樂器に使つてゐますが踊る時に持つて叩く爲め柄が附いてゐますが印度邊りから傳はつたものぢやないかと思ひます、昨年南洋から日本に木魚千二百個注文が來ました。全く樂器としても良いもので、刳り方によつて皆一つ一つ音が違ひ、古い物程、さびた音を出します、手當り次第叩いて樂しんでゐると嬉しいもので私など一生涯隨分借金取りに惱まされたものですがこの音を聞いてゐると生活の苦しい事も何も彼も一切雜念を忘れて了ひます……」と話を聞いてゐると坦道さんは超俗した中にも自ら軟か味がある、おそらく、あの淸冽な深山の大氣を慕む樣な感じの木魚の音を聞いて暮した三十年間の賜だらう(寫眞は竹內氏愛藏の木魚と木魚庵主人竹內坦道氏)

教育兒童新刊書紹介

▲教育時論(六月五日號)　教育體讀スエーデンに於ける教育批判研究、教育から土の教育へ、課題紙の教育、教育奇談その他(十八錢東京市麴町區三番町開發社)

▲大連少年スカウト(六月號)　大連少年團の會報である、秩父宮殿下をお迎へして、中國傑の話等(民政署內大連少年團)

探偵小說 女妖 (113)

江戸川亂步作　横溝正史
伊藤幾久造畫

恐怖の別莊 (三)

空には星一つなかつた。漆のやうな暗闇が、とろりと重苦しく、村から街道一面を包んでゐる。

お粂は外へ出て扉を靜かに締める時思はずブル、と身を慄はせた。日が暮てから吹出した風は、夜の更けるに從つてその勢ひを增して楢の木の高い梢をざわざわと搖つてゐた。後々けたゝましい鳥の聲が、深い暗闇をつんざいた。暫くお粂は戸口の所で躊躇してゐたがやがて決心をきめたやうに、すたすたと歩き出した。強い風が眞正面から吹つけて、細い肩にまとうてゐるショールを持つて行きさうにする。細い砂埃が路上から吹上げて、彼女の眼と言はず口と言はず飛び込んだ。

半町程來てからお粂はふと立止まつた。やがて森の姿が、夜目にも黑々と彼女の眼に入つて來た。その森の下さへ過しさへすれば、懷しい男の住む邸の側まで行かれるのだ。彼女は急に足を早めた。何かしら、目に見えぬものが招き寄せるやうに、彼女は宙を飛ぶやうにして歩いた。走つた――。

森を過ぎると、急に廣々とした原つぱへ出る。その原つぱがだらだら登りに丘へ續いてゐて、その丘の上に目的の千家篤麿の邸宅は建つてゐるのだ。

その邸を下から仰ぎ見た時、彼女はふと、言ひしれぬ寒さと、不安を感じた。今までの興奮と、熱狂が、急に冷却してゆくやうな惡感を彼女は胸の中に感じた。

何か、口では言へぬ邪惡、陰謀さう言つたものを彼女はその建物に對して感じた。彼女がこの建物を見た事はこれがはじめてゞはない。

このまゝではとても目的のところまで行けさうにないやうな氣がして來た。いつそもう引返へさうか――、彼女は何度となくさう思つた。然し、森の向ふにある何者かゞ、強い力で彼女の魂を惹き寄せるのだ。

――その男が生きてゐるといふ報道は、強く彼女の心を搔き亂した揚句には彼女を殺害しようとさへした男、父親の前でも斷言した通り、彼女は決してその男に未練のないつもりで居た。いやいやそれどころか憎い男、情ない男として自分の心に言ひきかせてゐたものと思つた然し、理窟では分らぬ。何かしらそれ以上のものが彼女の魂を森の彼方に惹きつけてやまぬのだ。

暫く彼女は、風をよけるために道の傍らに佇んでゐた。行からうか戻らうか――、人氣のない眞暗な路上を、暫し彼女は見廻してゐたが、やがて、輕い吐息をつくと。

「駄目だわ、このまゝぢや到底眠れやしないわ。一目でいゝ。一目でいゝから會つて話をして置き度い」

彼女は自暴自棄に肩をゆすると又してもすたすたと森の向ふの千家篤麿の邸へ足を運ばせ始めた。

い。そして日頃は何氣なく見て過してゐる建物に對して、今夜ほどうしてこんなに不思議な感じに打たれるのだらうか。それは、今宵のこの物凄い強風と、漆のやうな暗黑のせいであつたらうか。

いやいや、後から考へると決してそれだけの理由ではなかつた。

この嵐を機會に、今しも千家篤麿の邸の中では、人と人との、生命を賭た爭鬪が演じられつゝあつたのだ。それは世にも物凄い、殘忍な爭鬪だつた。お粂は少しもその事を知らなかつた。然し、いづれはその生命の渦の中に卷きこまれるべき運命を荷つてゐたのだ。

彼女が、此邸の姿を仰ぎ見て、慄然としたのも偶然ではない。

日活現代劇臺本より
この母を見よ（二九）
崎面座同人構成

餘りに烈しい靈撼だった。見るに忍びない情景が、その取り散らされた部屋のなかで繰展げられてゐた。

倭子は、どうしていゝのか解らない——追はれるような氣持で部屋のなかを歩き廻った。

千呂の生活が、其所まで墮落してゐるとは、今が今まで考へても居なかったのだ。

それが豫想を裏切って、うつかりしてゐると倭子自身の足許までが、ずるずると崩壞して行くような氣持がした。

氣急はしく部屋のなかを歩き廻ってゐた彼女は堅く心に締つけるように決意した。

——そうだ！

あたしは……どんな事があっても、指輪なんか賣ったって、あんな途へ入るのは止さなくてはならない、あの人とあの兒のために……。

倭子は、椅子の上から燐卷を拾ひあげて、この腐った、混濁した世界を拔け出やうとした。

その時、絶望と諦めに蒼ざめた千呂の顏がカーテンから現はれた。

倭子さん！

狂ひを帶びた千呂の聲が倭子に強く追ひすがって來た。

千呂は、倭子の行手にふさがると、その扉をおさへた。

御覽になったのね
あれがあたしの仕事なの

千呂の眼は反抗的な光りを湛えて、倭子の恐怖に滿ちた瞳をじっと捉へる。

貧乏で身體一つしかない女が
餓死と泥棒の樣な女が

——

倭子の耳に掛けられた千呂の聲は次第に烈しい力を持って來る、恰も其の力のこもった腕が倭子の心をゆさぶるかのように……

生きる唯一つの道なのよ

千呂は狂人のように何度も其の言葉を言ひ續けた。

——生きる唯一つの道……。

教へて上げるわ
あなたは生きたかったら自分の
『美しさ』を利用なさい
それはあなたの權利よ
力よ
お金なのよ

千呂は、自分の腕のなかで唯おどおどとしてゐる倭子の顏を覗ると又情ない氣持が込み上げて來た

——然も、この女には子供まであるのではないか？

うなだれて、燐卷を弄そんでゐる倭子の姿が、慘めに、いぢらしく千呂の憐感を唆るのだ。

あなたは　いま
あなたの潔白を思ってゐる時ぢやなくってよ
さっきの樣に
餓と寒さに慄へてゐる
子供の面を思ひ出すのよ

次の間で、二人の話に聽き耳を立てゝゐた紳士は、つまらなさ相にカーテンの側を離れた。

そんな窮迫した二人の氣持なんかに興味を持つには、まだ醉がすっかり醒めてはゐない。

扉先きで、ちょいと笑って先頭に入って來た衣裳櫥の扉からネクタイを直しながらおどけた足どりで出て行った。

千呂はその聲音にも氣づかず、熱心に倭子の肩を搖り動かして云ひ續いた。

あなた満村さんと結婚なさる御氣持はないこと

倭子は、はッとして顏をあげた

——等の顏が頭に浮ぶ。

彼女は、等の顏を想ひ浮べただけで心が慄れるような嫌惡を感じて面を背けた。

あの方あなたに死ぬほど惚れてゐるのよ
誇張ぢやないわ

倭子は強く頭を振った。

では満村さんがお嫌ひなら他にいくらでもあってよ
倭子さんなら
安賣りしなくともいゝことよ

倭子は肩に置かれた千呂の腕を強く振り拂った。

——あゝ、此の女までが……。

そう思ふと、又心が煩ぐようであった。

もう結構だわ——結構だわ
そんな——そんな——
そんなことが——

倭子は、千呂の顏を見るのさへ怖ろしかった。

急いで扉に走り寄った。

【寫眞は入江たか子龍花久子】

川柳六月課題

▽「夏痩せ」　六月十五日〆切
▽「蠅」　六月十五日〆切
▽「海岸」　六月二十日〆切

◎一題五句限必ず各題別記の上大連市彌生町一六高橋月南宛

滿日社文藝係

滿日俳壇募集規定

次回課題「夏の朝」「夏の月」「ハンモック」▲句數無制限▲用紙半紙▲各題別紙▲締切六月十五日▲封筒に「滿日俳句」と明記▲宛先東京市牛込區若松町八二島田青峰

新刊紹介

▲**財界巡禮記**（神長倉眞民氏著）世論に抗して日本の經濟界前途に對して大樂觀者である、著者は勇敢に經濟行詰論、經濟國難論を排して、近代經濟界の最も注目す可き現象である、人道主義奉仕主義を提唱し、此の新産業哲學をもって吾が經濟界の進むべき道と斷定して勇敢に筆を進めてゐる、全篇十九章、世界的地位にある日本の紡績界をはじめアメリカ財界、或は所謂產業哲學と、平易に面白く巡禮の筆を進めてゐる、著者はダイヤモンド記者として財界の消息通（四六版三百卅頁東京京橋第一相互館千倉書房發行）

▲**儲かる副業**（報知新聞社通信部編）報知新聞社が日本内地各地の特派記者をして調べさせた結果、僅な資本とお互の餘剩勞力で簡單に相當の利益をあげ得られる副業として同紙上に紹介したものが本書である、養蠶の卷、養鷄の卷、蔬菜の卷、養蜂の卷、葉紙の卷、凍豆腐の卷、うめの卷、果實の卷、椎茸の卷、以上七章に分ち、平易なる讀物としてだけでも淸新に面白さのある副業記事を満載してゐる、所々に滿洲にも參考となるものが含まれてゐる（四六版定價八十錢、東京牛込大夢町東洋經濟出版部發行）